

第 1 章

調 查 結 果

秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅲについて

1 目的

「秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅲ」は、平成27年度に策定する次期総合計画の基礎資料として、市民意識の変化や成長戦略をはじめとする市施策への評価などを把握するために実施した。

2 実施手法

調査対象者へ調査票を郵送し、その集計結果から本市の行政需要や課題などを探った。

3 実施状況

(1) 実施期間

平成26年9月12日(金)～平成26年10月6日(月)

(2) 調査対象者

15歳以上の市民から無作為抽出した3,000人(平成26年9月1日現在)

中央地域 685人 東部地域 601人 西部地域 338人 南部地域 473人
北部地域 753人 河辺地域 82人 雄和地域 68人

(平成26年9月1日現在の人口世帯表に基づく地域別人口比率により算出)

(3) 実施方法

郵送による無記名アンケート

(4) 有効回答者数

1,617人(回答率:53.9%)

(5) 有効回答者の基本属性(4～7ページ参照)

(注)

- 1 集計結果のパーセント値は、全て小数点第2位以下を四捨五入しているため、択一回答の構成比の合計が100%にならない場合がある。
- 2 本報告書において、年齢の表記は以下の例による。

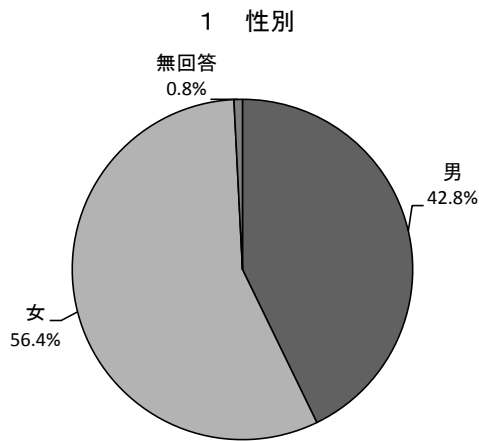
10代:15歳～19歳	20代:20歳～29歳	30代:30歳～39歳
40代:40歳～49歳	50代:50歳～59歳	60代:60歳～69歳
70代以上:70歳以上		
- 3 本文中のカッコ内数値は、前回(平成20年度)調査時のものである。

(5) 有効回答者の基本属性

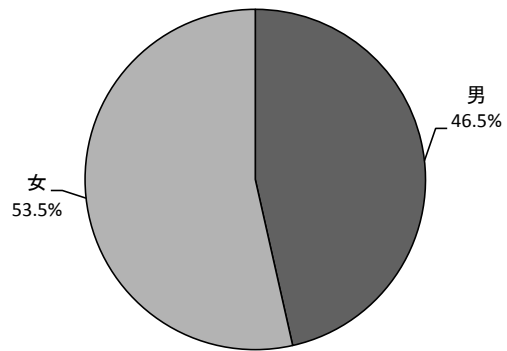
※ 属性未回答のものがあるため、各所属の合計は有効回数と一致しない。

属 性		有効回答者		推計人口 (H25. 10. 1現在)	
		客体数 (人)	構成比 (%)	15歳以上人口 (人)	構成比 (%)
合計		1,617	100.0	281,234	100.0
性別	男	692	42.8	130,694	46.5
	女	912	56.4	150,540	53.5
年代	10代	65	4.0	15,200	5.4
	20代	105	6.5	29,802	10.6
	30代	180	11.1	39,929	14.2
	40代	216	13.4	42,022	14.9
	50代	280	17.3	43,844	15.6
	60代	362	22.4	48,618	17.3
	70代以上	394	24.4	61,819	22.0
居住地域	中央	373	23.1	63,948	22.7
	東部	323	20.0	56,350	20.0
	西部	180	11.1	31,617	11.2
	南部	250	15.5	43,358	15.4
	北部	368	22.8	71,244	25.3
	河辺	40	2.5	8,055	2.9
	雄和	38	2.4	6,662	2.4
婚姻状況	未婚	286	17.7		
	配偶者あり	1,097	67.8		
	離死別	214	13.2		
子ども数	1人	295	18.2		
	2人	714	44.2		
	3人以上	198	12.2		
	いない	391	24.2		
居住形態	単身	175	10.8		
	夫婦のみ	438	27.1		
	親子(2世代)	727	45.0		
	親・子・孫(3世代)	191	11.8		
	その他	62	3.8		
居住年数	5年未満	64	4.0		
	5年～9年	46	2.8		
	10年～19年	196	12.1		
	20年～29年	233	14.4		
	30年以上	1,062	65.7		
出身地	秋田市内	867	53.6		
	秋田市以外の秋田県内	550	34.0		
	秋田県外	181	11.2		

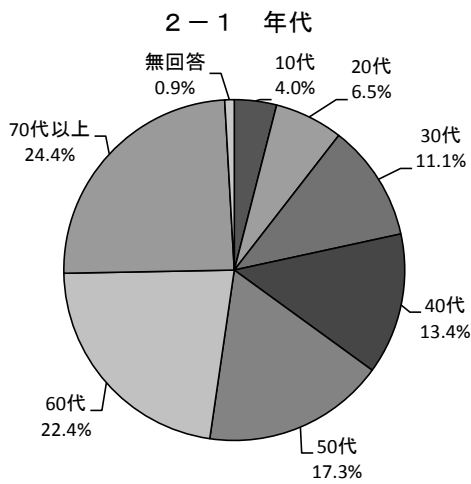
① 性別



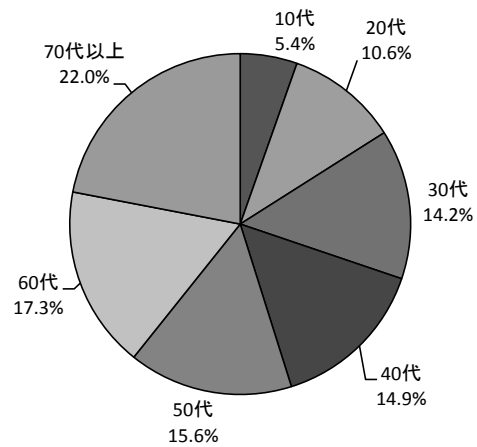
(参考) 平成25年10月1日の推計人口



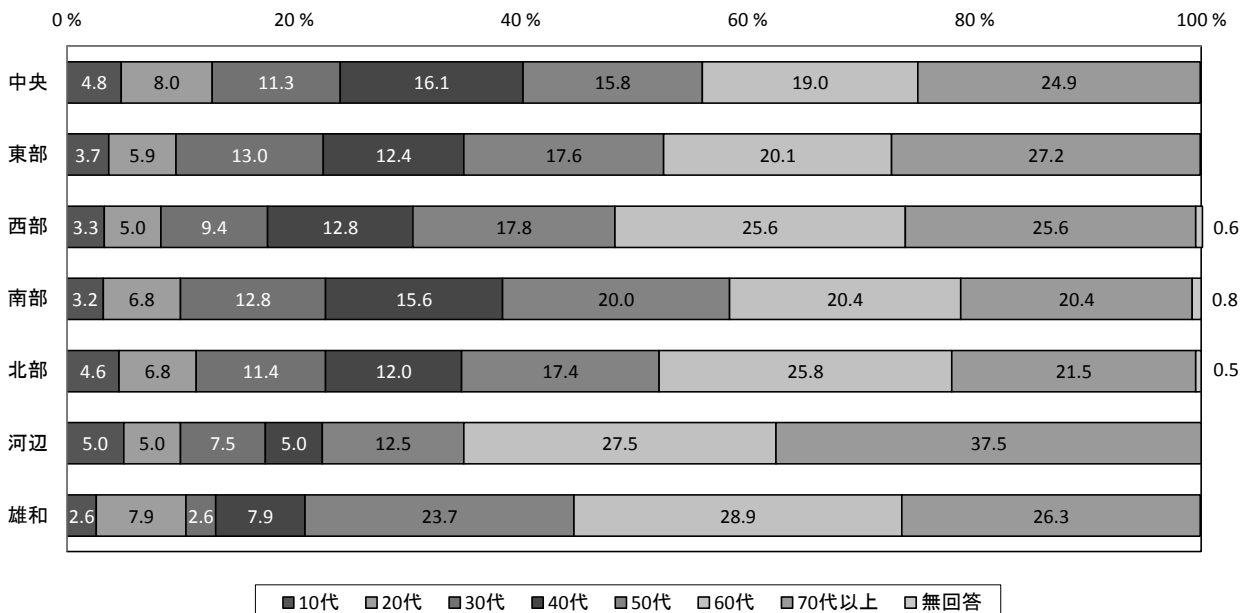
② 年代 (平成26年9月1日現在の満年齢)



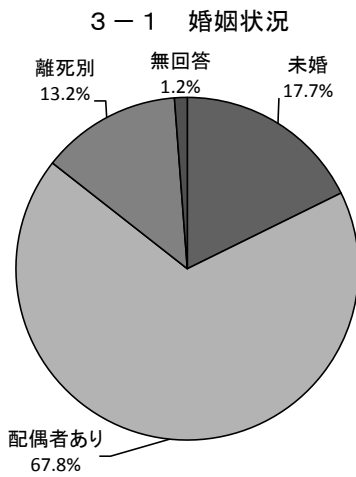
(参考) 平成25年10月1日の推計人口



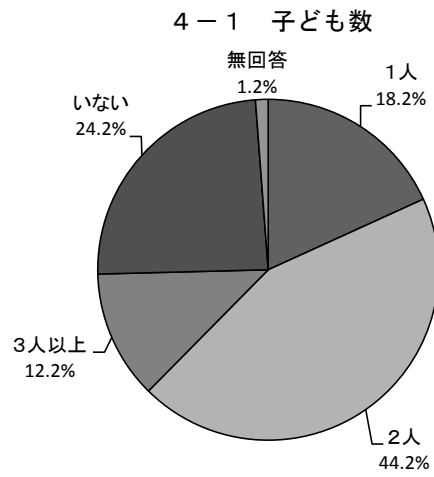
2-2 居住地域別 年代



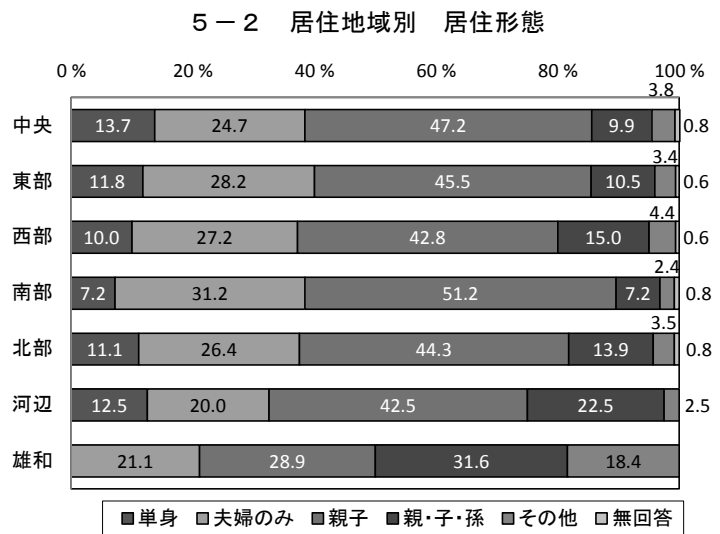
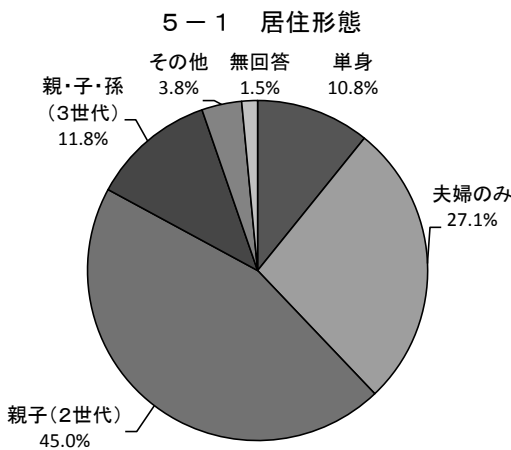
③ 婚姻状況



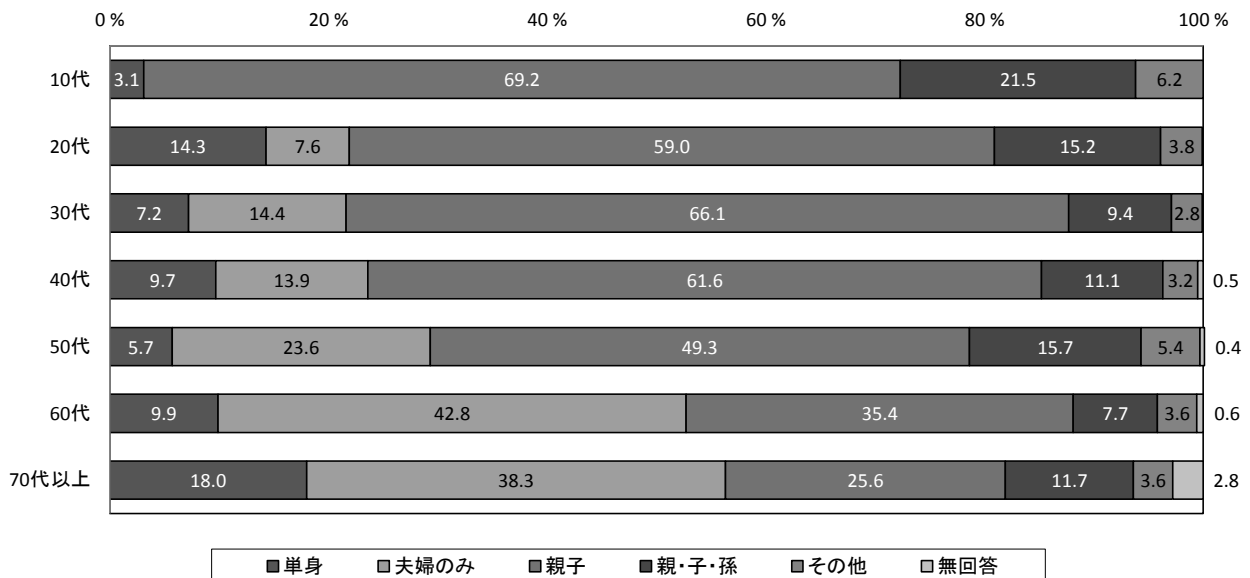
④ 子ども数



⑤ 居住形態

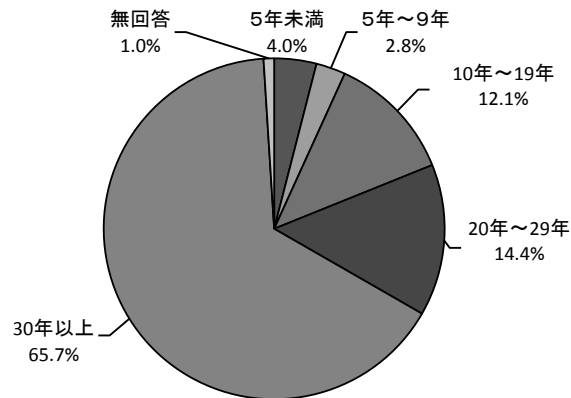


5-3 年代別 居住形態



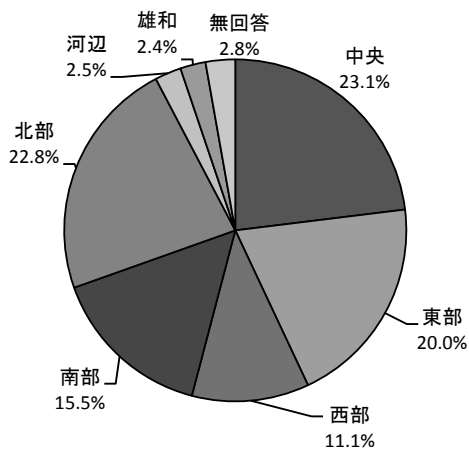
⑥ 居住年数

6-1 居住年数

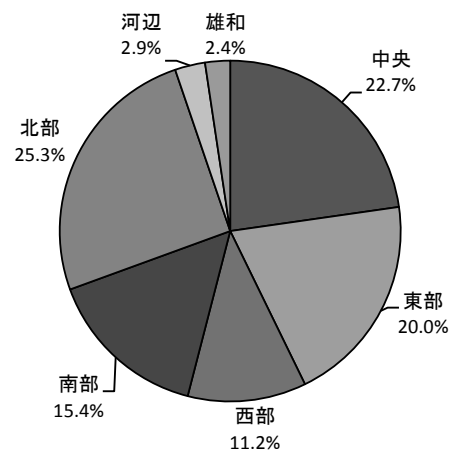


⑦ 居住地域

7 居住地域別

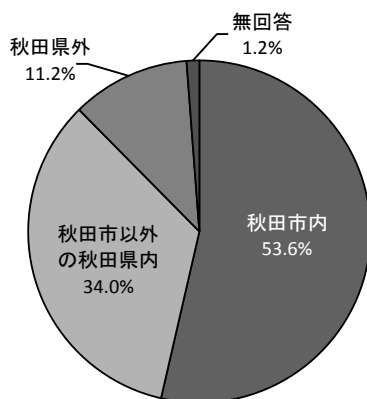


(参考) 平成25年10月1日の推計人口

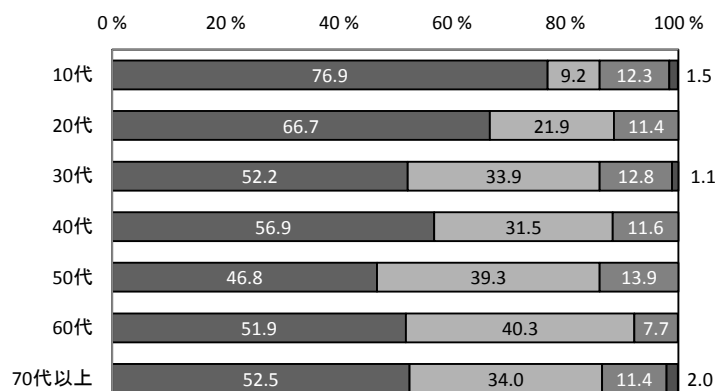


⑧ 出身地

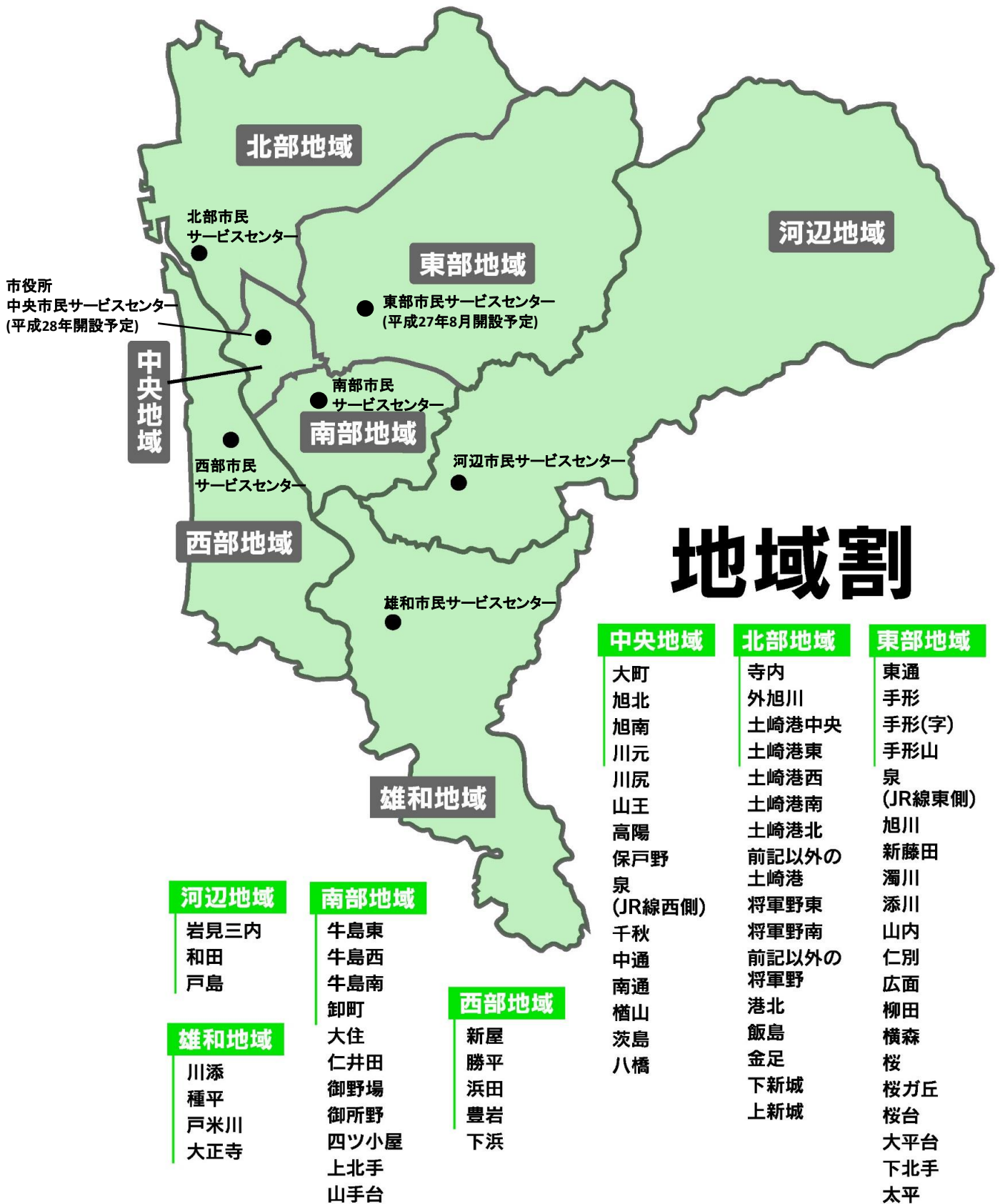
8-1 出身地



8-2 年代別 出身地



■秋田市市内 □秋田市以外の秋田県内 ▨秋田県外 ■無回答



第1節 住みごちについて

1 秋田市の全体的な評価 (問1)

※()内は前回の数値

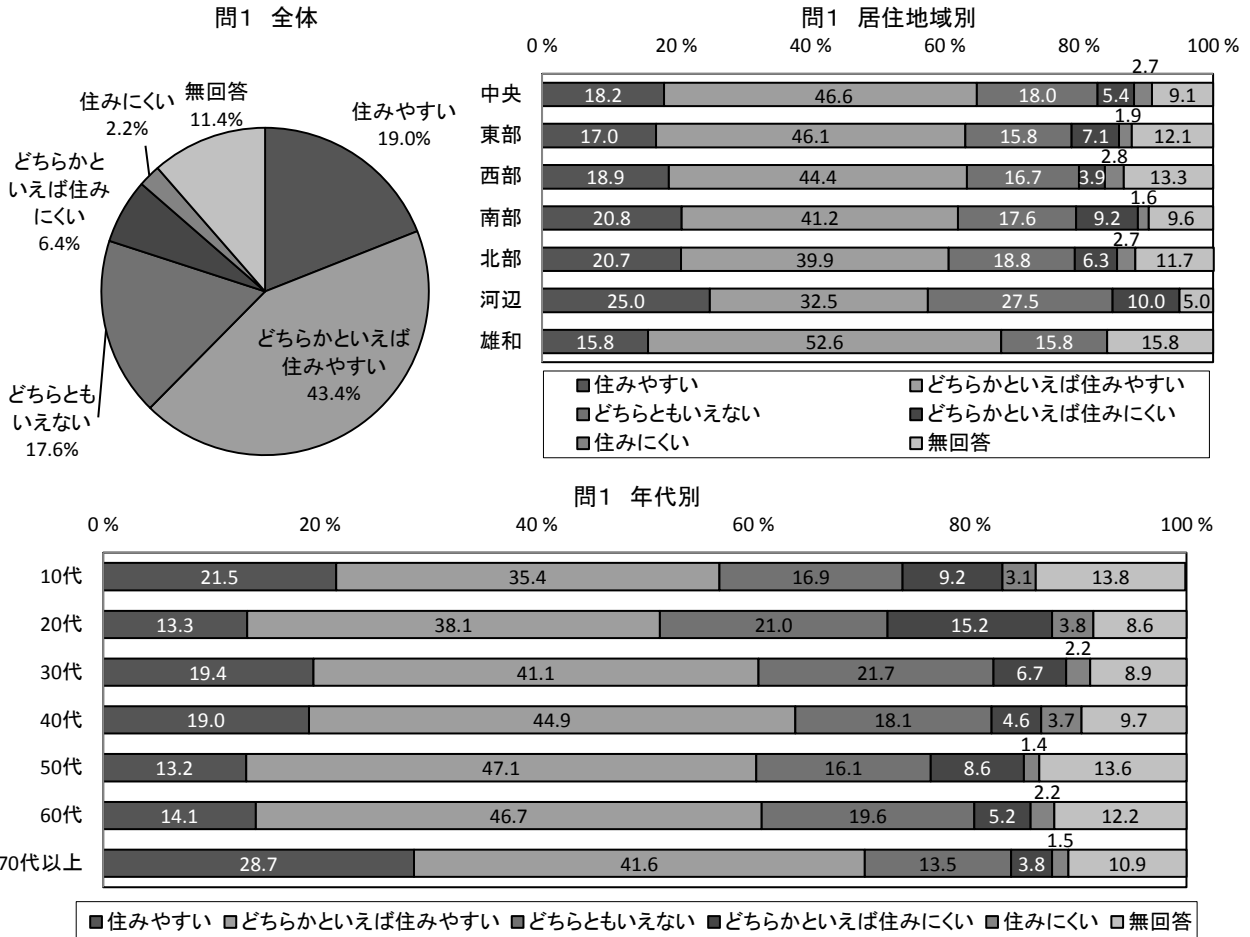
問1 (秋田市の全体的な評価)

あなたは、秋田市の住みごちをどのように感じていますか。次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

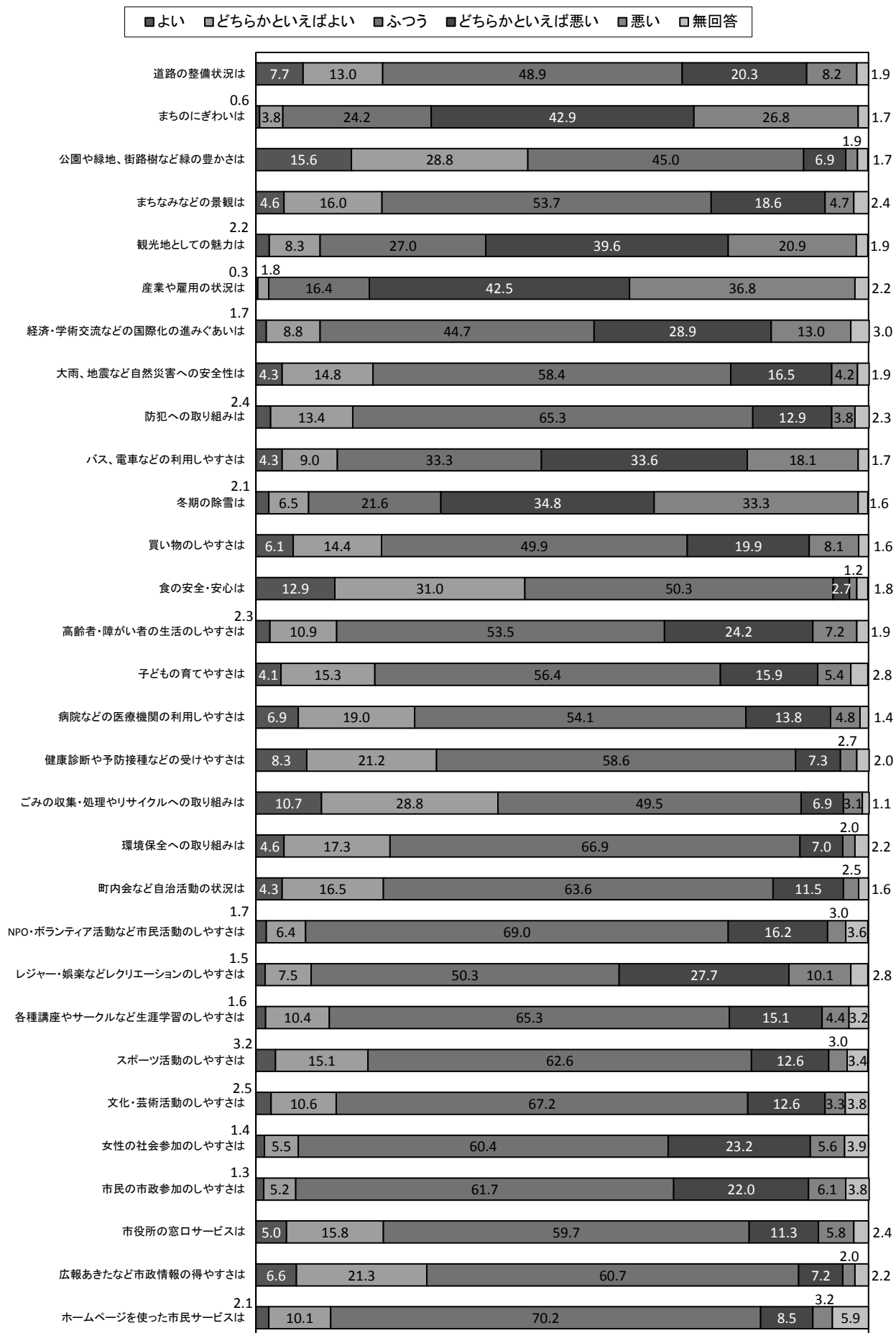
- 1 住みやすい
- 2 どちらかといえば住みやすい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば住みにくい
- 5 住みにくい

この設問では、「住みごち」という表現で、秋田市の全体的な評価を聞いている。(集計表 P105 参照)
 全体集計では、「住みやすい」19.0%(22.0%)、「どちらかといえば住みやすい」43.4%(44.9%)、「どちらともいえない」17.6%(18.2%)、「どちらかといえば住みにくい」6.4%(8.3%)、「住みにくい」2.2%(3.0%)となった。「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」という回答の合計が62.4%(66.9%)に対し、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」という回答の合計が8.6%(11.3%)であり、前回調査時と同様、良い評価が悪い評価を大きく上回った。

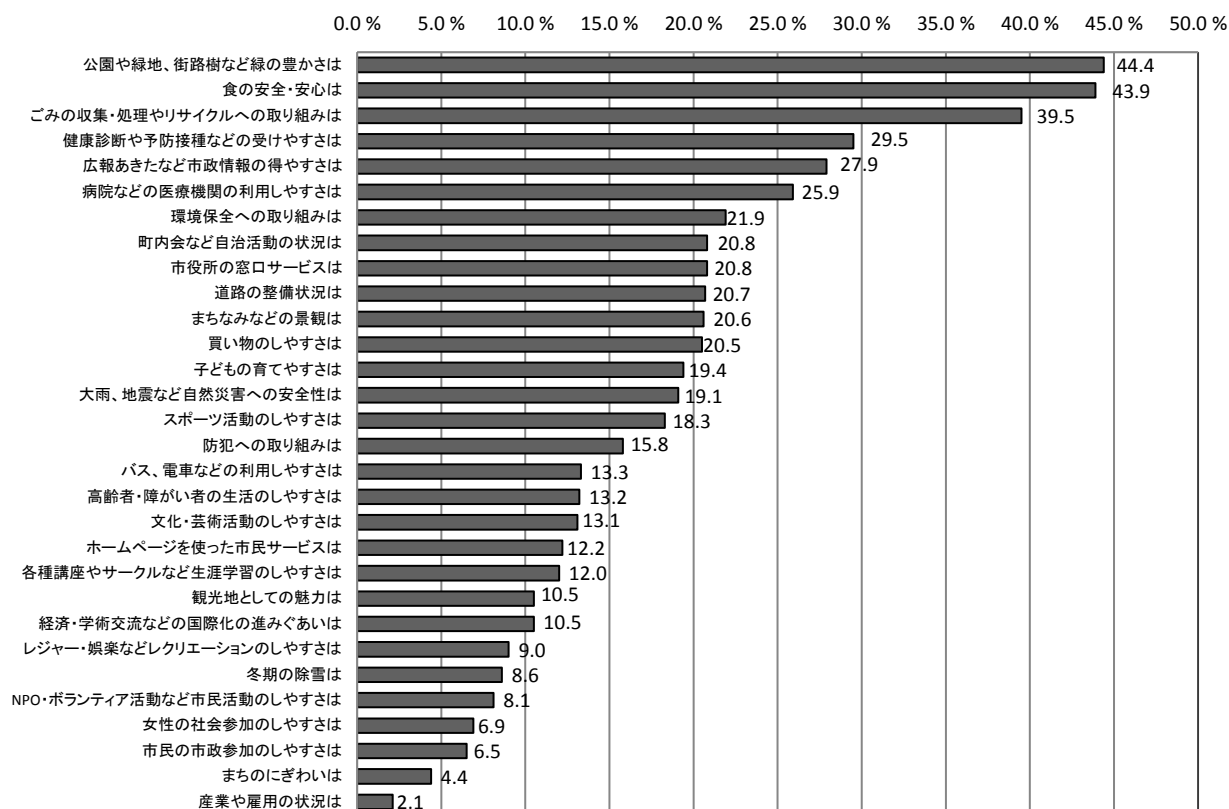
良い評価は、年代別集計では、70代以上を除いた階層でほとんど大差のない値となっている。居住地域別集計では「河辺」が57.5%(67.8%)と他地域に比べ低くなっている。出身地別集計では、「秋田市以外の県内」が66.3%(72.0%)で最も高く、次いで「秋田市内」が61.3%(66.3%)、「秋田県外」が56.3%(55.0%)となっている。



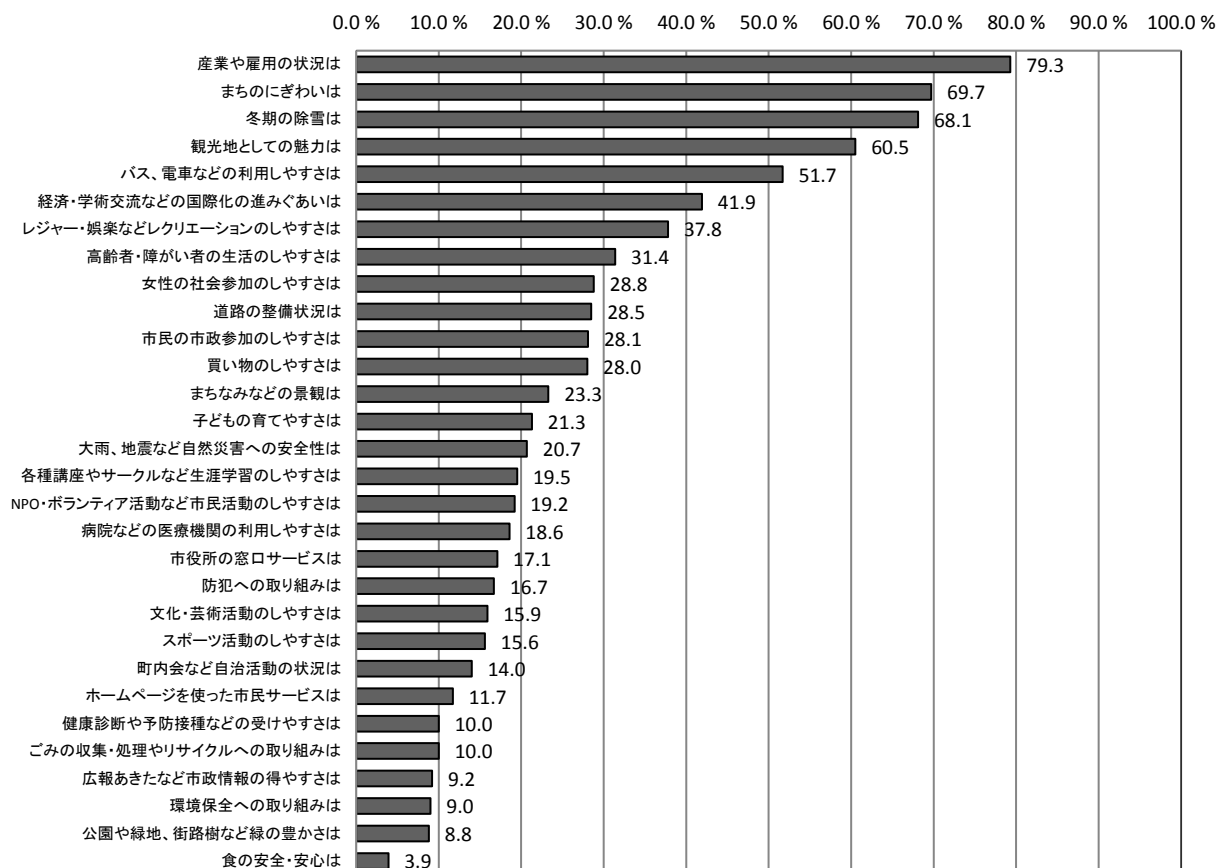
問2 秋田市の分野別評価 全体集計



問2 秋田市の分野別評価「よい」「どちらかといえばよい」の回答合計



問2 秋田市の分野別評価「悪い」「どちらかといえば悪い」の回答合計



問2-2（まちなぎわいは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（まちなぎわいは）をどのように感じていますか。

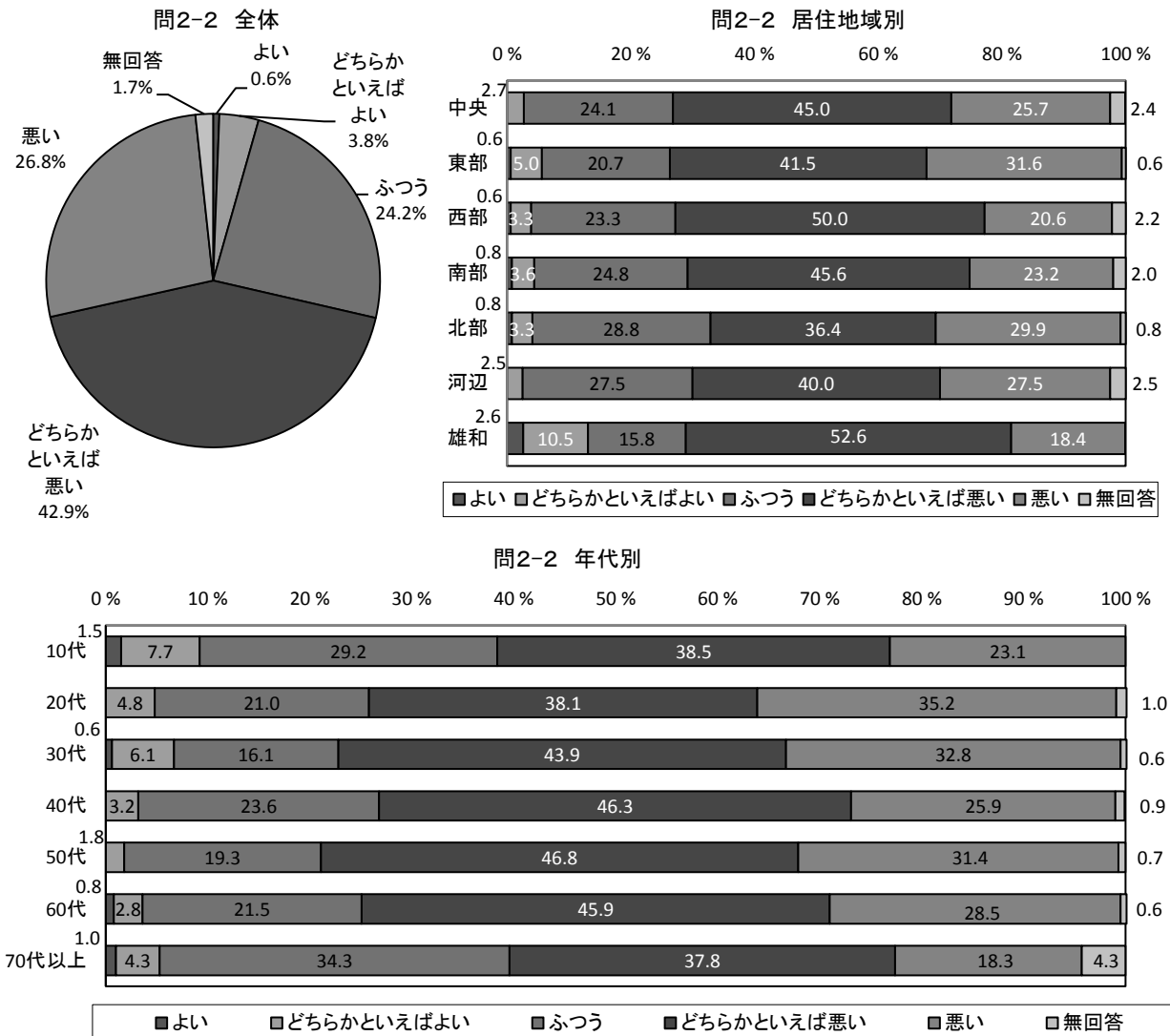
- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

この設問では、まちなぎわいに対する評価を聞いている。（集計表 P106 参照）

全体集計では、「よい」0.6%（1.1%）、「どちらかといえばよい」3.8%（2.3%）、「ふつう」24.2%（21.5%）、「どちらかといえば悪い」42.9%（42.5%）、「悪い」26.8%（29.8%）となった。良い評価4.4%（3.4%）に対し、悪い評価69.7%（72.3%）であり、悪い評価が良い評価を65.3%上回っている。

年代別集計では、悪い評価がすべての年代で半数を超えている。一方で、良い評価は、すべての年代で10%に達しておらず、年代を問わずまちなぎわいに不満を感じているといえる。

居住地域別集計では、悪い評価が「東部」73.1%（72.6%）と他の地域に比べ高くなっている。



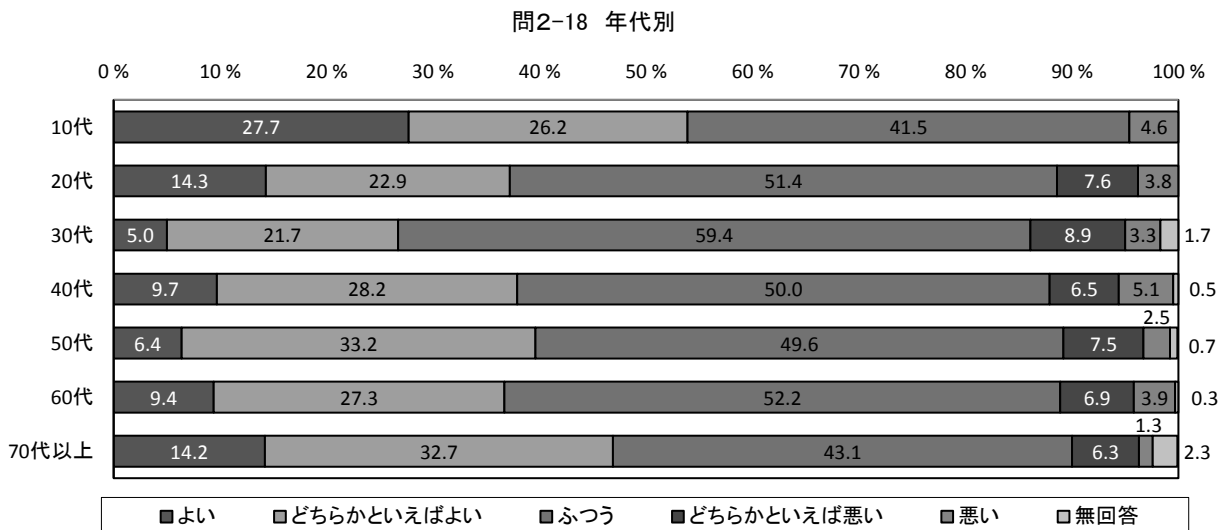
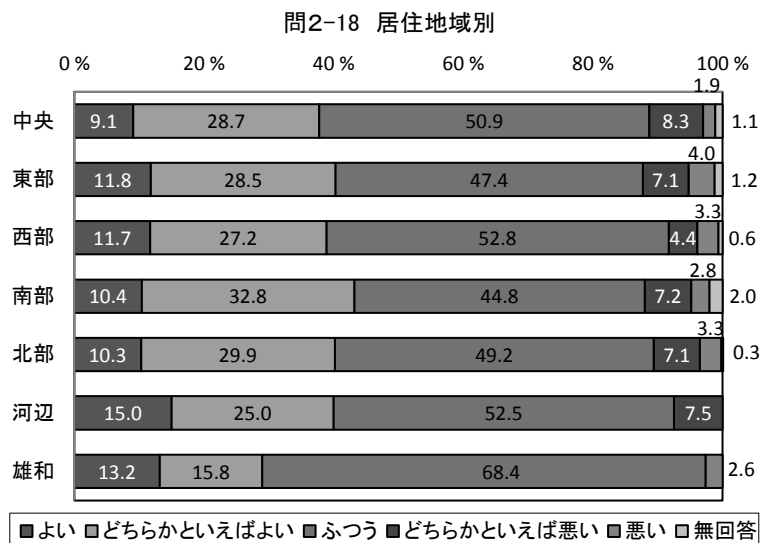
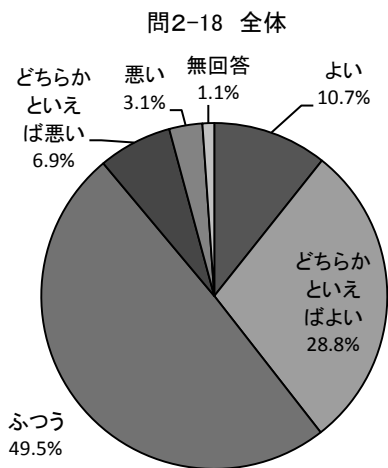
問2-18（ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組みは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組みは）をどのように感じていますか。

- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

この設問では、ごみの収集・処理やリサイクルの取り組みに対する評価を聞いている。（集計表 P114 参照）
 全体集計では、「よい」10.7%（12.3%）、「どちらかといえばよい」28.8%（29.7%）、「ふつう」49.5%（47.3%）、どちらかといえば悪い」6.9%（6.8%）、「悪い」3.1%（2.3%）となった。良い評価39.5%（42.0%）に対し、悪い評価10.0%（9.1%）となっている。

年代別集計では、良い評価が「10代」53.9%（36.5%）、「70代以上」46.9%（45.9%）と高くなっている。
 居住地域別集計では、良い評価が「雄和」29.0%（46.6%）と、他の地域に比べ低くなっている。



問2-20（町内会など自治活動の状況は）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（町内会など自治活動の状況は）をどのように感じていますか。

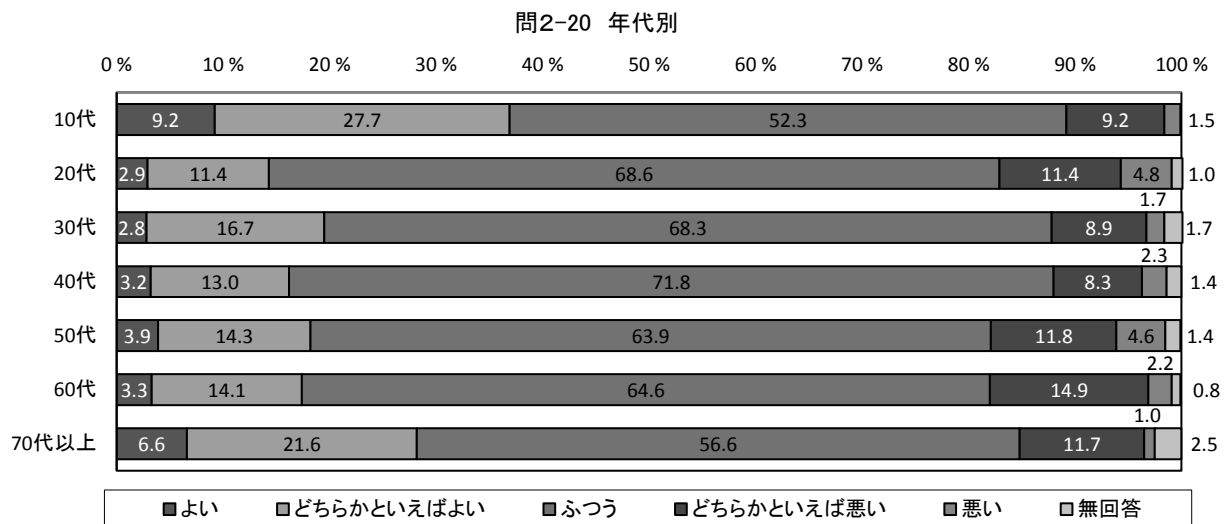
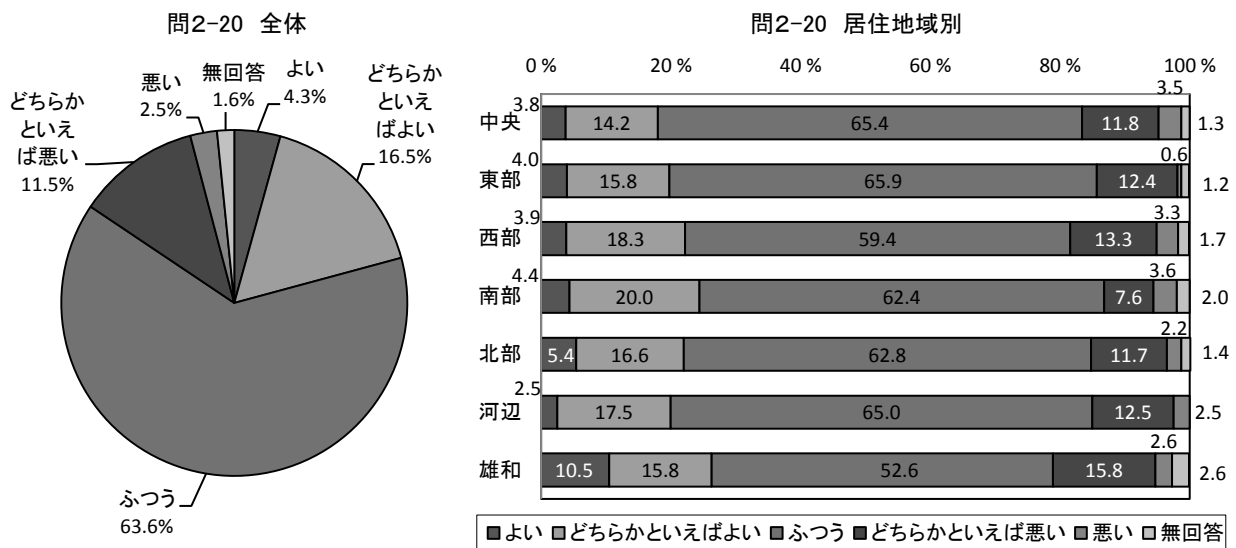
- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

この設問では、町内会など自治活動の状況に対する評価を聞いている。（集計表 P115 参照）

全体集計では、「よい」4.3%（5.2%）、「どちらかといえばよい」16.5%（12.7%）、「ふつう」63.6%（65.1%）、「どちらかといえば悪い」11.5%（11.7%）、「悪い」2.5%（3.0%）となった。良い評価20.8%（17.9%）に対し、悪い評価14.0%（14.7%）となっている。

年代別集計では、良い評価が「10代」36.9%（23.0%）、「70代以上」28.2%（23.5%）と高くなっている。

居住地域別集計では、良い評価が、「雄和」26.3%（10.0%）、「南部」24.4%（17.5%）と他の地域に比べ高くなっている。



問2-21 (NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさは）をどのように感じていますか。

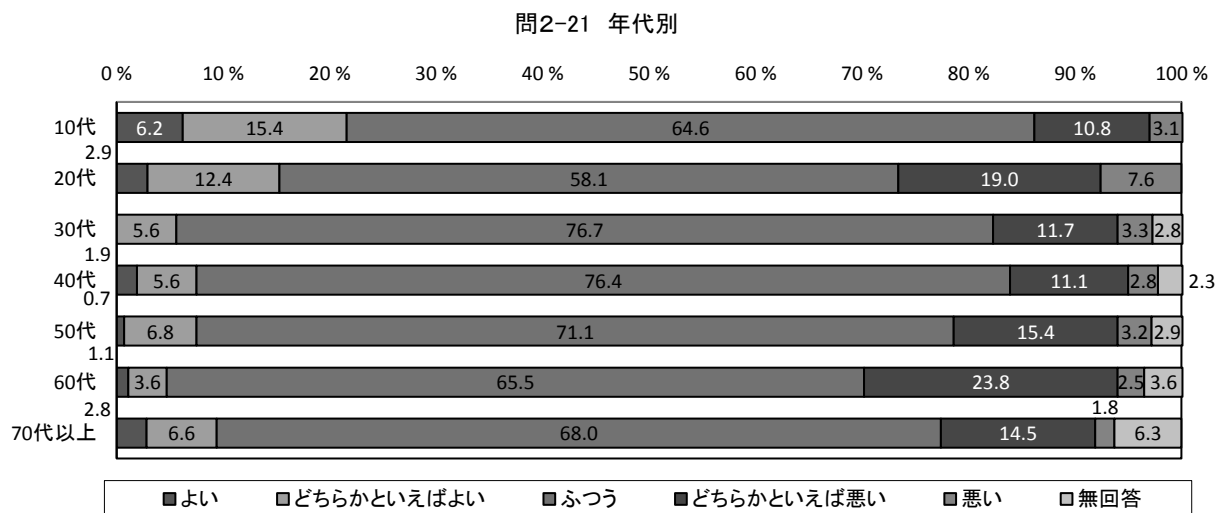
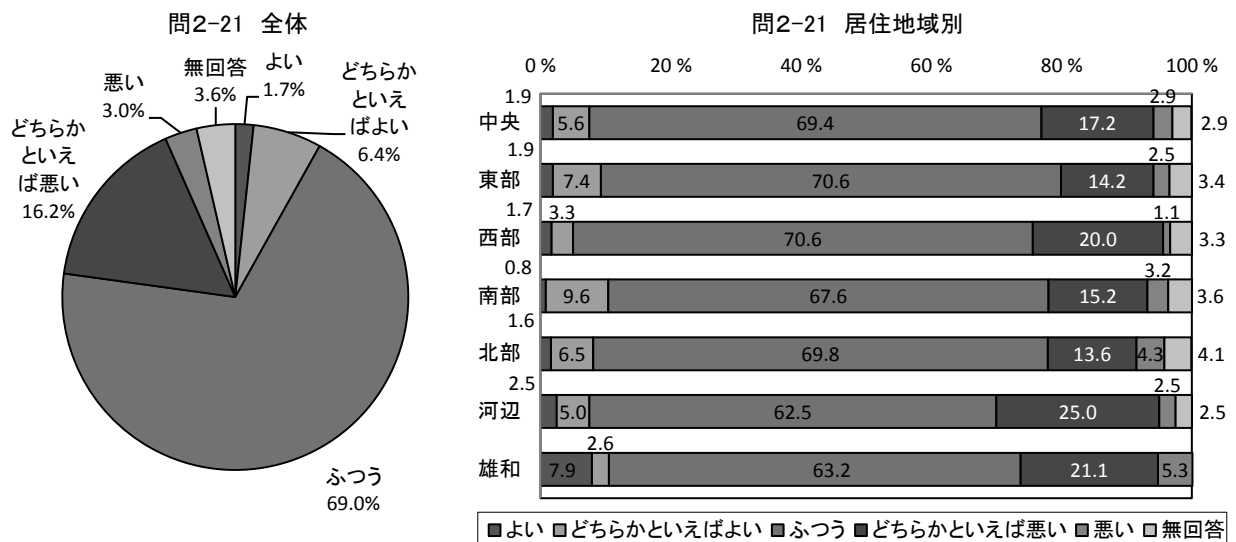
- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

この設問では、NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P115 参照)

全体集計では、「よい」1.7%(1.0%)、「どちらかといえばよい」6.4%(5.7%)、「ふつう」69.0%(67.3%)、「どちらかといえば悪い」16.2%(18.4%)、「悪い」3.0%(2.8%)となった。良い評価8.1%(6.7%)に対し、悪い評価19.2%(21.2%)となっている。

年代別集計では、悪い評価が「20代」26.6%(22.6%)、「60代」26.3%(21.9%)と高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「河辺」27.5%(27.1%)、「雄和」26.4%(26.6%)と他の地域に比べ高くなっている。



問2-22 (レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさは）をどのように感じていますか。

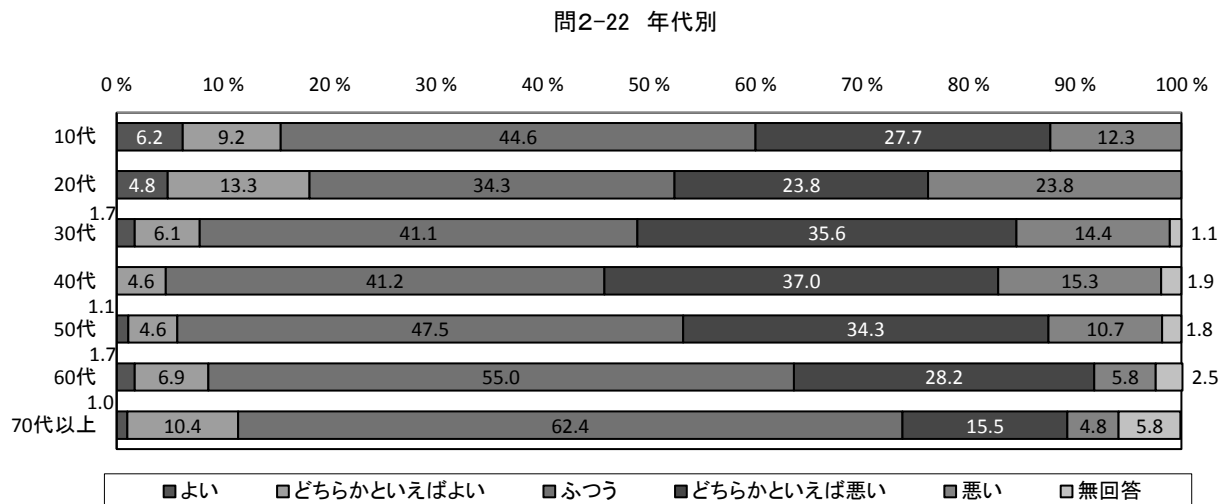
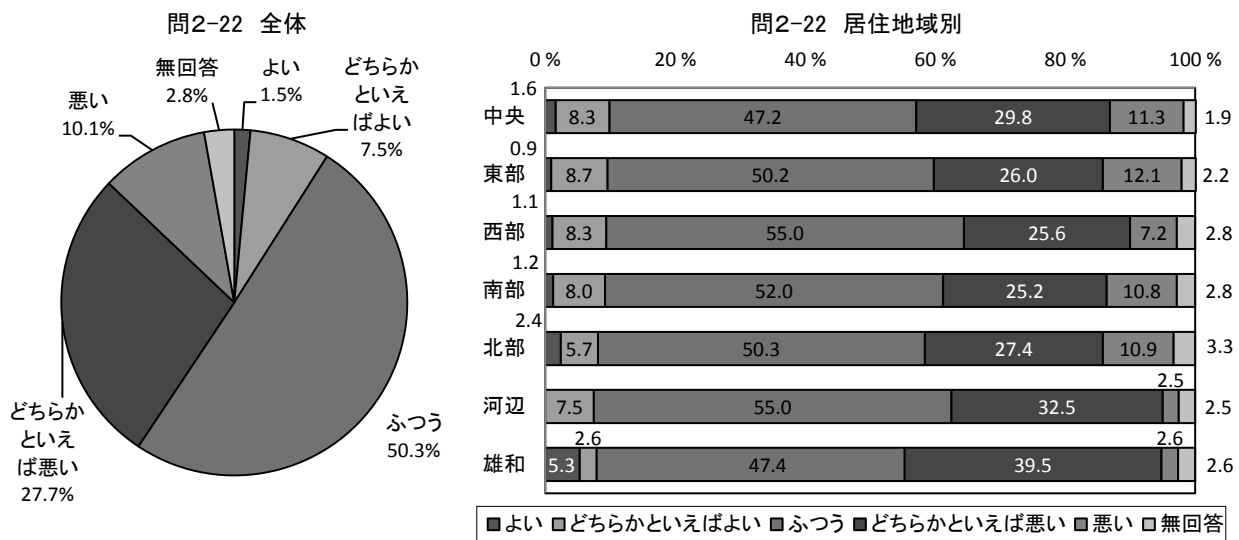
- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

この設問では、レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P116 参照)

全体集計では、「よい」1.5% (1.9%)、「どちらかといえばよい」7.5% (8.8%)、「ふつう」50.3% (44.3%)、「どちらかといえば悪い」27.7% (31.3%)、「悪い」10.1% (10.0%)となった。良い評価9.0% (10.7%)に対し、悪い評価37.8% (41.3%)となっている。

年代別集計では、悪い評価が、「30代」50.0% (48.6%)、「40代」52.3% (53.7%)と高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「中央」41.1% (39.0%)、「雄和」42.1% (40.0%)と他の地域より高くなっている。



問2-23（各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさは）をどのように感じていますか。

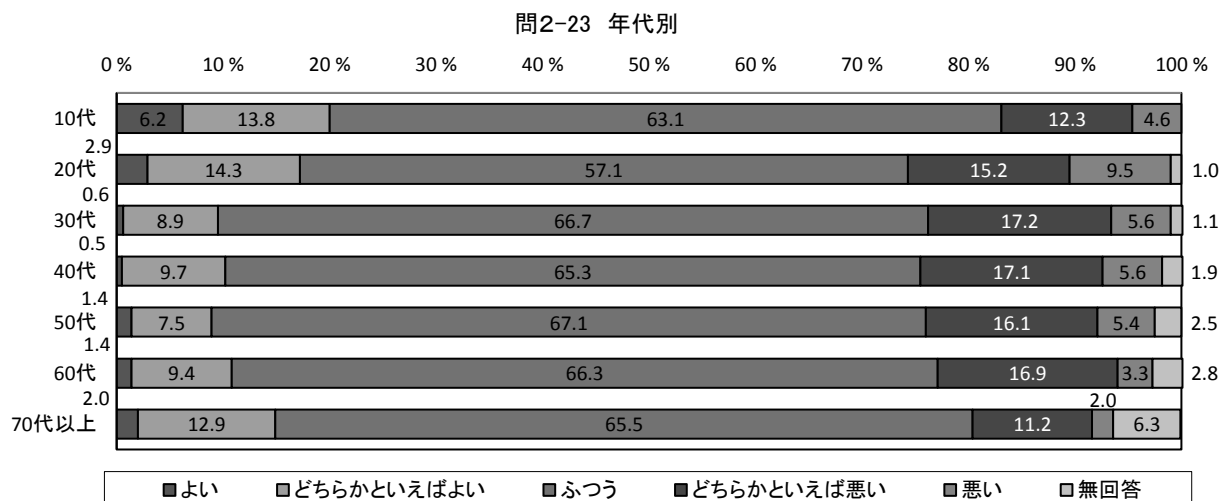
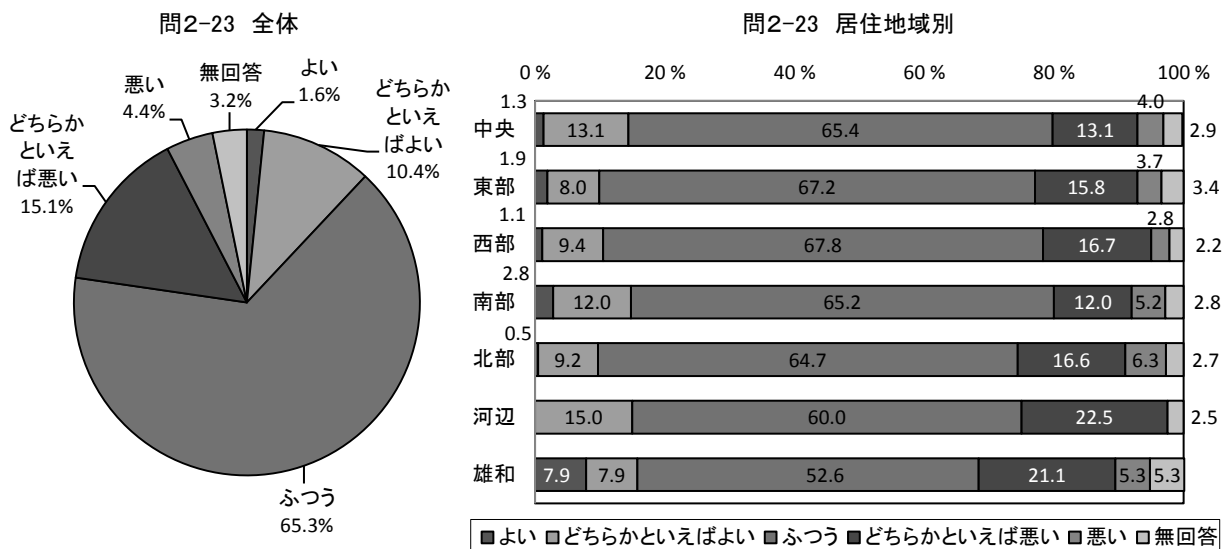
- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

この設問では、各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P116 参照)

全体集計では、「よい」1.6% (2.8%)、「どちらかといえばよい」10.4% (11.0%)、「ふつう」65.3% (63.8%)、「どちらかといえば悪い」15.1% (14.7%)、「悪い」4.4% (4.0%)となった。良い評価12.0% (13.8%)に対し、悪い評価19.5% (18.7%)となっている。

年代別集計では、良い評価が「10代」20.0% (16.2%)、「20代」17.2% (11.6%)、「70代以上」14.9% (15.6%)と高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「雄和」26.4% (26.7%)と、他の地域に比べ高くなっている。



問2-24 (スポーツ活動のしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと (スポーツ活動のしやすさは) をどのように感じていますか。

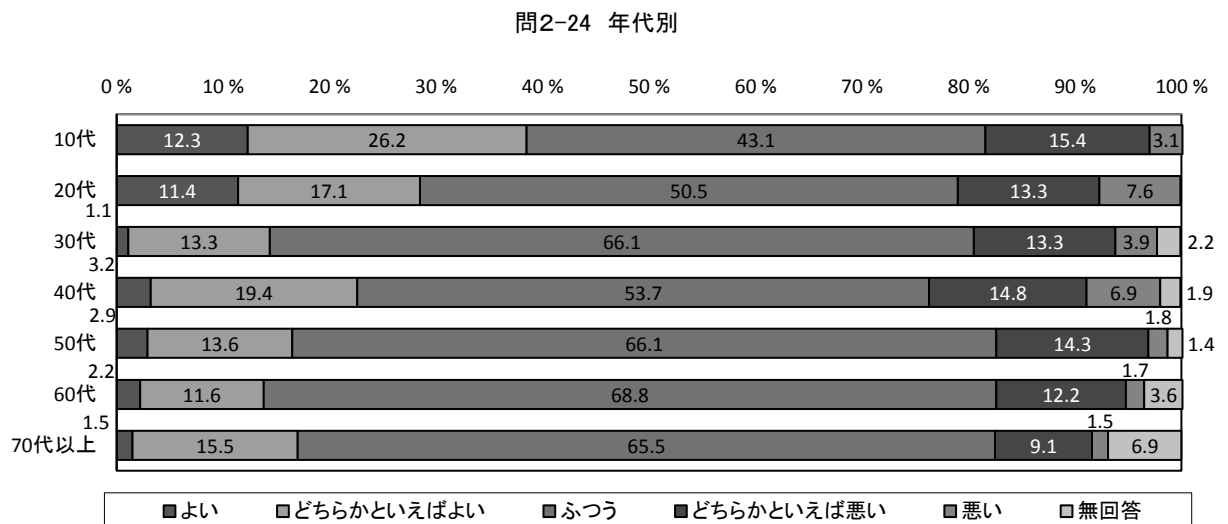
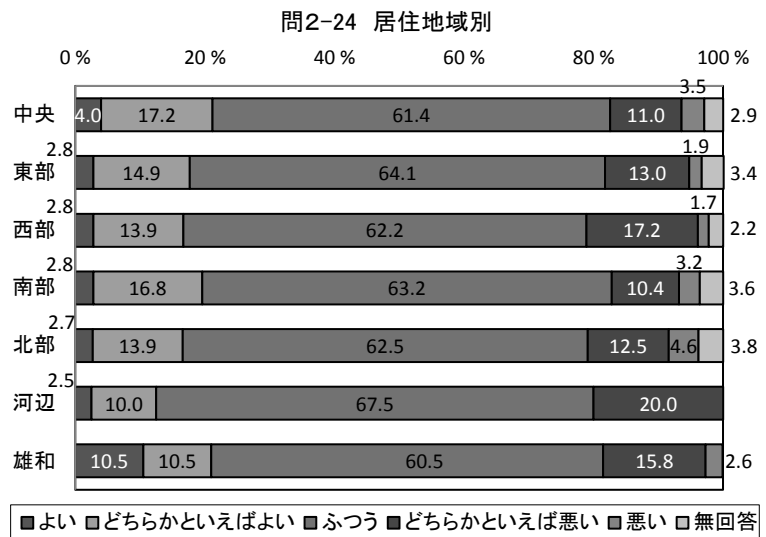
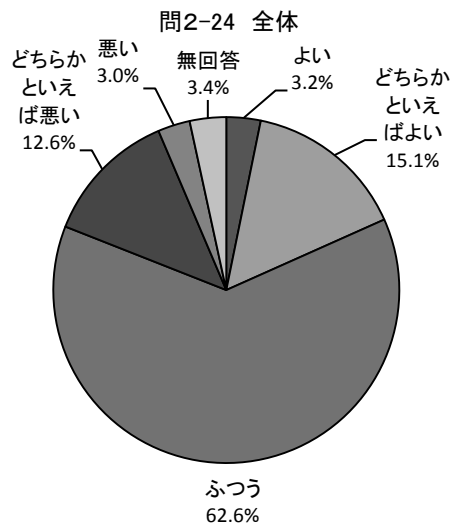
- 1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

この設問では、スポーツ活動のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表P117 参照)

全体集計では、「よい」3.2%(3.7%)、「どちらかといえばよい」15.1%(16.1%)、「ふつう」62.6%(61.0%)、「どちらかといえば悪い」12.6%(12.6%)、「悪い」3.0%(2.9%)となった。良い評価18.3%(19.8%)に対し、悪い評価15.6%(15.5%)となっている。

年代別集計では、良い評価が、「10代」38.5%(37.8%)と最も高くなっている。また、悪い評価が「40代」21.7%(19.4%)と最も高くなっている。

居住地域別集計では、良い評価が「中央」21.2%(22.8%)、「雄和」21.0%(26.6%)と他の地域に比べ高くなっている。



問2-25（文化・芸術活動のしやすさは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（文化・芸術活動のしやすさは）をどのように感じていますか。

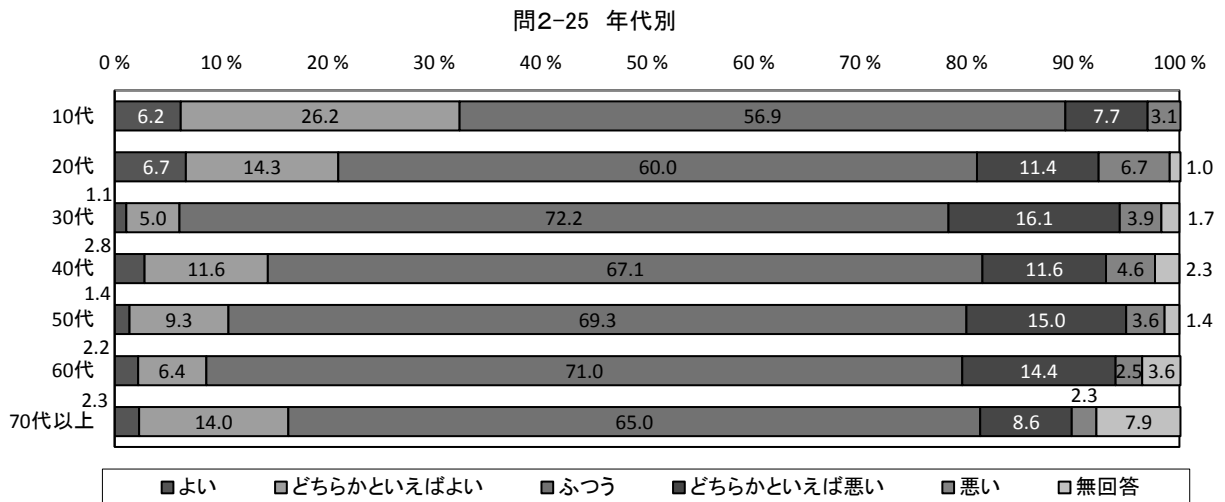
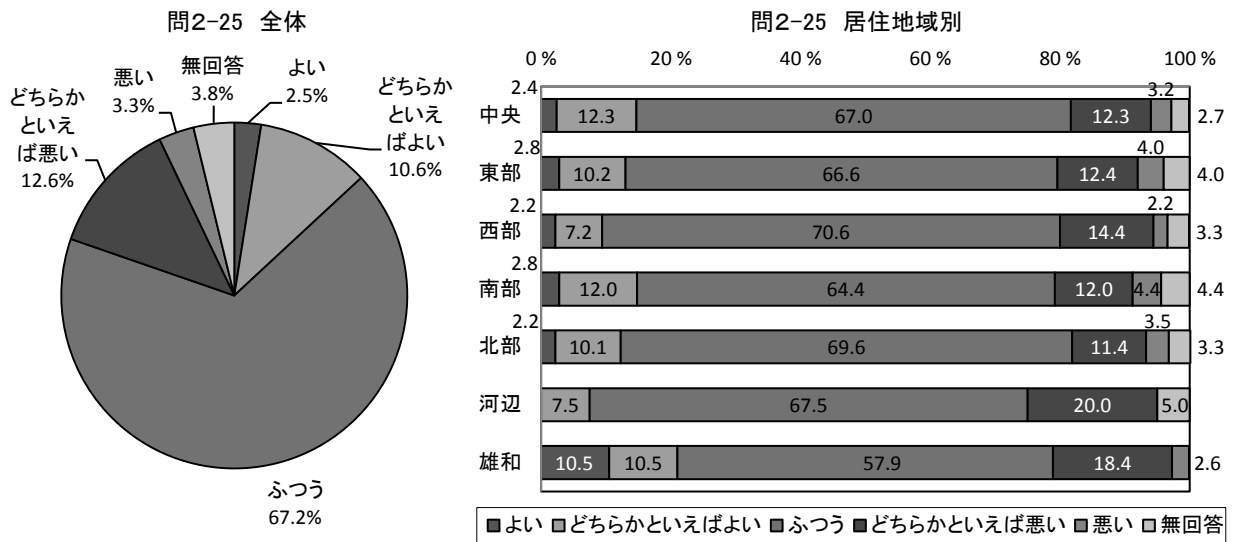
- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

この設問では、文化・芸術活動のしやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P117 参照）

全体集計では、「よい」2.5%（2.6%）、「どちらかといえばよい」10.6%（11.3%）、「ふつう」67.2%（64.1%）、「どちらかといえば悪い」12.6%（14.0%）、「悪い」3.3%（3.5%）となった。良い評価13.1%（13.9%）に対し、悪い評価15.9%（17.5%）となっている。

年代別集計では、良い評価が、「10代」32.4%（28.4%）と最も高くなっている。また、悪い評価が「30代」20.0%（27.0%）と最も高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「河辺」20.0%（20.8%）、「雄和」21.0%（23.4%）と他の地域に比べ高くなっている。



問2-26 (女性の社会参加のしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（女性の社会参加のしやすさは）をどのように感じていますか。

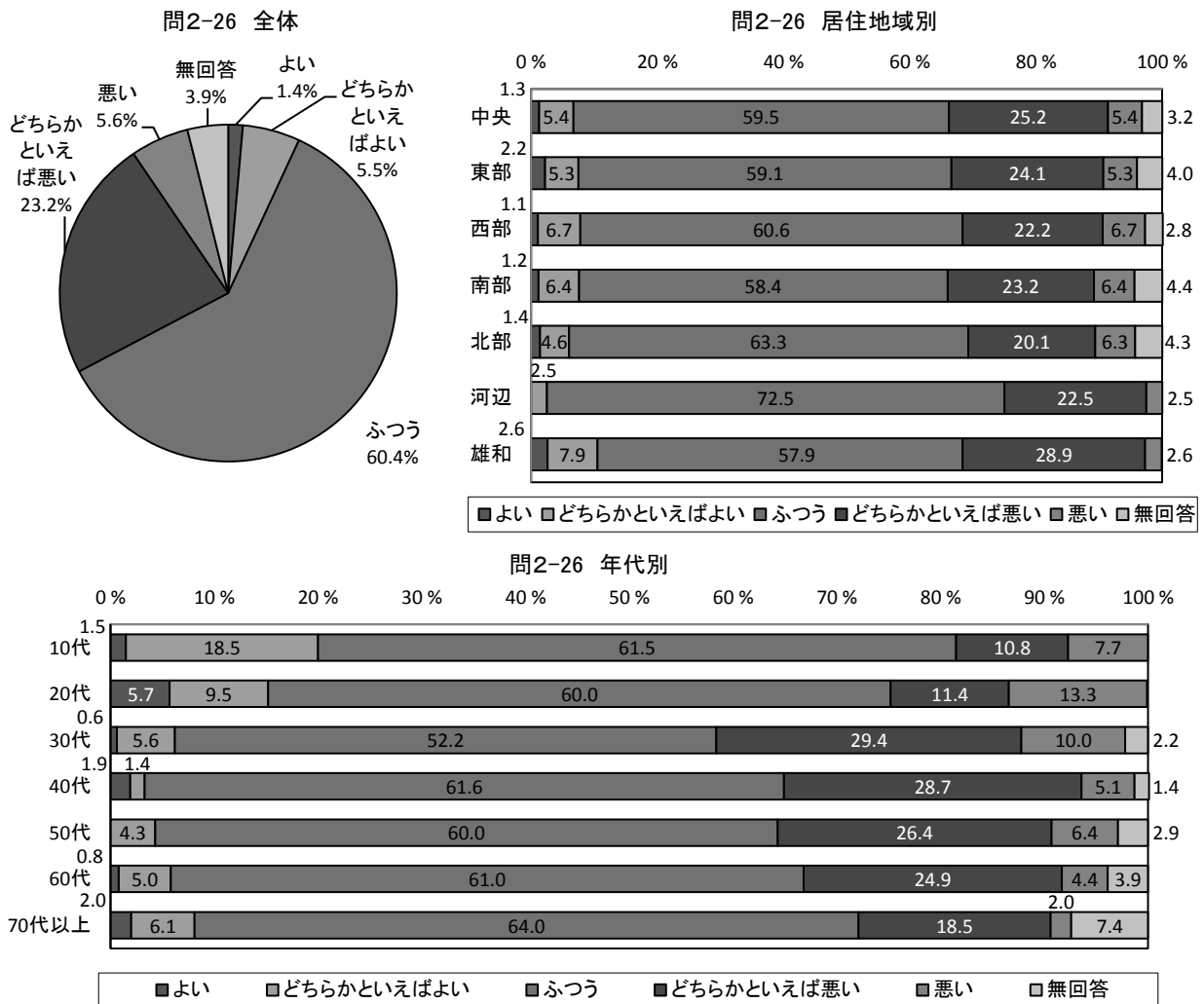
- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

この設問では、女性の社会参加のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P118 参照)

全体集計では、「よい」1.4% (1.3%)、「どちらかといえばよい」5.5% (6.7%)、「ふつう」60.4% (59.4%)、「どちらかといえば悪い」23.2% (22.9%)、「悪い」5.6% (5.1%)となった。良い評価6.9% (8.0%)に対し、悪い評価28.8% (28.0%)となっている。

年代別集計では、悪い評価が「30代」39.4% (32.4%)、「40代」33.8% (28.7%)、「50代」32.8% (29.7%)と高くなっている。

居住地域別集計では、良い評価が「雄和」10.5% (10.0%)と他の地域に比べ高くなっている。



問2-27 (市民の市政参加のしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（市民の市政参加のしやすさは）をどのように感じていますか。

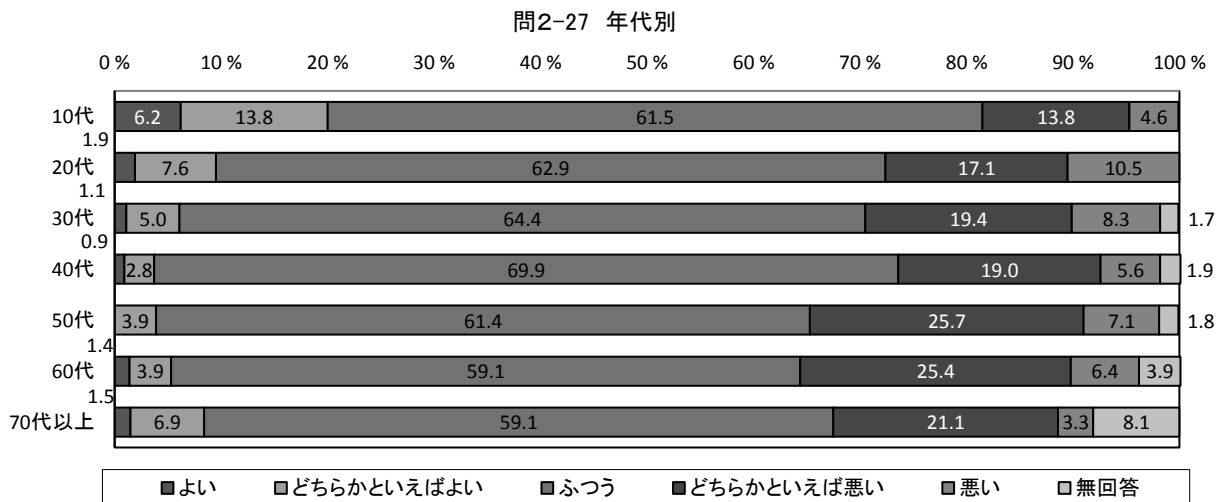
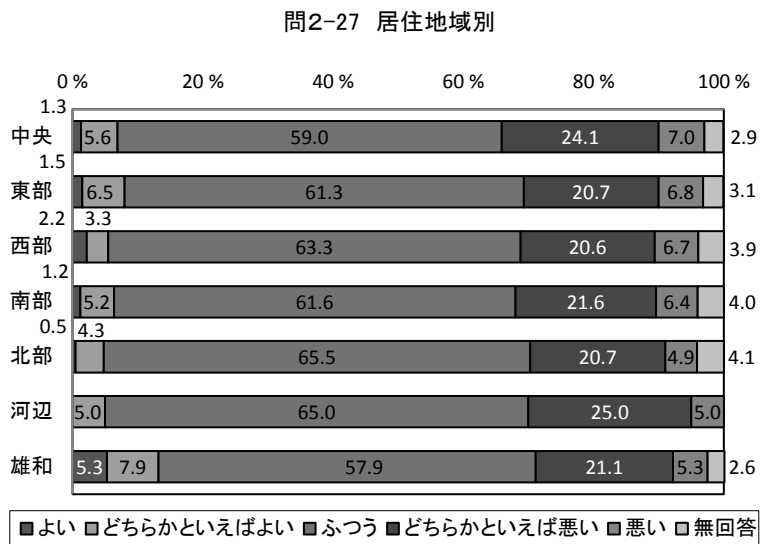
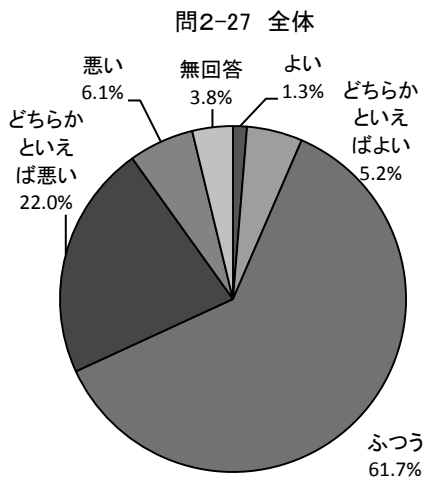
- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

この設問では、市民の市政参加のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P118 参照)

全体集計では、「よい」1.3% (0.9%)、「どちらかといえばよい」5.2% (4.9%)、「ふつう」61.7% (62.2%)、「どちらかといえば悪い」22.0% (22.1%)、「悪い」6.1% (4.7%)となった。良い評価6.5% (5.8%)に対し、悪い評価28.1% (26.8%)となっている。

年代別集計では、悪い評価が「50代」32.8% (31.9%)、「60代」31.8% (24.4%)と高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「中央」31.1% (23.6%)、「河辺」30.0% (27.1%)と他の地域に比べ高くなっている。

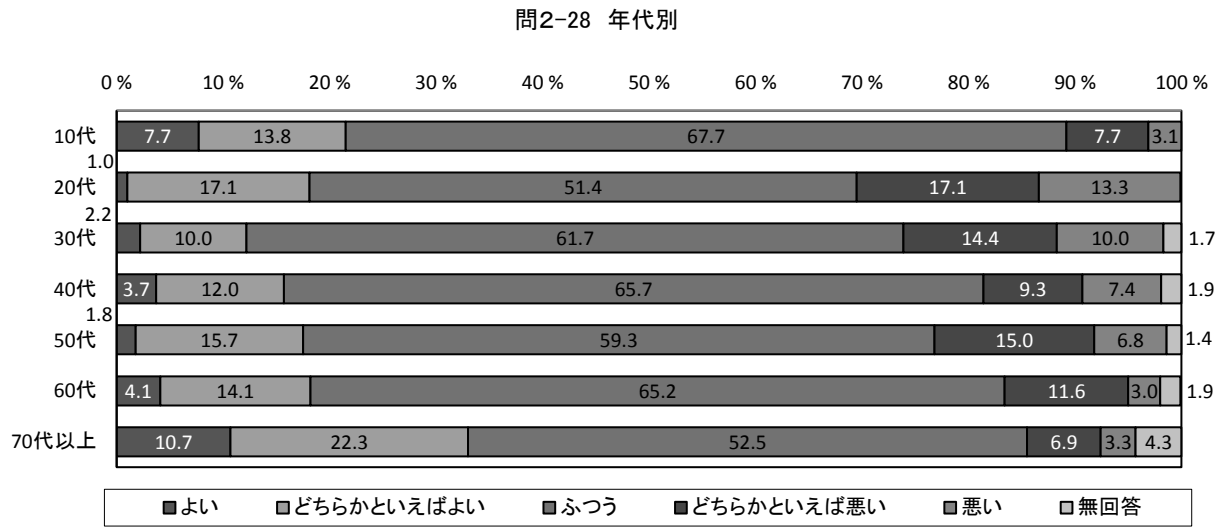
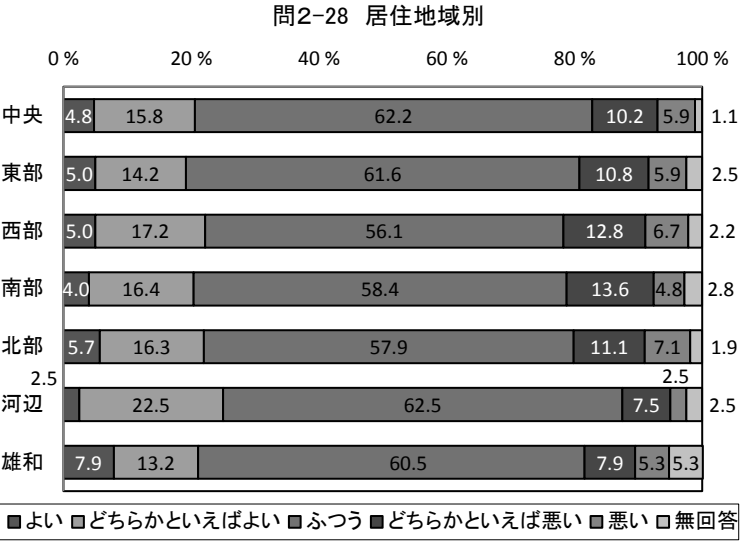
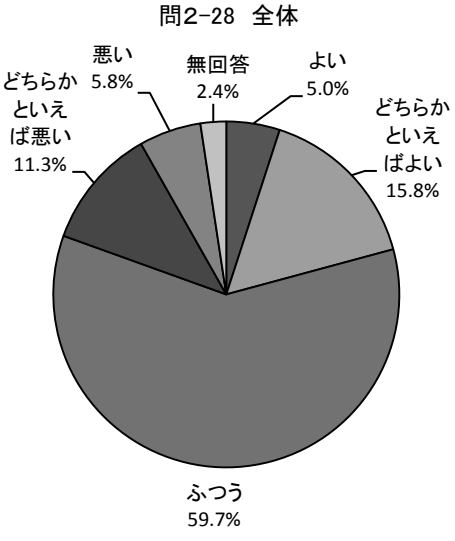


問2-28（市役所の窓口サービスは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（市役所の窓口サービスは）をどのように感じていますか。

- 1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

この設問では、市役所の窓口サービスに対する評価を聞いている。（集計表 P119 参照）
 全体集計では、「よい」5.0%（5.9%）、「どちらかといえばよい」15.8%（13.8%）、「ふつう」59.7%（57.8%）、「どちらかといえば悪い」11.3%（12.9%）、「悪い」5.8%（7.2%）となった。良い評価20.8%（19.7%）に対し、悪い評価17.1%（20.1%）となっている。
 年代別集計では、良い評価が「70代以上」33.0%（35.3%）と最も高くなっている。また、悪い評価では、「20代」30.4%（31.4%）、「30代」24.4%（33.3%）と高くなっている。
 居住地域別集計では、悪い評価が「西部」19.5%（19.1%）と他の地域に比べ高くなっている。



問2-29（広報あきたなど市政情報の得やすさは）

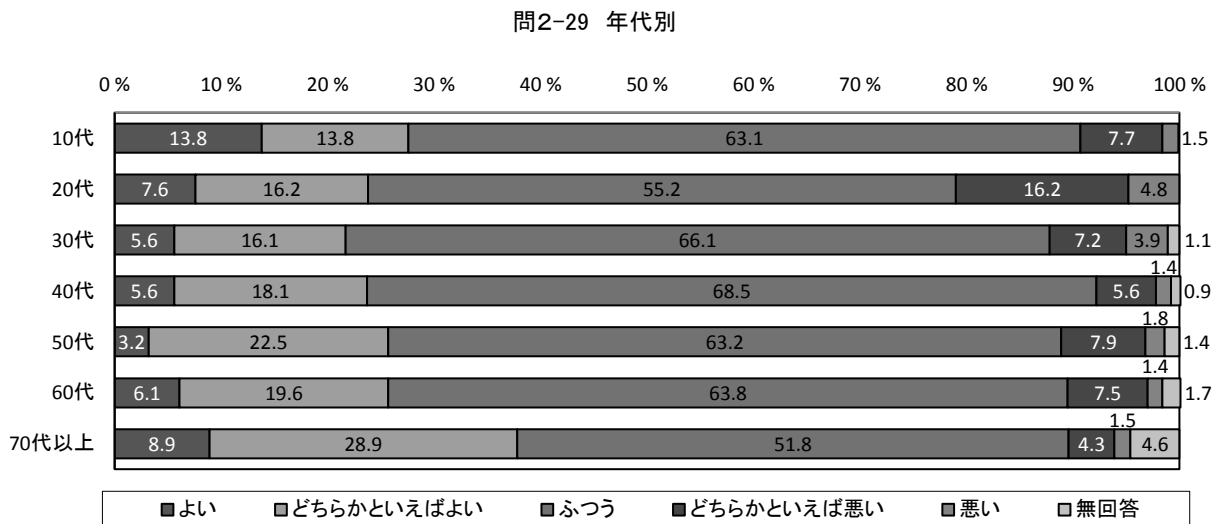
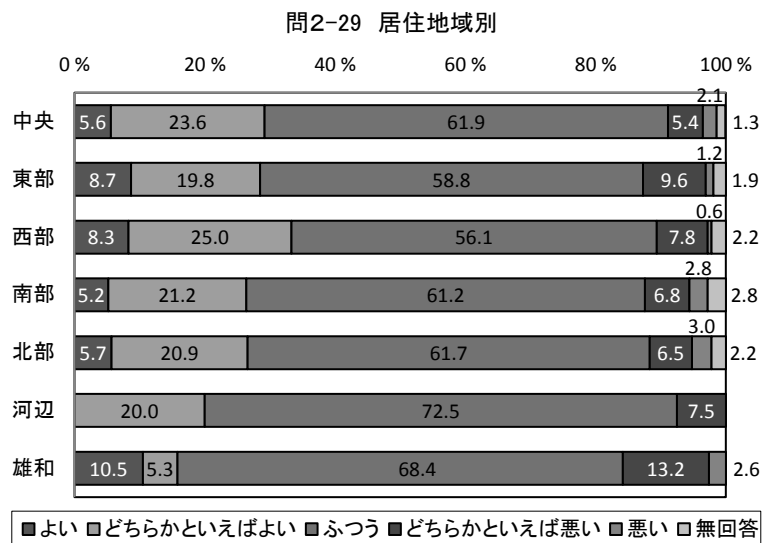
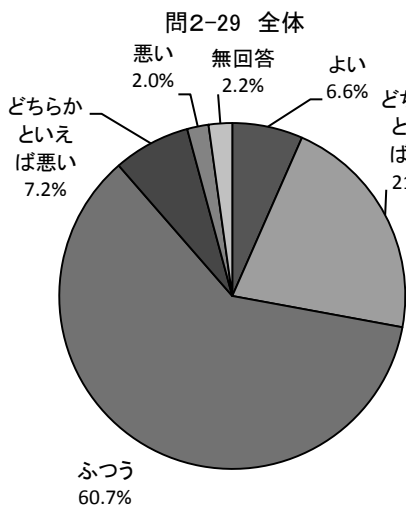
あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（広報あきたなど市政情報の得やすさは）をどのように感じていますか。

- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

この設問では、広報あきたなど市政情報の得やすさに対する評価を聞いている。（集計表 P119 参照）
 全体集計では、「よい」6.6%（9.6%）、「どちらかといえばよい」21.3%（25.7%）、「ふつう」60.7%（55.1%）、「どちらかといえば悪い」7.2%（5.9%）、「悪い」2.0%（1.1%）となった。良い評価27.9%（35.3%）に対し、悪い評価9.2%（7.0%）となっている。

年代別集計では、良い評価が「70代以上」37.8%（40.1%）と最も高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「雄和」15.8%（13.3%）と他の地域に比べ高くなっている。



問2-30（ホームページを使った市民サービスは）

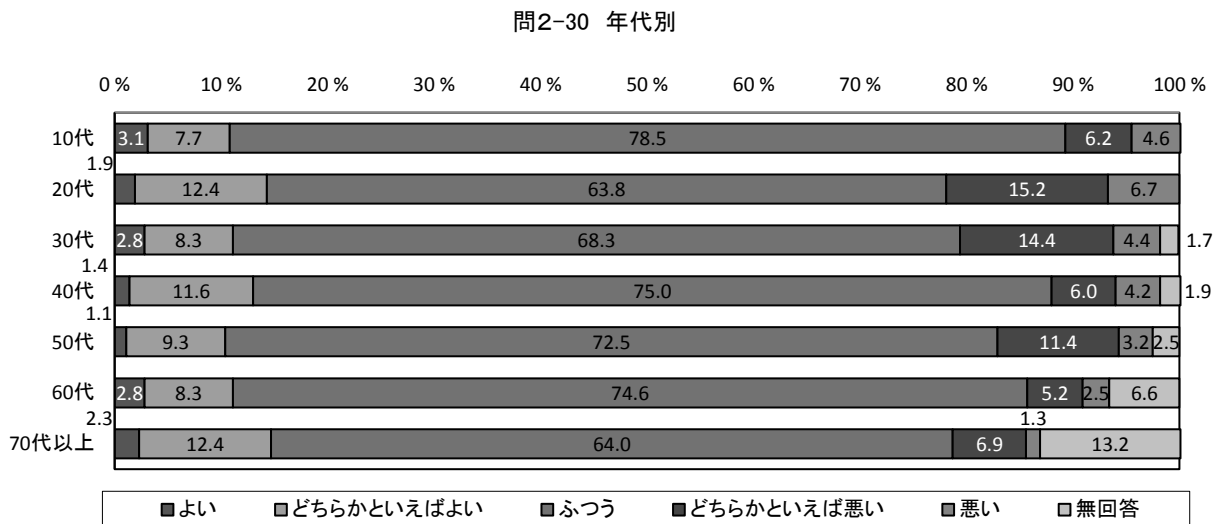
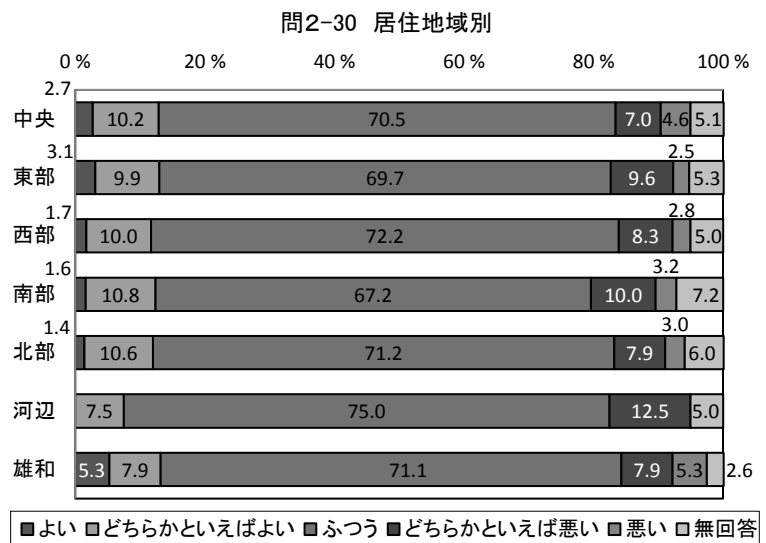
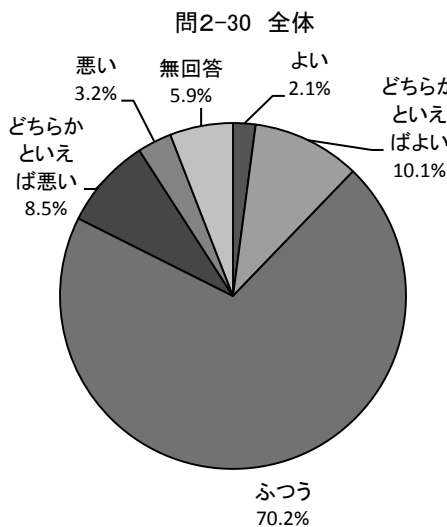
あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（ホームページを使った市民サービスは）をどのように感じていますか。

- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

この設問では、ホームページを使った市民サービスに対する評価を聞いている。（集計表 P120 参照）
 全体集計では、「よい」2.1% (3.2%)、「どちらかといえばよい」10.1% (11.8%)、「ふつう」70.2% (68.4%)、「どちらかといえば悪い」8.5% (7.2%)、「悪い」3.2% (2.1%)となった。良い評価12.2% (15.0%)に対し、悪い評価11.7% (9.3%)となっている。

年代別集計では、悪い評価が「20代」21.9% (16.8%)、「30代」18.8% (12.9%)と高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「南部」13.2% (10.2%)、「雄和」13.2% (16.6%)と高くなっている。



第2節 秋田市の施策について

1 力を入れて欲しい施策（問3①）

※（ ）内は前回の数値

問3①（力を入れて欲しい施策）

秋田市の行っていることの中で、あなたはどのような分野に力を入れて欲しいと思いますか。次の中から5つまで選んで番号に○をつけてください。

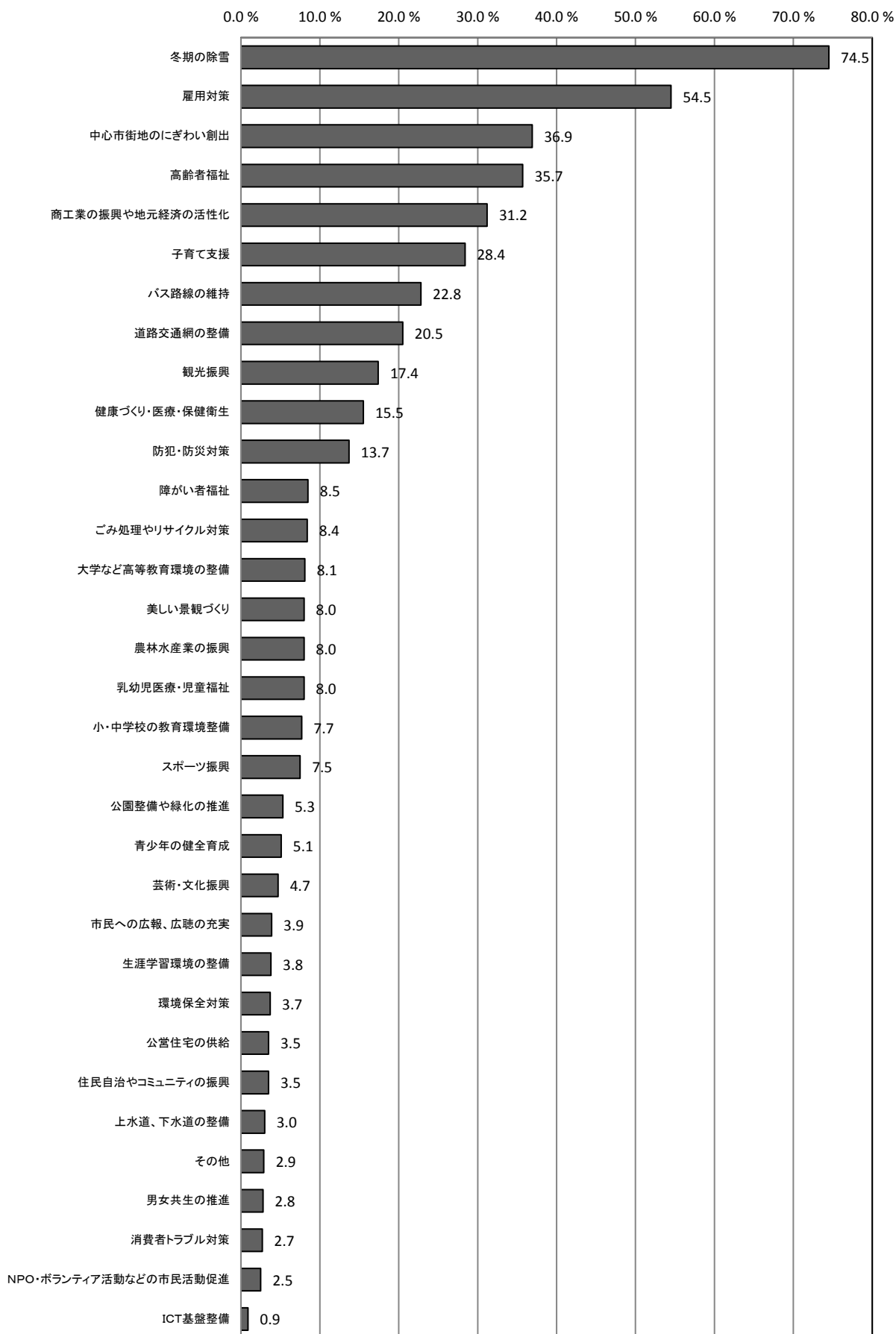
- | | | |
|--------------------------|-------------------|--------------------|
| 1 道路交通網の整備 | 2 バス路線の維持 | 3 冬期の除雪 |
| 4 中心市街地のにぎわい創出 | 5 公営住宅の供給 | 6 上水道、下水道の整備 |
| 7 美しい景観づくり | 8 公園整備や緑化の推進 | 9 環境保全対策 |
| 10 ごみ処理やリサイクル対策 | 11 ICT基盤整備 | 12 商工業の振興や地元経済の活性化 |
| 13 雇用対策 | 14 観光振興 | 15 農林水産業の振興 |
| 16 高齢者福祉 | 17 障がい者福祉 | 18 子育て支援 |
| 19 乳幼児医療・児童福祉 | 20 健康づくり・医療・保健衛生 | 21 防犯・防災対策 |
| 22 消費者トラブル対策 | 23 小・中学校の教育環境整備 | 24 大学など高等教育環境の整備 |
| 25 生涯学習環境の整備 | 26 青少年の健全育成 | 27 スポーツ振興 |
| 28 芸術・文化振興 | 29 住民自治やコミュニティの振興 | |
| 30 NPO・ボランティア活動などの市民活動促進 | | 31 男女共生の推進 |
| 32 市民への広報、広聴の充実 | 33 その他 | |

この設問では、力を入れて欲しい施策を5つ聞いている。（集計表 P121～122 参照）

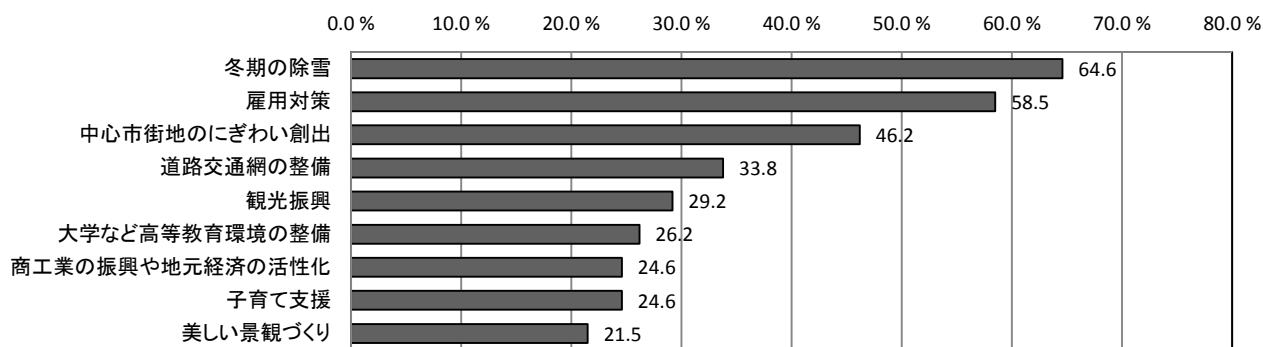
全体集計において、最も多かったのは「冬期の除雪」74.5%（56.9%）であった。以下、「雇用対策」54.5%（60.0%）、「中心市街地のにぎわい創出」36.9%（37.7%）、「高齢者福祉」35.7%（40.5%）、「商工業の振興や地元経済の活性化」の31.2%（36.6%）、「子育て支援」28.4%（21.5%）と続いている。（P44グラフ参照）

なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P45からP48にグラフで示している。（表記の条件として、20%以上の回答があったものを記している）

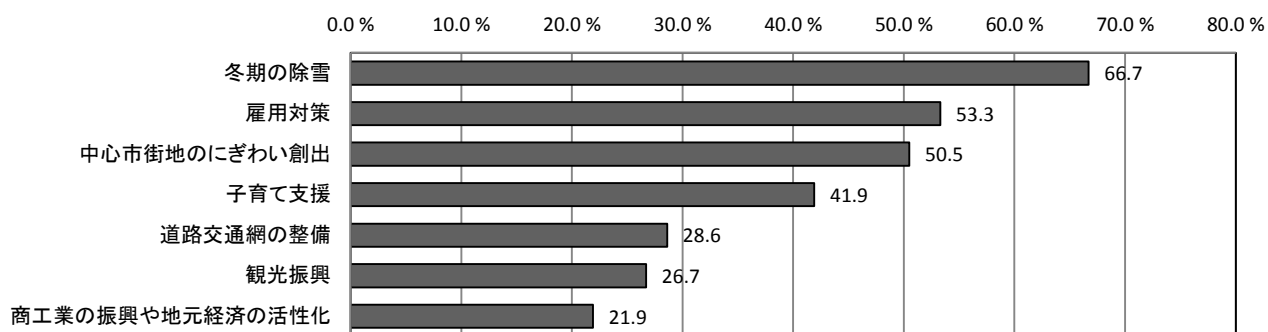
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策) 全体集計



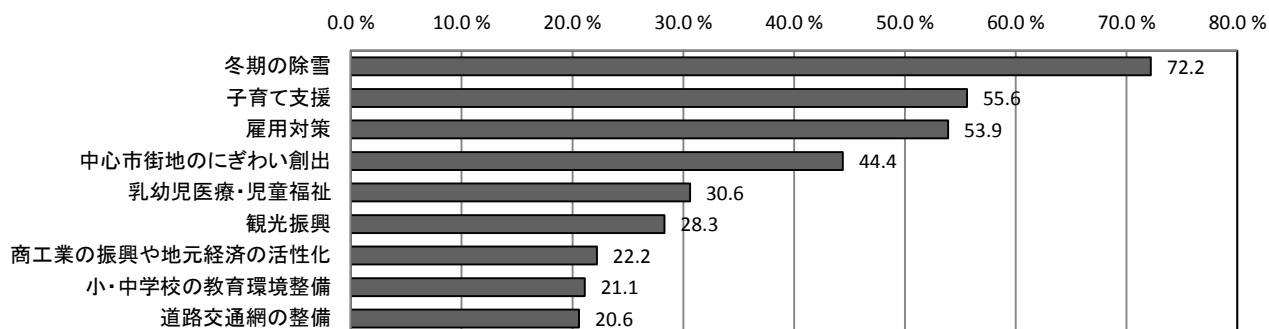
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「10代」



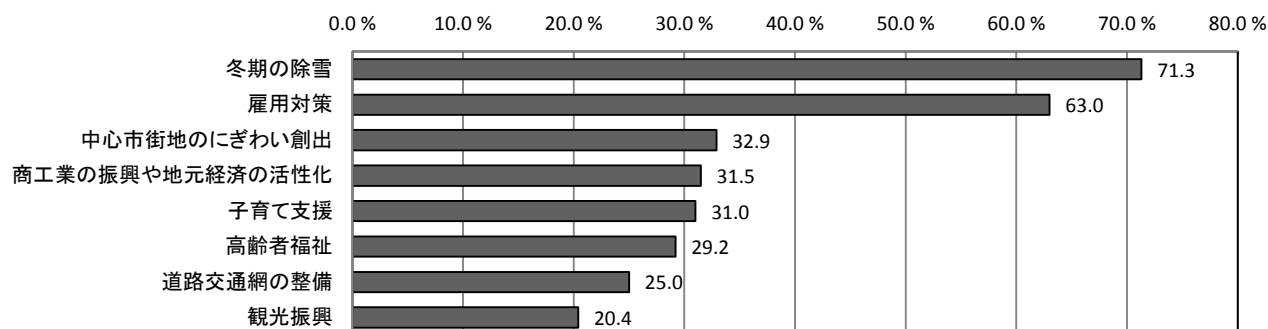
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「20代」



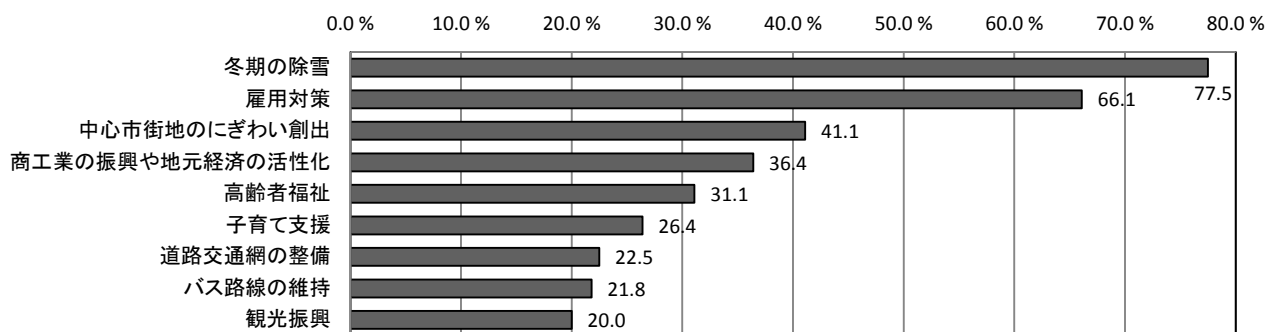
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「30代」



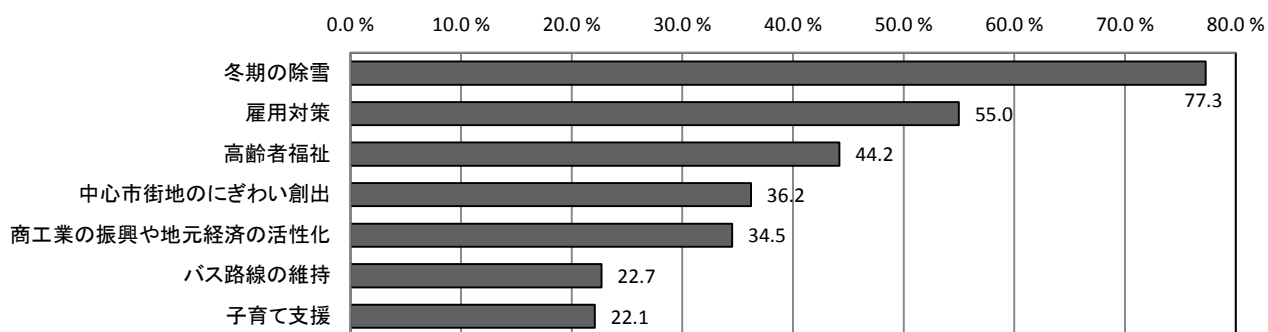
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「40代」



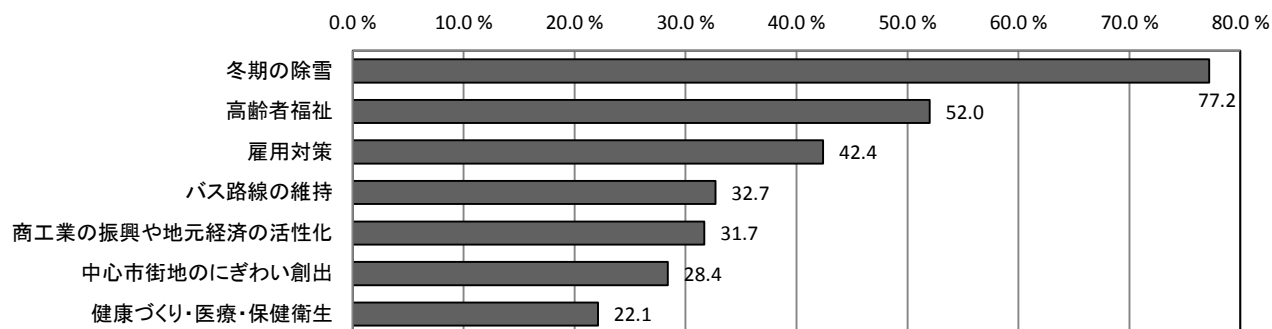
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「50代」



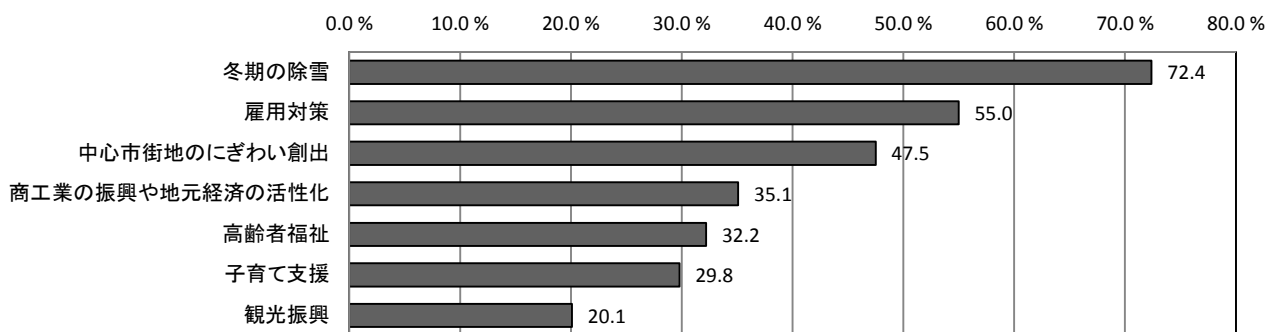
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「60代」



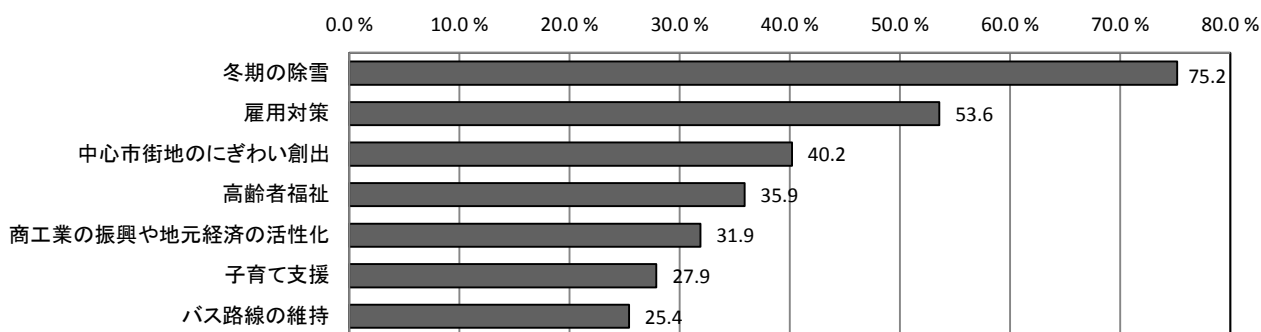
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「70代以上」



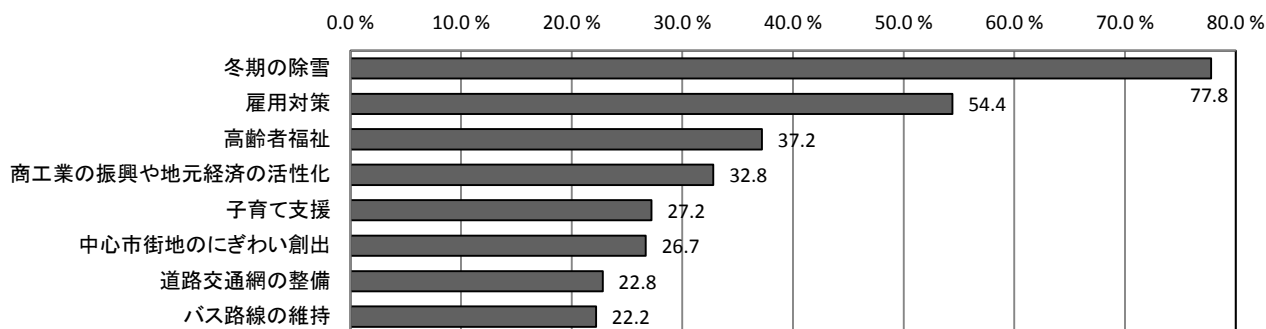
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「中央」



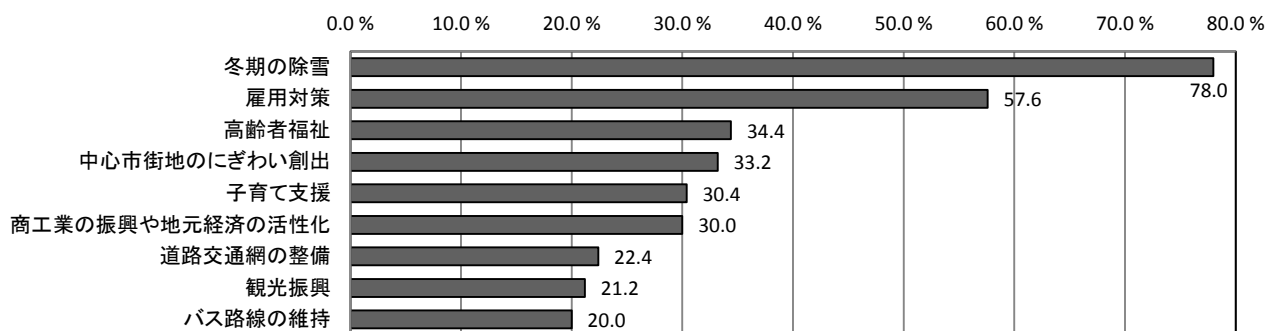
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「東部」



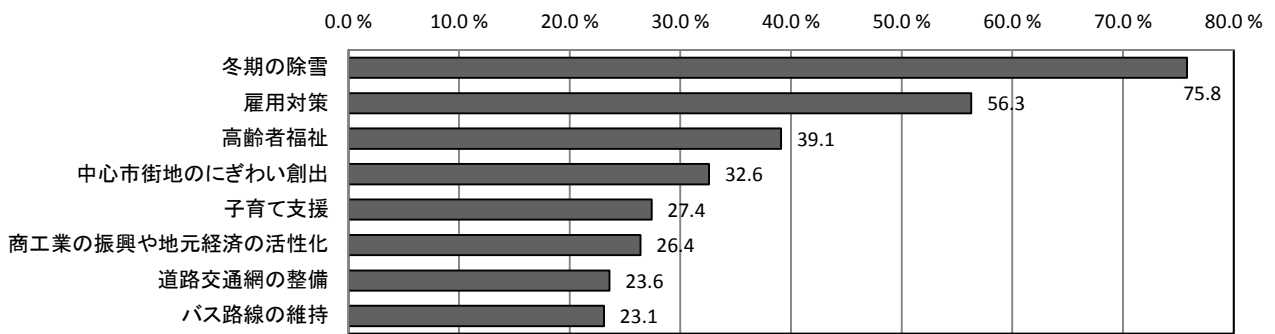
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「西部」



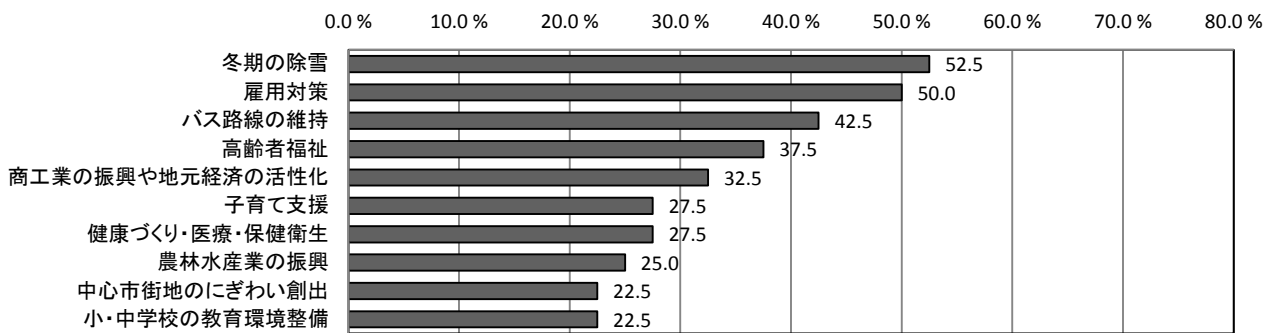
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「南部」



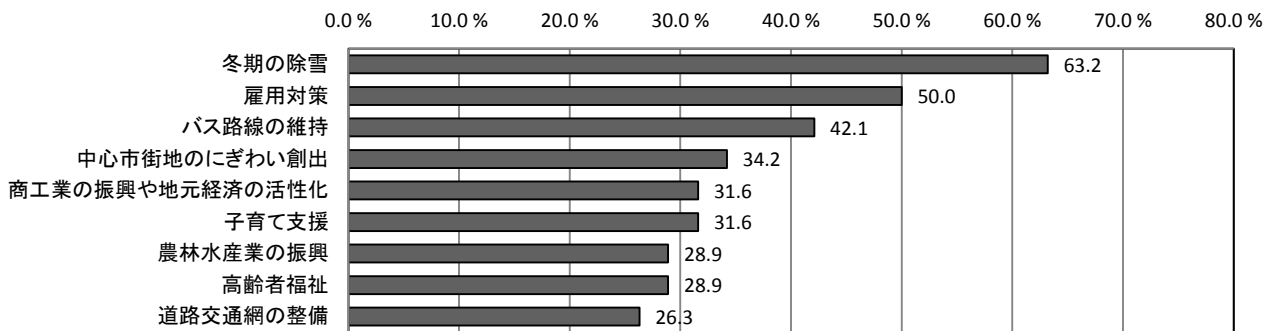
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「北部」



問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「河辺」



問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「雄和」



2 最も力を入れて欲しい施策（問3②）

※（ ）内は前回の数値

問3②（最も力を入れて欲しい施策）

（問3①の質問を受け）①中で選んだ中で、あなたが、一番、力を入れて欲しいと思うものはどれですか。1つを選んで記入してください。

- | | | |
|--------------------------|-------------------|--------------------|
| 1 道路交通網の整備 | 2 バス路線の維持 | 3 冬期の除雪 |
| 4 中心市街地のにぎわい創出 | 5 公営住宅の供給 | 6 上水道、下水道の整備 |
| 7 美しい景観づくり | 8 公園整備や緑化の推進 | 9 環境保全対策 |
| 10 ごみ処理やリサイクル対策 | 11 ICT基盤整備 | 12 商工業の振興や地元経済の活性化 |
| 13 雇用対策 | 14 観光振興 | 15 農林水産業の振興 |
| 16 高齢者福祉 | 17 障がい者福祉 | 18 子育て支援 |
| 19 乳幼児医療・児童福祉 | 20 健康づくり・医療・保健衛生 | 21 防犯・防災対策 |
| 22 消費者トラブル対策 | 23 小・中学校の教育環境整備 | 24 大学など高等教育環境の整備 |
| 25 生涯学習環境の整備 | 26 青少年の健全育成 | 27 スポーツ振興 |
| 28 芸術・文化振興 | 29 住民自治やコミュニティの振興 | |
| 30 NPO・ボランティア活動などの市民活動促進 | | 31 男女共生の推進 |
| 32 市民への広報、広聴の充実 | 33 その他 | |

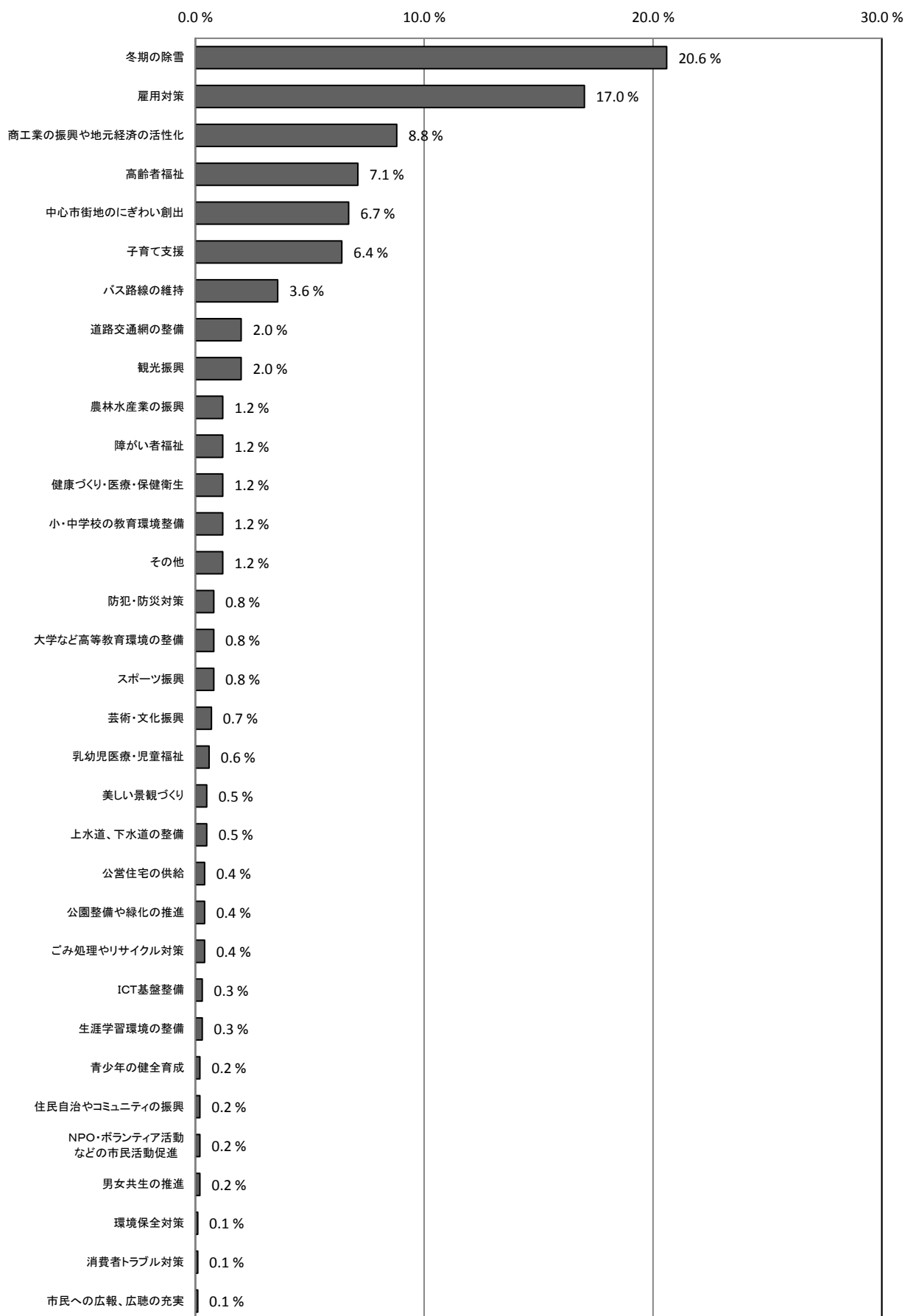
この設問では、問3①中で選んだ中で最も力を入れて欲しい施策を1つ聞いている。（集計表 P123～124 参照）

全体集計において、「冬期の除雪」20.6%（11.3%）、「雇用対策」17.0%（23.9%）、「商工業の振興や地元経済の活性化」8.8%（9.9%）、「高齢者福祉」7.1%（10.0%）という結果となった。（P50 グラフ参照）

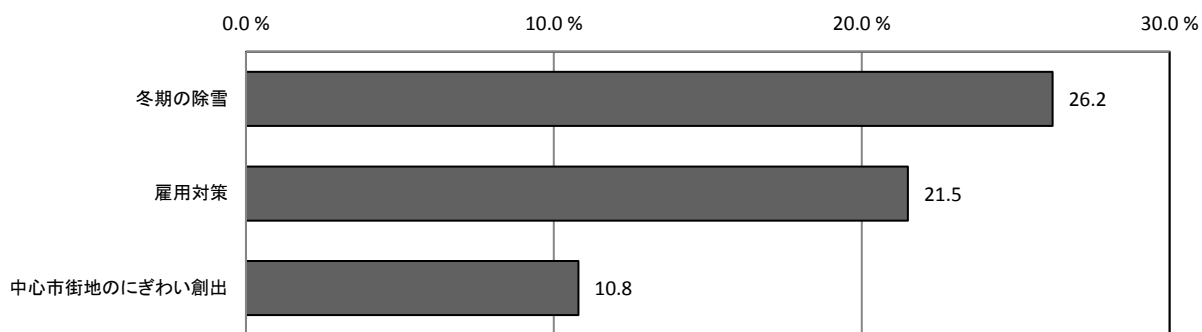
問3①と比べると、「中心市街地のにぎわい創出」と「商工業の振興や地元経済の活性化」は最も力を入れて欲しい施策としての順序で変化している。

なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P51からP54にグラフで示している。（※表記の条件として、5%以上の回答があったものを記している）

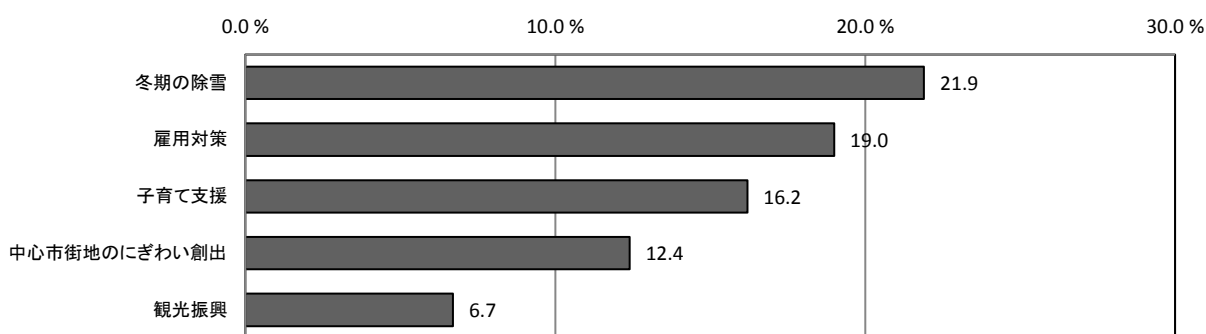
問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策) 全体集計



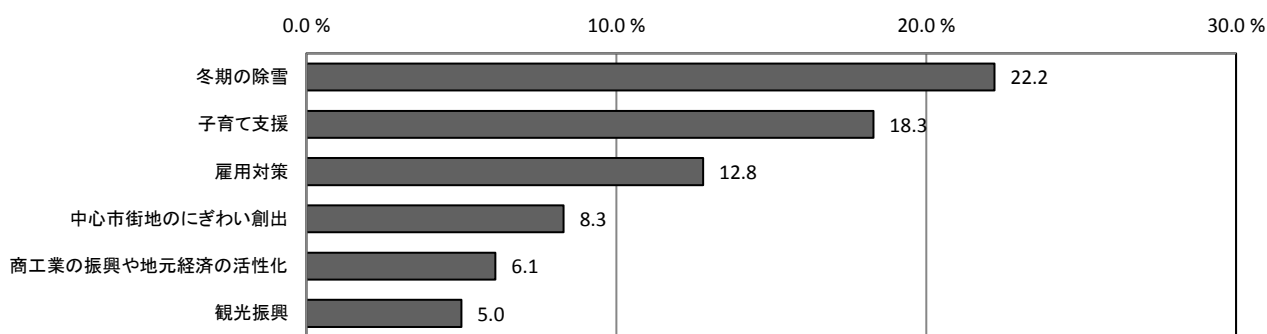
問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「10代」



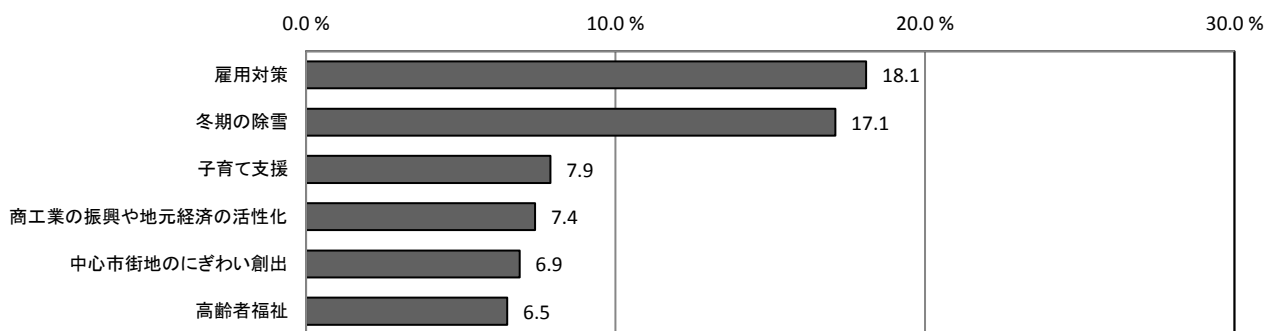
問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「20代」



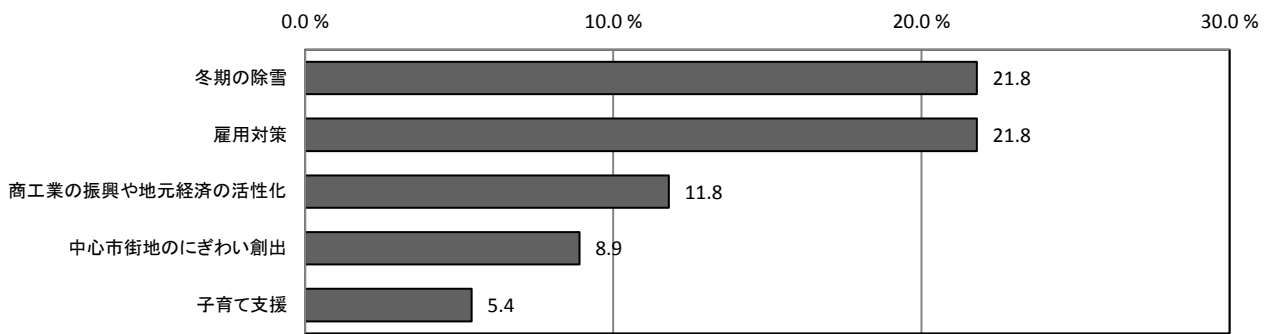
問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「30代」



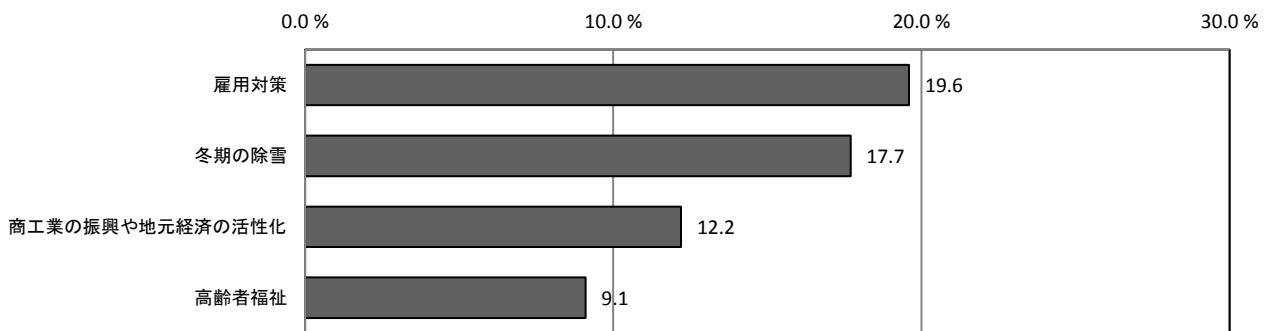
問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「40代」



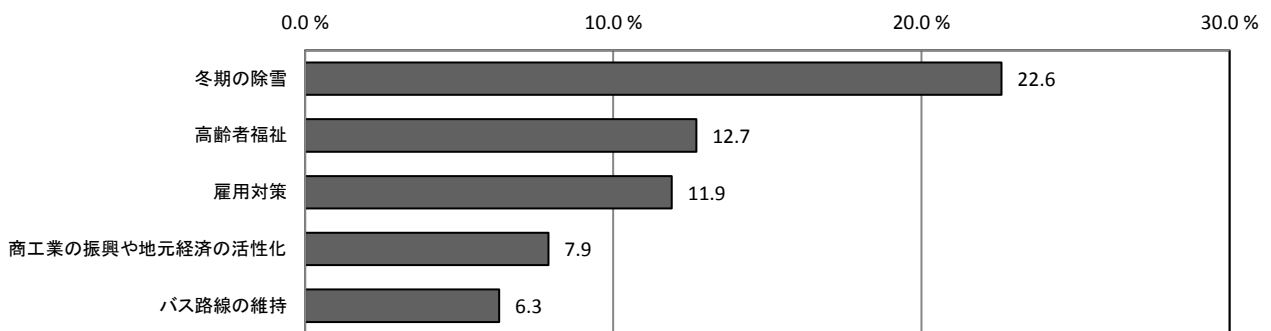
問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「50代」



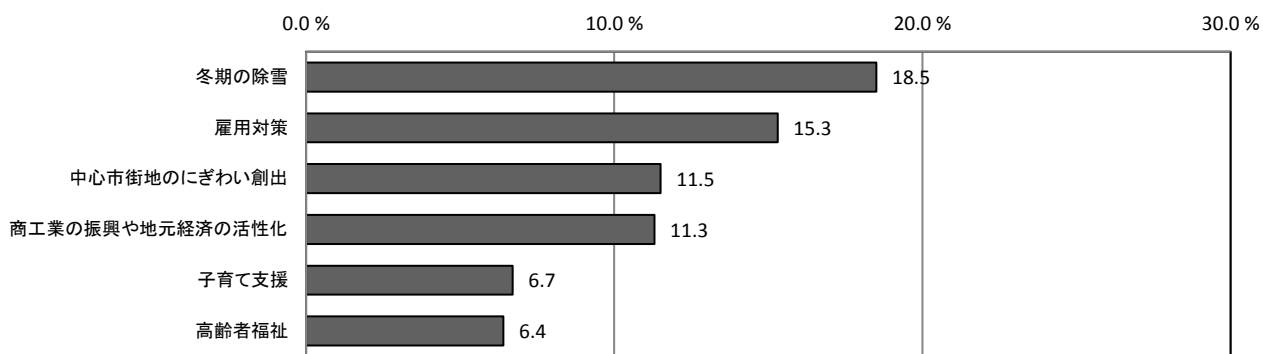
問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「60代」



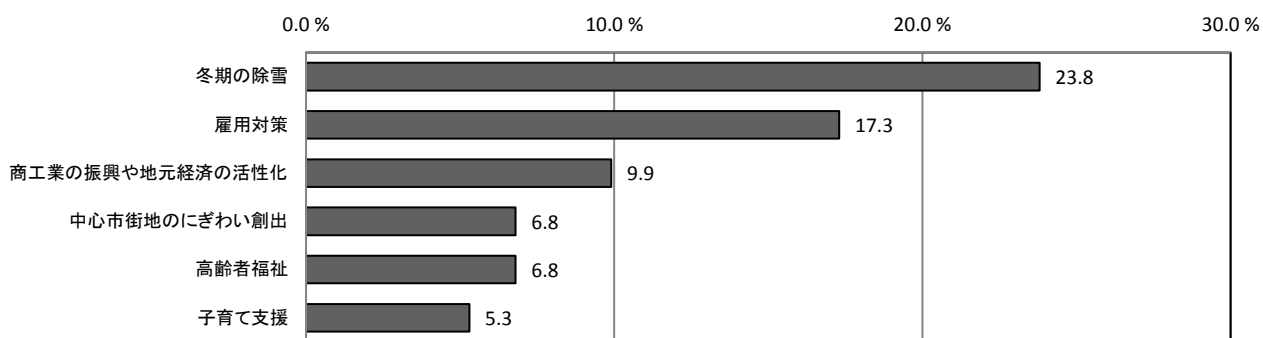
問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「70代以上」



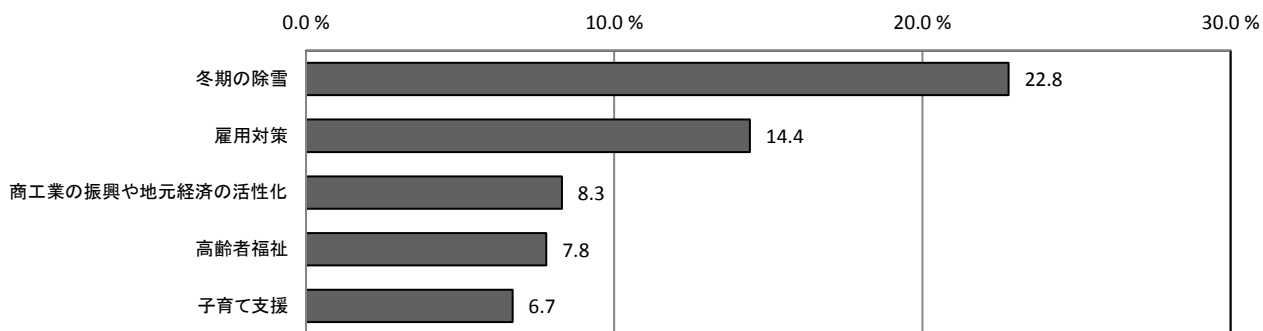
問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「中央」



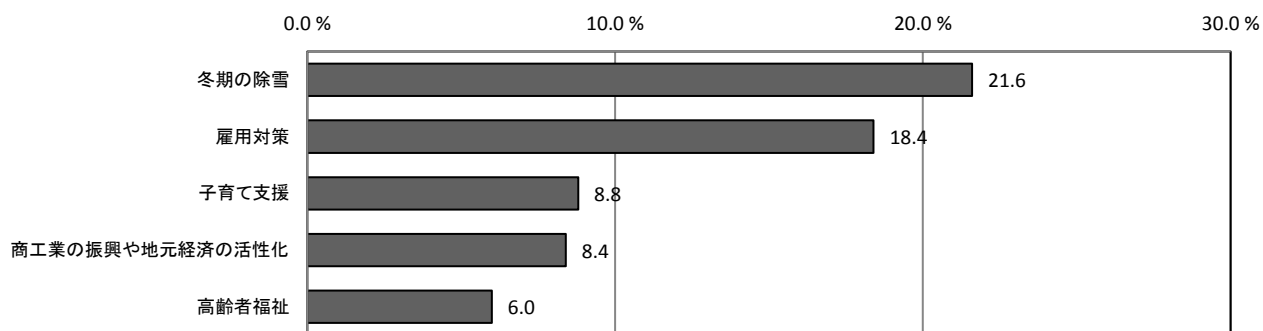
問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「東部」



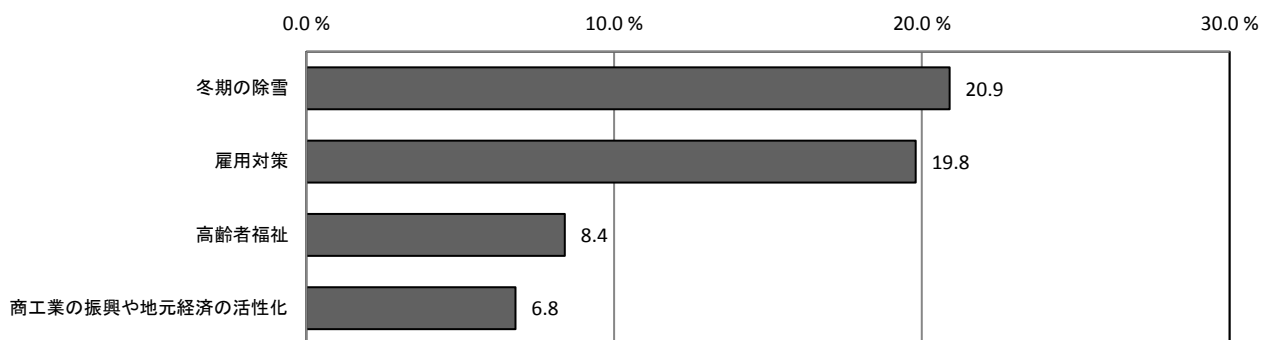
問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「西部」



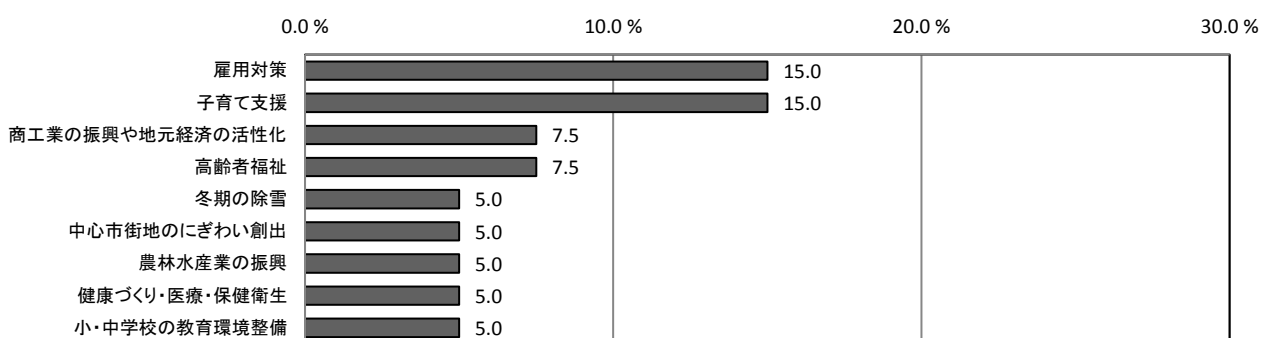
問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「南部」



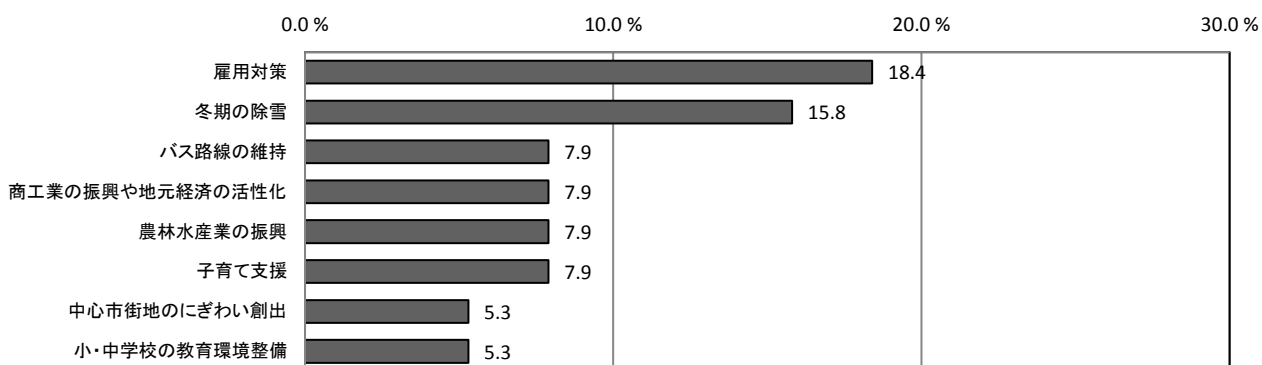
問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「北部」



問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「河辺」



問3② 秋田市の施策について(最も力を入れて欲しい施策)「雄和」



第3節 成長戦略事業について

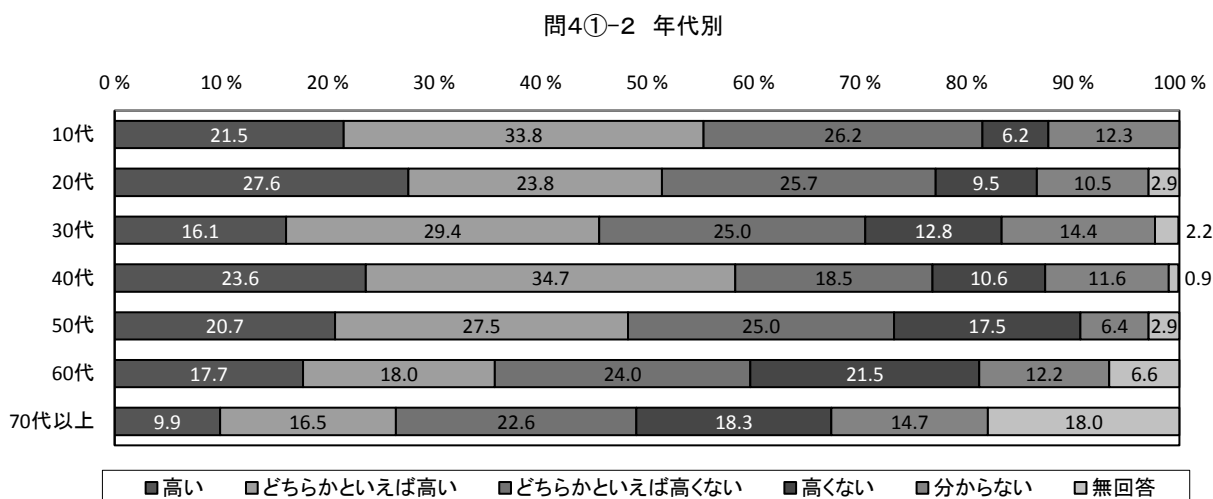
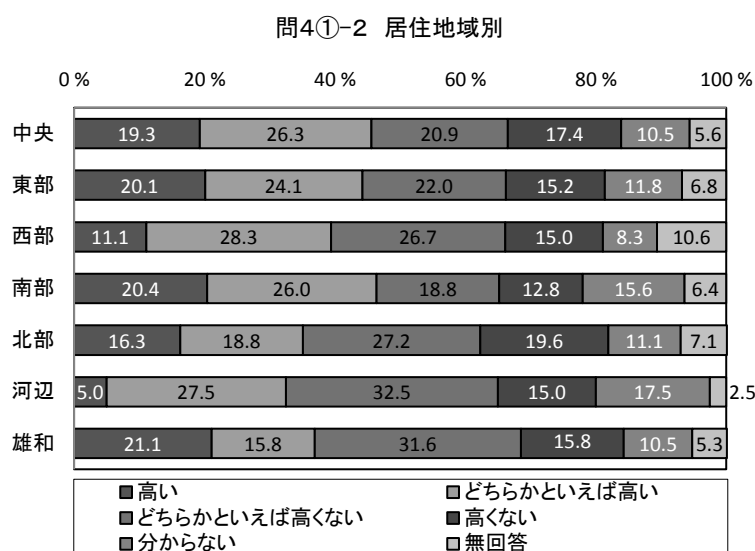
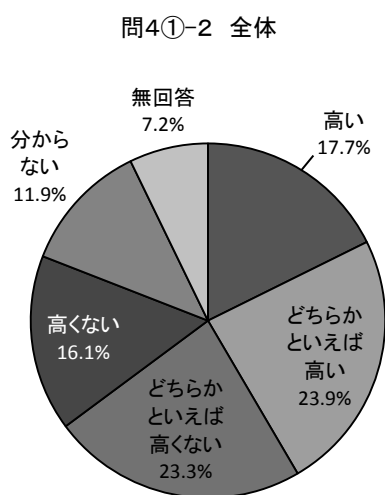
1 重要度の高い成長戦略（問4①）

問4①-2（地域産業の競争力強化）

あなたは、成長戦略 2（地域産業の競争力強化）について、重要度が高いと思いますか。

- 1 高い 2 どちらかといえば高い 3 どちらかといえば高くない
 4 高くない 5 分からない

この設問では、地域産業の競争力強化についての重要度の高さを聞いている。（集計表 P125 参照）
 全体集計において、「高い」「どちらかといえば高い」の割合は41.6%、「高くない」「どちらかといえば高くない」の割合は39.4%で、重要度の評価に差異はなかった。
 年代別集計では、「高い」「どちらかといえば高い」の割合が「40代」58.3%と最も高く、「70代以上」26.4%と最も低くなっている。
 居住地域別集計では、「高い」「どちらかといえば高い」の割合が「南部」46.4%、次いで「中央」45.6%、「東部」44.2%と続いており、「河辺」が32.5%と最も低くなっている。



第3節 成長戦略事業について

1 重要度の高い成長戦略（問4①）

問4①-4（環境立市あきたの実現）

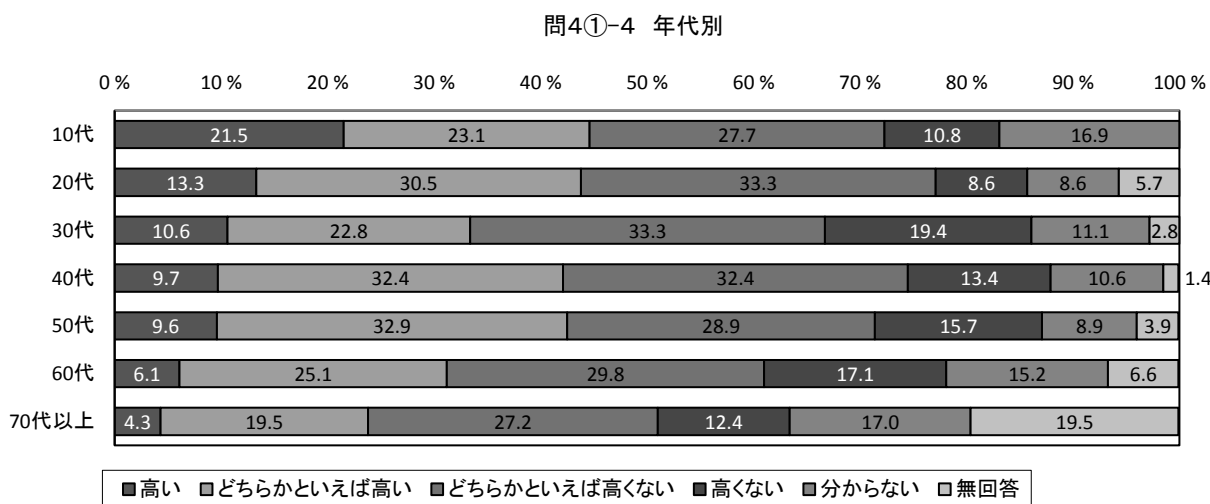
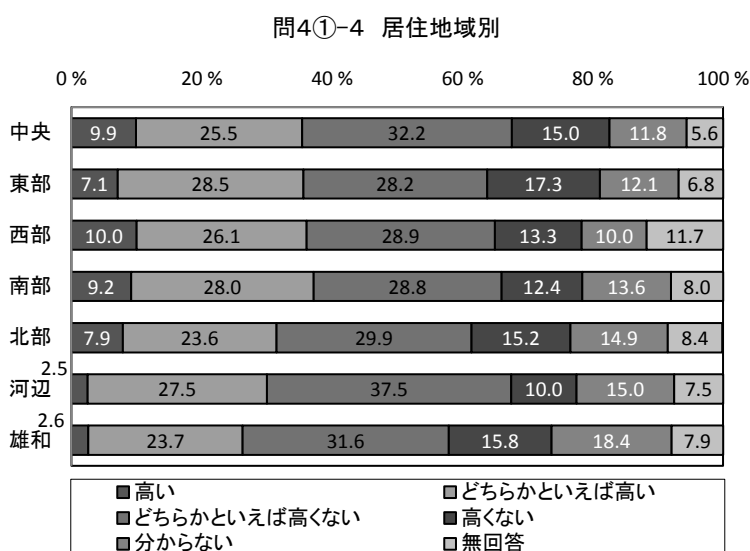
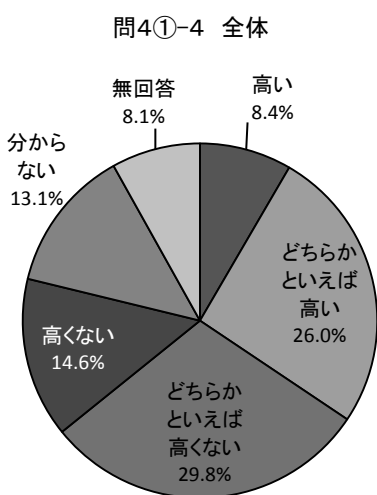
あなたは、成長戦略 4（環境立市あきたの実現）について、重要度が高いと思いますか。

- 1 高い 2 どちらかといえば高い 3 どちらかといえば高くない
4 高くない 5 分からない

この設問では、環境立市あきたの実現についての重要度の高さを聞いている。（集計表 P126 参照）
全体集計において、「高い」「どちらかといえば高い」の割合は34.4%、「高くない」「どちらかといえば高くない」の割合は44.4%で、重要度が低いとする回答が多かった。

年代別集計では、「高い」「どちらかといえば高い」の割合が「40代」42.1%と最も高く、「70代以上」23.8%と最も低くなっている。

居住地域別集計では、「高い」「どちらかといえば高い」の割合が「雄和」26.3%と他の地域に比べ低くなっている。



第3節 成長戦略事業について

1 重要度の高い成長戦略（問4①）

問4①-5（エイジフレンドリーシティ<高齢者にやさしい都市>の実現

あなたは、成長戦略 5（エイジフレンドリーシティ<高齢者にやさしい都市>の実現）について、重要度が高いと思いますか。

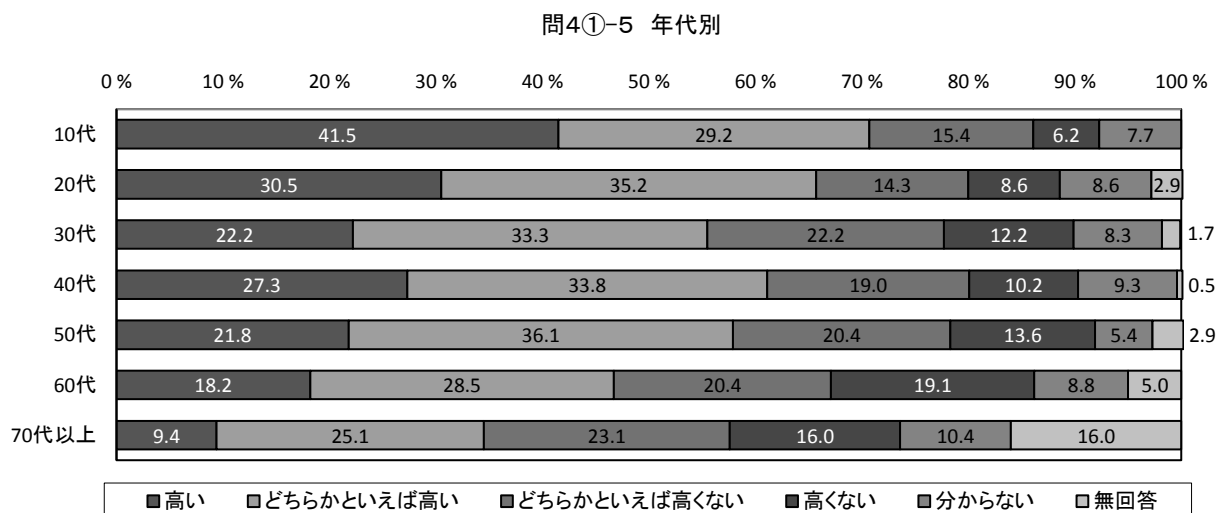
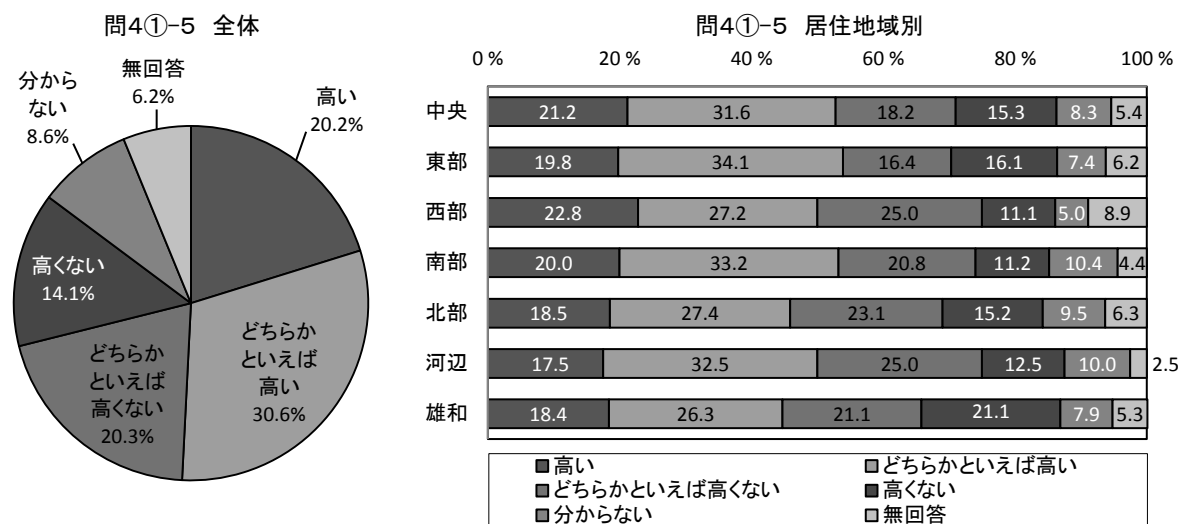
- 1 高い 2 どちらかといえば高い 3 どちらかといえば高くない
 4 高くない 5 分からない

この設問では、エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)の実現についての重要度の高さを聞いている。(集計表 P127 参照)

全体集計において、「高い」「どちらかといえば高い」の割合は50.8%、「高くない」「どちらかといえば高くない」の割合は34.4%で、重要度が高いとする回答が多かった。

年代別集計では、「高い」「どちらかといえば高い」の割合が「10代」70.7%と最も高く、「70代以上」34.5%と最も低くなっている。

居住地域別集計では、「高くない」「どちらかといえば高くない」の割合が「雄和」42.1%と他の地域に比べ低くなっている。



第3節 成長戦略事業について

1 重要度の高い成長戦略（問4①）

問4①-6（次世代の育成支援）

あなたは、成長戦略 6（次世代の育成支援）について、重要度が高いと思いますか。

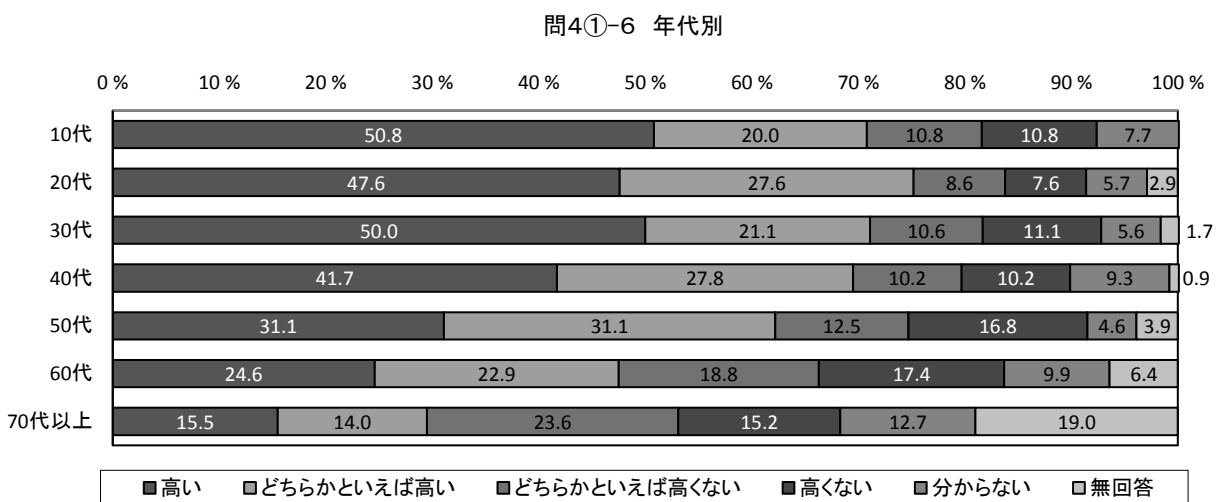
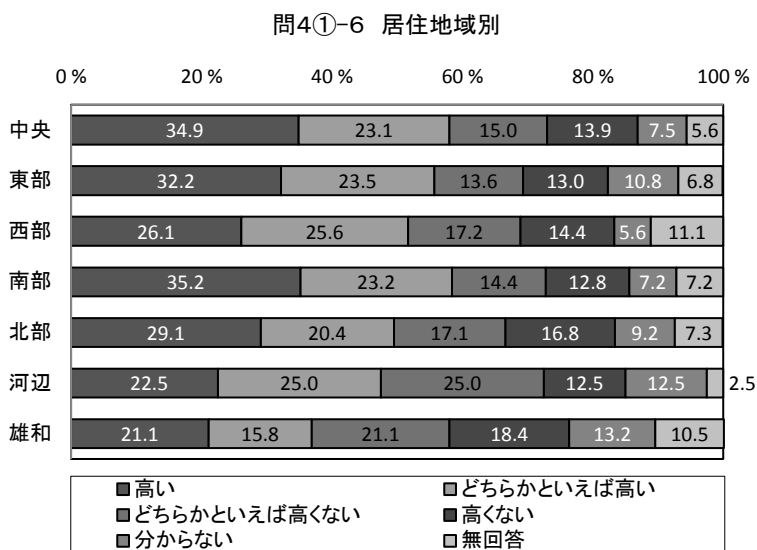
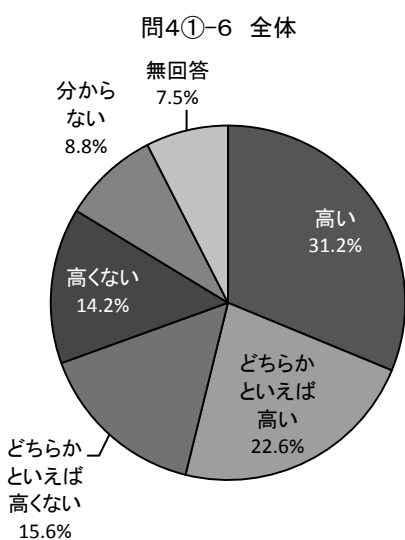
- 1 高い
- 2 どちらかといえば高い
- 3 どちらかといえば高くない
- 4 高くない
- 5 分からない

この設問では、次世代の育成支援についての重要度の高さを聞いている。（集計表 P127 参照）

全体集計において、「高い」「どちらかといえば高い」の割合は53.8%、「高くない」「どちらかといえば高くない」の割合は29.8%で、重要度が高いとする回答が多かった。

年代別集計では、「高い」「どちらかといえば高い」の割合が「10代」70.8%と最も高く、「70代以上」29.5%と最も低くなっている。

居住地域別集計では、「高い」「どちらかといえば高い」の割合が「雄和」36.9%と他の地域と比べ低くなっている。



第3節 成長戦略事業について

1 満足度の高い成長戦略（問4②）

秋田市では、平成23年度から27年度までの総合計画「県都『あきた』成長プラン」の中で、特に力を入れていく6つの分野を「成長戦略」として位置づけ、予算を重点的に配分するなど、元気な秋田市の実現を目指して取り組んでいます。この成長戦略事業についておたずねします。

問4②（満足度の高い成長戦略）

成長戦略に対する市の取組は、満足できるものですか。各戦略について、当てはまるものに○をつけてください。

【選択肢】

- 1 満足
- 2 どちらかといえば満足
- 3 どちらかといえば不満
- 4 不満
- 5 分からない

【項目】

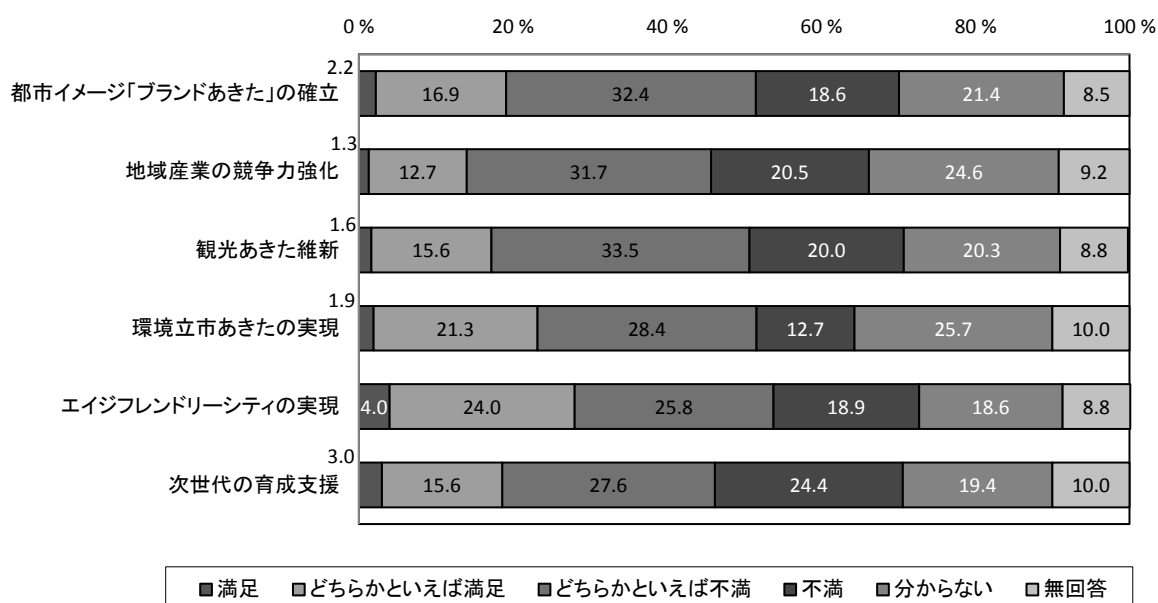
- 1 都市イメージ「ブランドあきた」の確立
- 2 地域産業の競争力強化
- 3 観光あきた維新
- 4 環境立市あきたの実現
- 5 エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)の実現
- 6 次世代の育成支援

この設問では、特に力を入れていく様々な成長戦略について市民の意識を把握するため、6つの成長戦略の満足度の評価を聞いている。(集計表 P128～130 参照)

全体集計では、「満足」「どちらかといえば満足」という回答の合計は、「エイジフレンドリーシティの実現」28.0%、次いで「環境立市あきたの実現」23.2%、「都市イメージ「ブランドあきた」の確立」19.1%となっている。また、「不満」「どちらかといえば不満」という回答の合計は、「観光あきた維新」53.5%、「地域産業の競争力強化」52.2%となっている。

全体的に満足度が低くなっており、また「分からない」の割合は、全ての項目で20%前後になっていた。なお、各成長戦略ごとの年代別、居住地域別の集計結果については、P63からP68にグラフで示している。

問4② 満足度の高い成長戦略 全体集計



第3節 成長戦略事業について

1 満足度の高い成長戦略（問4②）

問4②-1（都市イメージ「ブランドあきた」の確立）

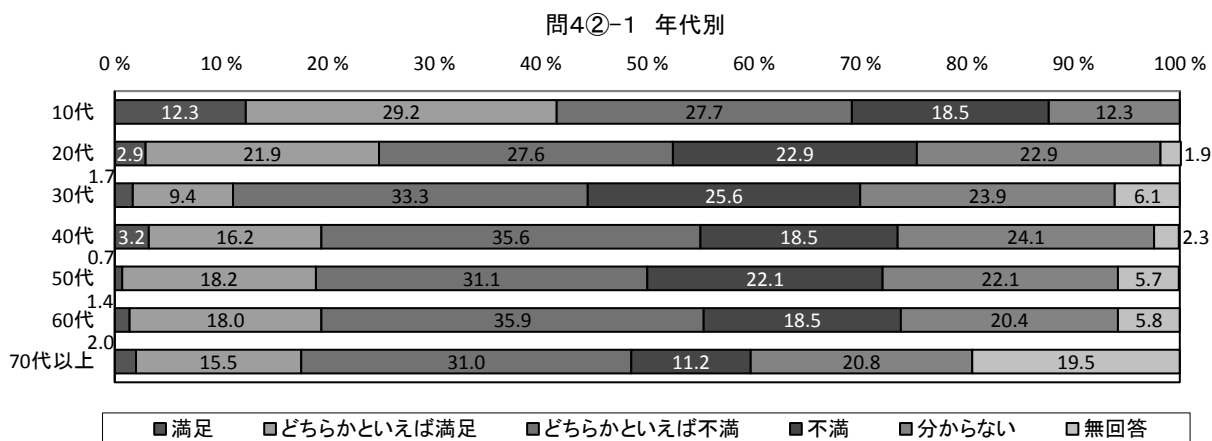
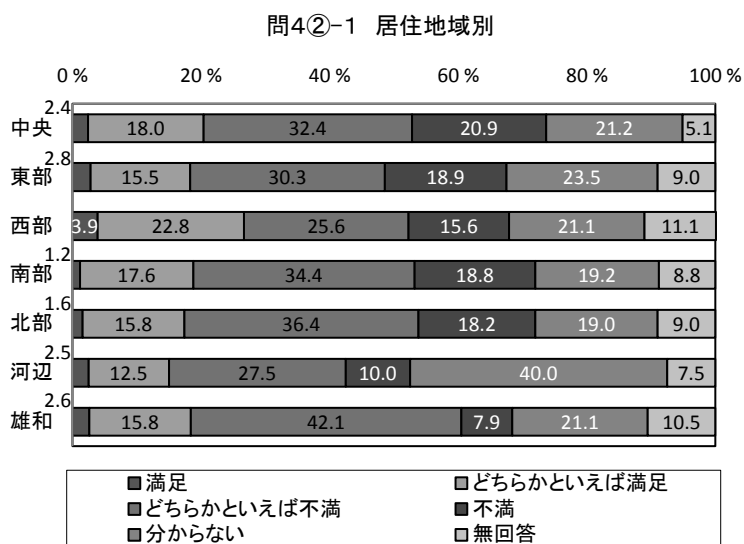
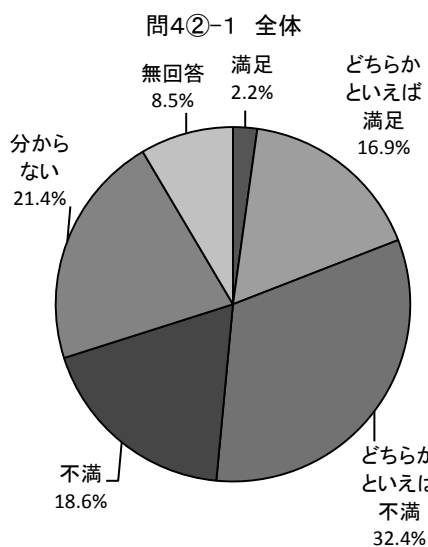
あなたは、成長戦略 1（都市イメージ「ブランドあきた」の確立）についての市の取組は、満足できるものですか。

- 1 満足 2 どちらかといえば満足 3 どちらかといえば不満
4 不満 5 分からない

この設問では、都市イメージ「ブランドあきた」についての満足度の高さを聞いている。（集計表 P128参照）
全体集計において、「満足」「どちらかといえば満足」の割合は19.1%、「不満」「どちらかといえば不満」の割合は51.0%で、満足度が低いとする回答が多かった。

年代別集計では、「満足」「どちらかといえば満足」の割合が「10代」41.5%と最も高く、「30代」11.1%と最も低くなっている。

居住地域別集計では、「満足」「どちらかといえば満足」の割合が「西部」26.7%と最も高く、「河辺」15.0%と最も低くなっている。



第3節 成長戦略事業について

1 満足度の高い成長戦略（問4②）

問4②-2（地域産業の競争力強化）

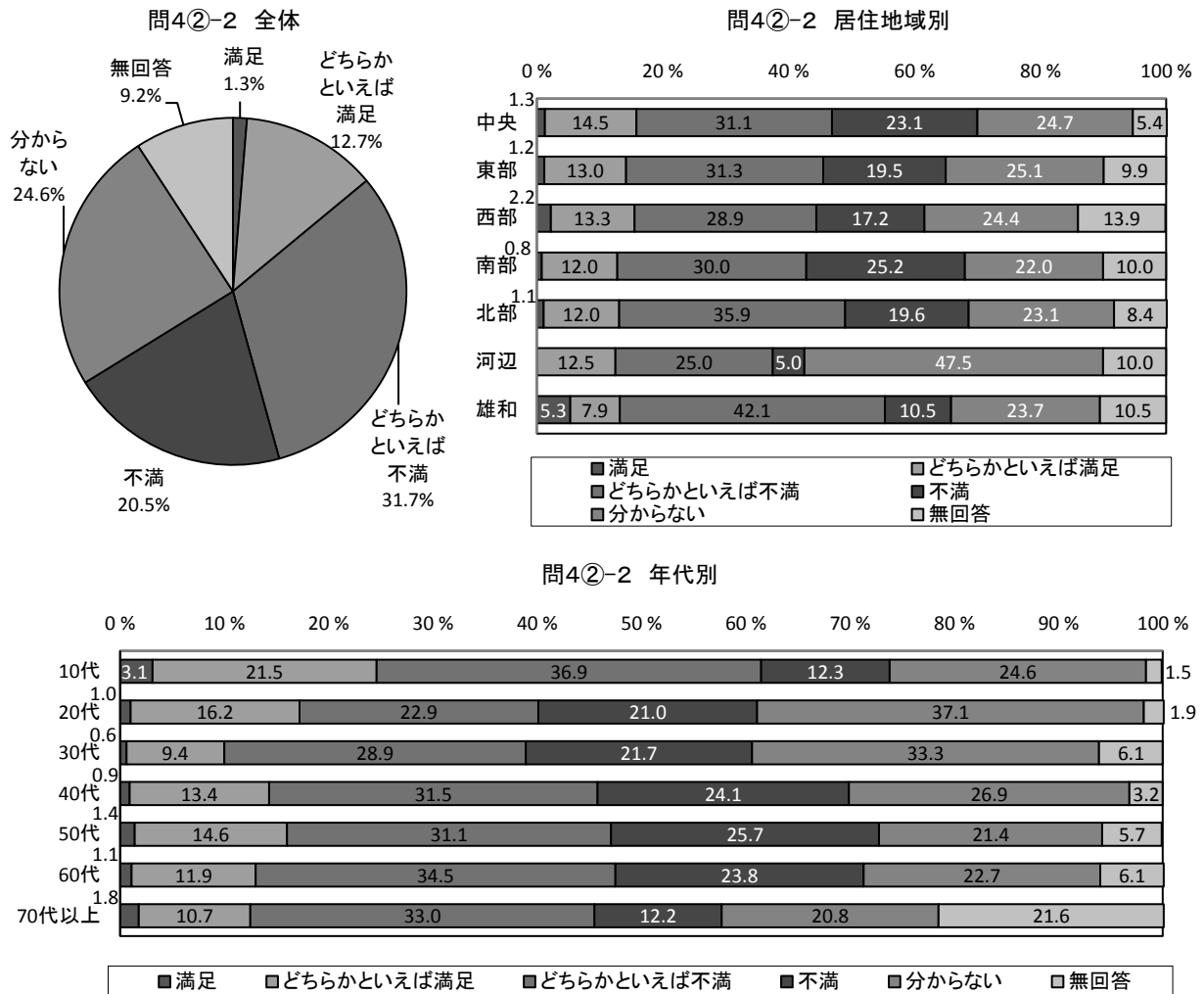
あなたは、成長戦略 2（地域産業の競争力強化）についての市の取組は、満足できるものですか。

- 1 満足
- 2 どちらかといえば満足
- 3 どちらかといえば不満
- 4 不満
- 5 分からない

この設問では、地域産業の競争力強化についての満足度の高さを聞いている。（集計表 P128 参照）
 全体集計において、「満足」「どちらかといえば満足」の割合は14.0%、「不満」「どちらかといえば不満」の割合は52.2%で、満足度が低いとする回答が多かった。

年代別集計では、「満足」「どちらかといえば満足」の割合が「10代」24.6%と最も高く、「30代」10.0%と最も低くなっている。

居住地域別集計では、「不満」「どちらかといえば不満」の割合が「河辺」30.0%と他の地域に比べ低くなっている。



第3節 成長戦略事業について

1 満足度の高い成長戦略（問4②）

問4②-5（エイジフレンドリーシティ<高齢者にやさしい都市>の実現）

あなたは、成長戦略 5（エイジフレンドリーシティ<高齢者にやさしい都市>の実現） についての市の取組は、満足できるものですか。

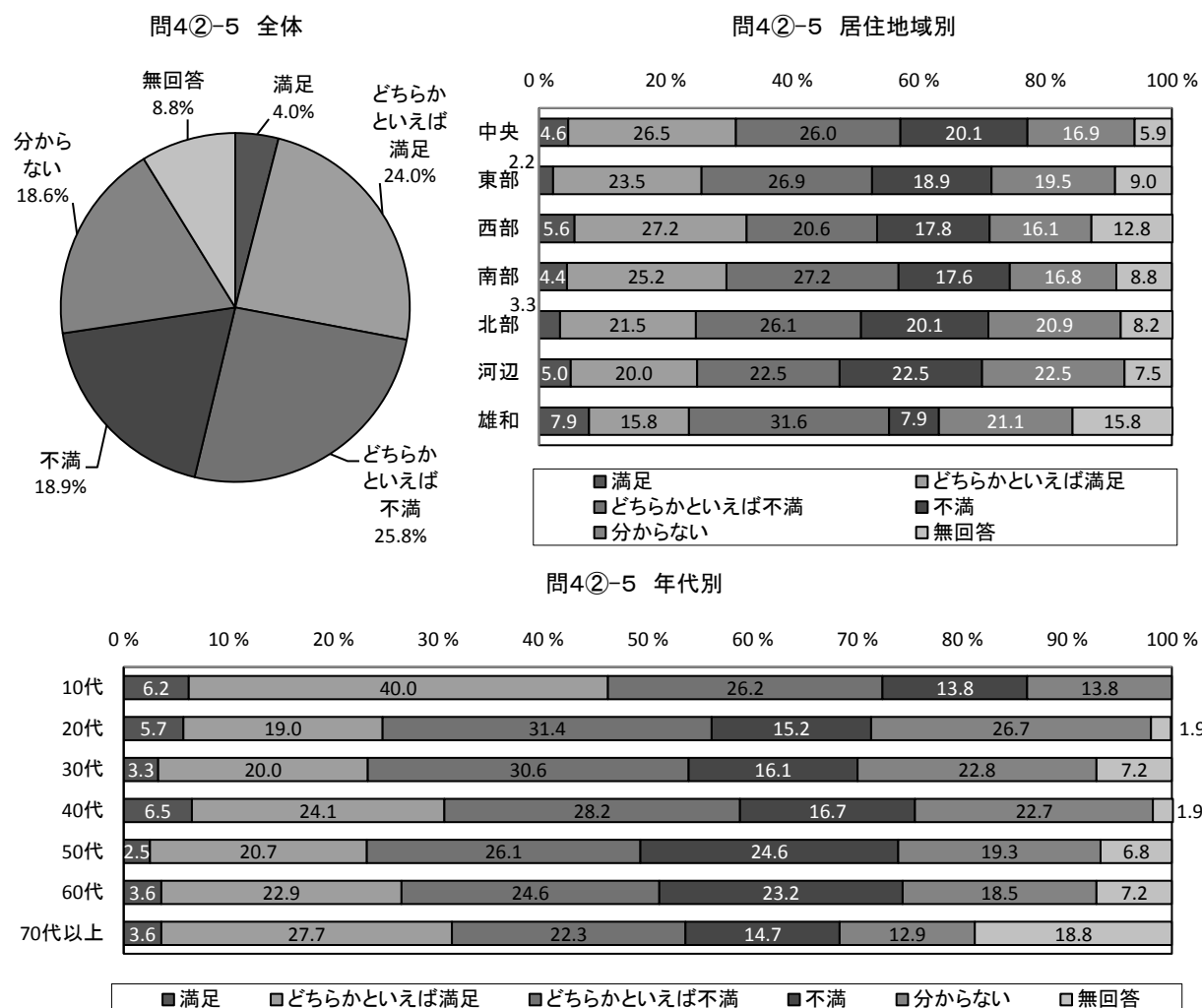
- 1 満足
- 2 どちらかといえば満足
- 3 どちらかといえば不満
- 4 不満
- 5 分からない

この設問では、エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)の実現についての満足度の高さを聞いている。(集計表 P130参照)

全体集計において、「満足」「どちらかといえば満足」の割合は28.0%、「不満」「どちらかといえば不満」の割合は44.7%で、満足度が低いとする回答が多かった。

年代別集計では、「満足」「どちらかといえば満足」の割合が「10代」46.2%と最も高く、「50代」23.2%と最も低くなっている。

居住地域別集計では、「満足」「どちらかといえば満足」の割合が「西部」32.8%と最も高く、「雄和」23.7%と最も低くなっている。



第4節 人口減少社会について

1 影響が大きい少子化要因（問5①）

問5①（影響が大きい少子化要因）

あなたが少子化の要因として影響が大きいと思うものは何ですか。次の中から3つまで選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|-----------------|
| 1 子育て費用や教育費などの経済的負担 | 7 晩婚化の進行や婚姻数の減少 |
| 2 非正規雇用など不安定な雇用環境や少ない収入 | 8 男女の出会いの機会の減少 |
| 3 子育てと仕事の両立に対する職場の理解不足 | 9 その他 |
| 4 子育てや家事への配偶者の協力不足 | |
| 5 子どもを預けにくい環境(核家族化の進行や保育施設・サービスの不足など) | |
| 6 夫婦や個人の生活を大切にする価値観を持つ人の増加 | |

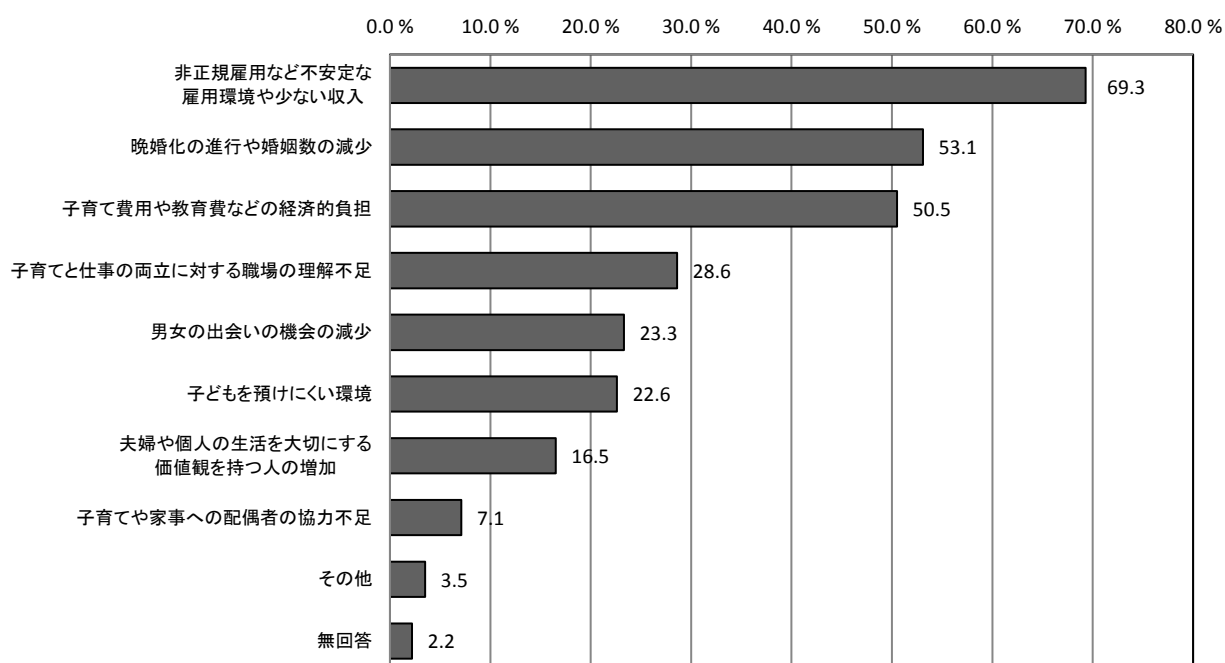
この設問では、少子化における影響が大きい要因についての市民の考えを3つ聞いている。(集計表 P131 参照)

全体集計では、最も多かったのは、「非正規雇用など不安定な雇用環境や少ない収入」69.3%であった。以下、「晩婚化の進行や婚姻数の減少」53.1%、「子育て費用や教育費などの経済的負担」50.5%、「子育てと仕事の両立に対する職場の理解不足」28.6%と続いている。

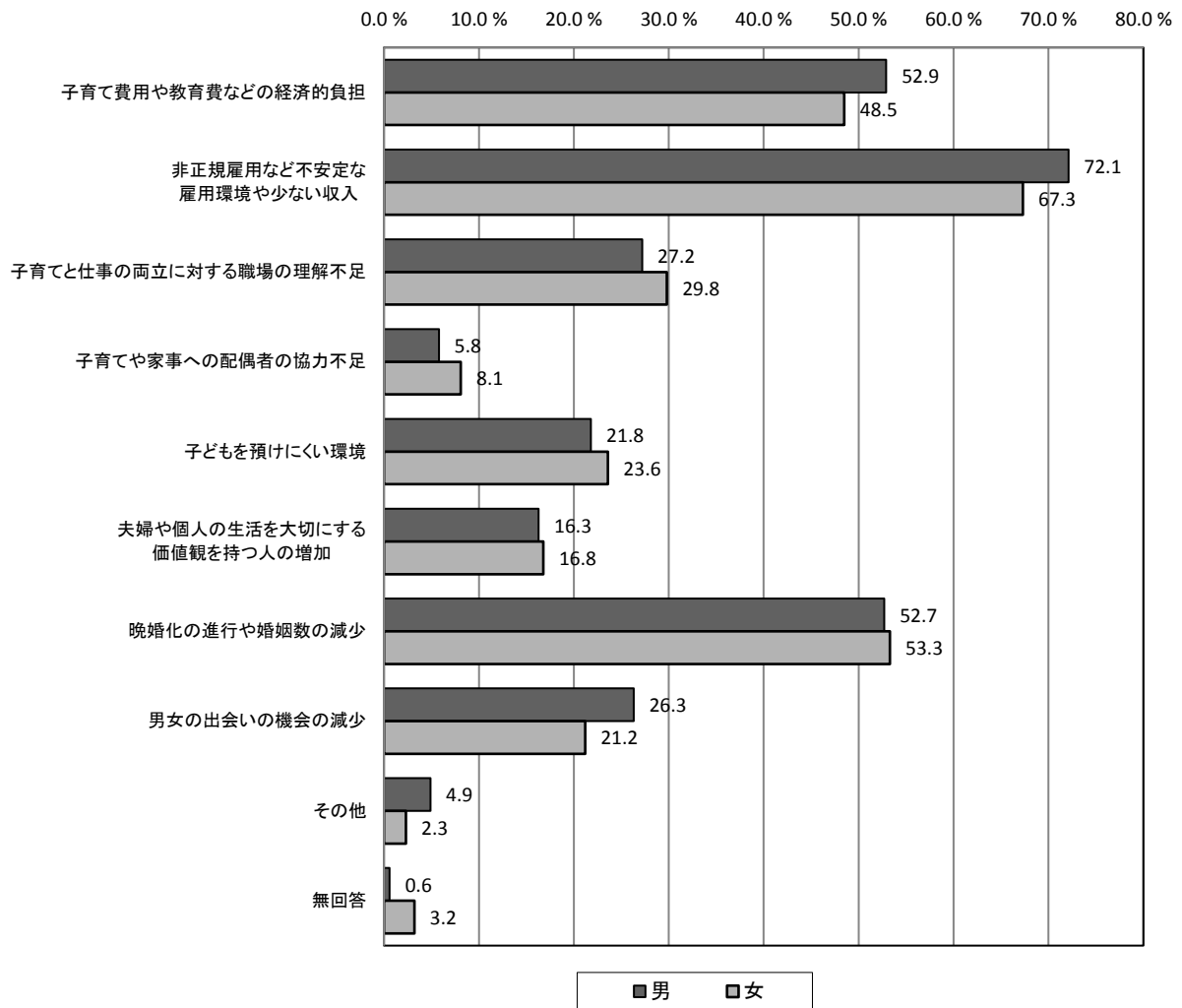
年代別集計では、「30代」を除く全ての年代で「非正規雇用など不安定な雇用環境や少ない収入」の割合が最も高いのに対し、「30代」は「子育て費用や教育費などの経済的負担」65.0%と最も高くなっている。

なお、男女別、年代別、婚姻状況別、子ども数別の集計結果については、P70からP73にグラフで示している。

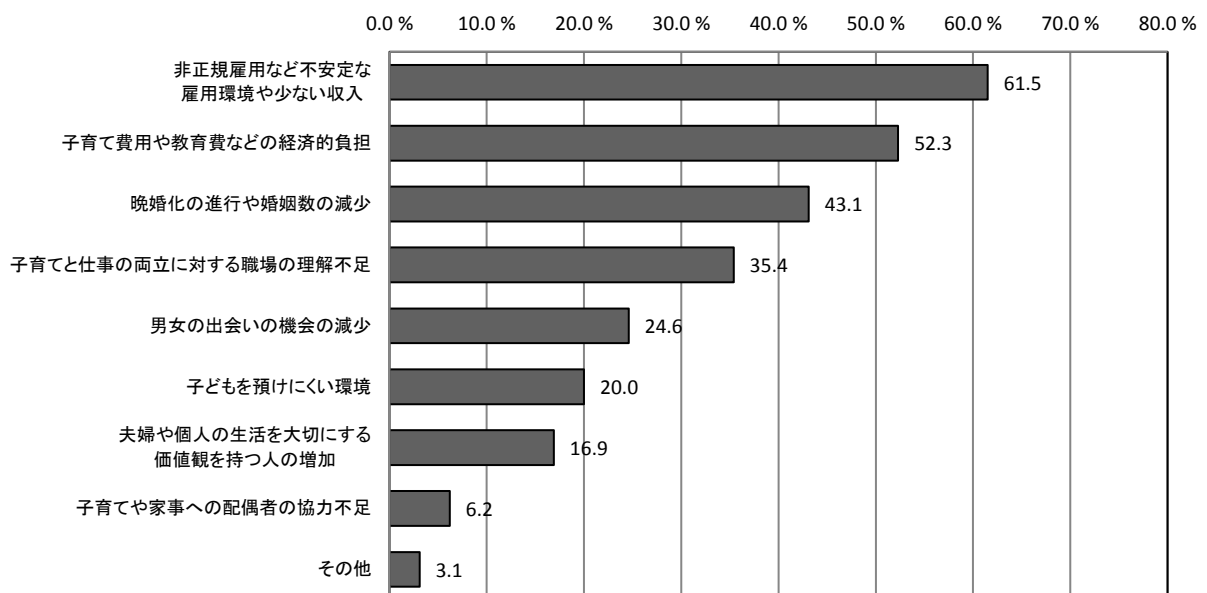
問5① 全体



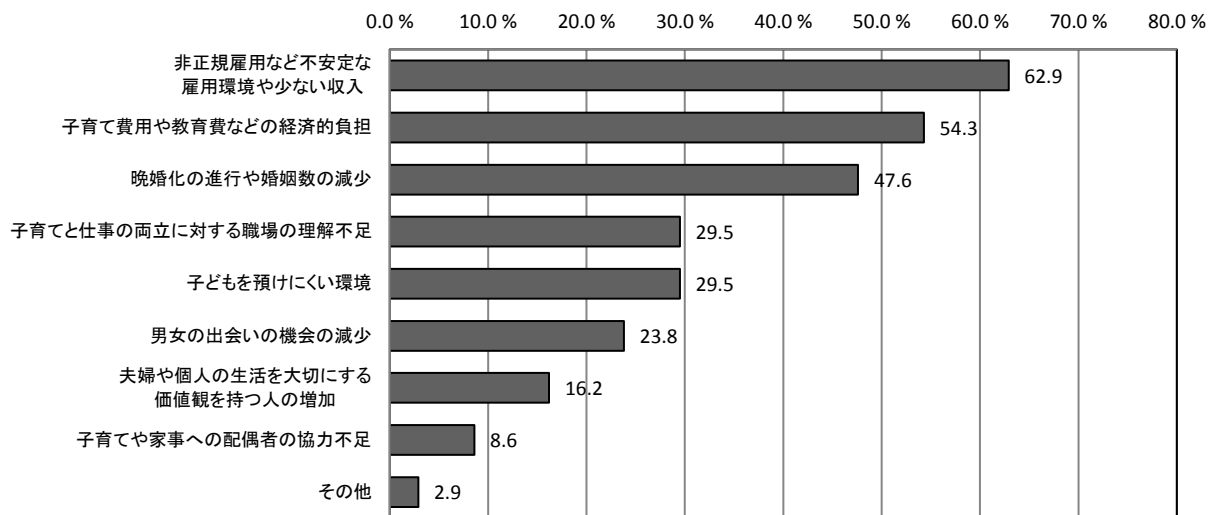
問5① 影響が大きい少子化要因「男女別」



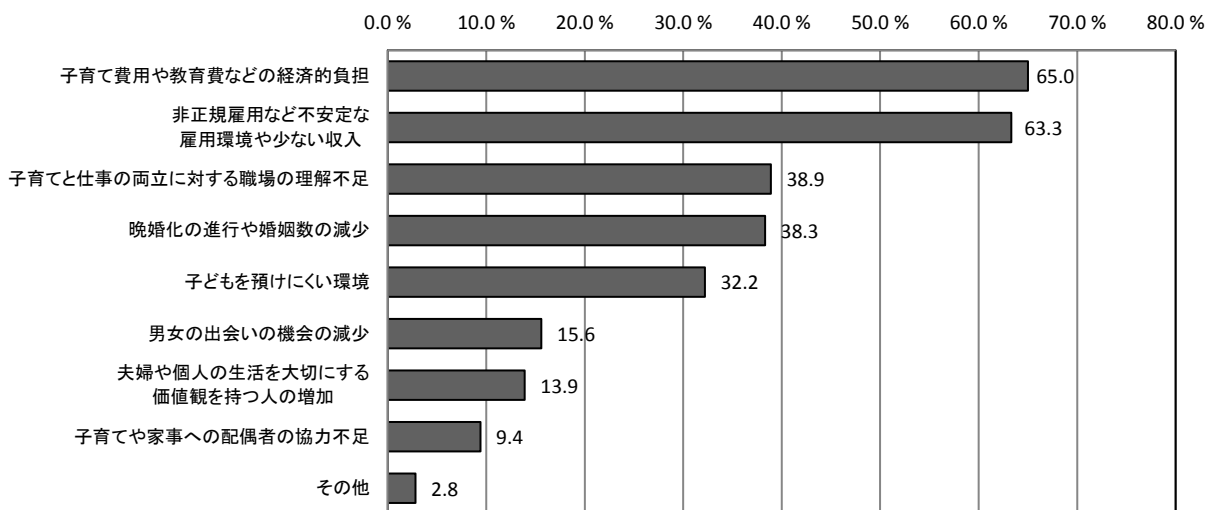
問5① 影響が大きい少子化要因「10代」



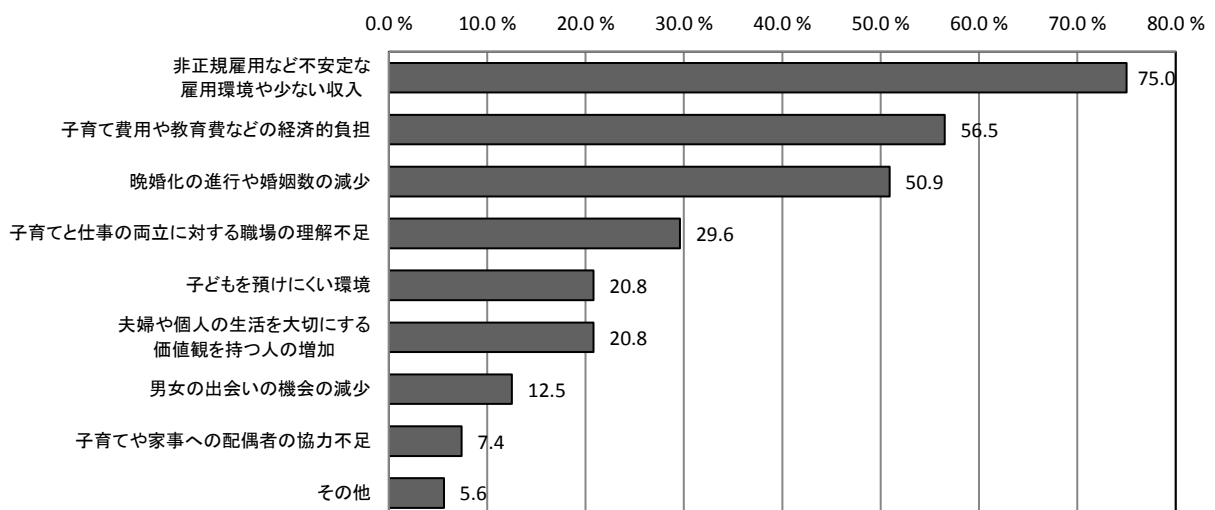
問5① 影響が大きい少子化要因 「20代」



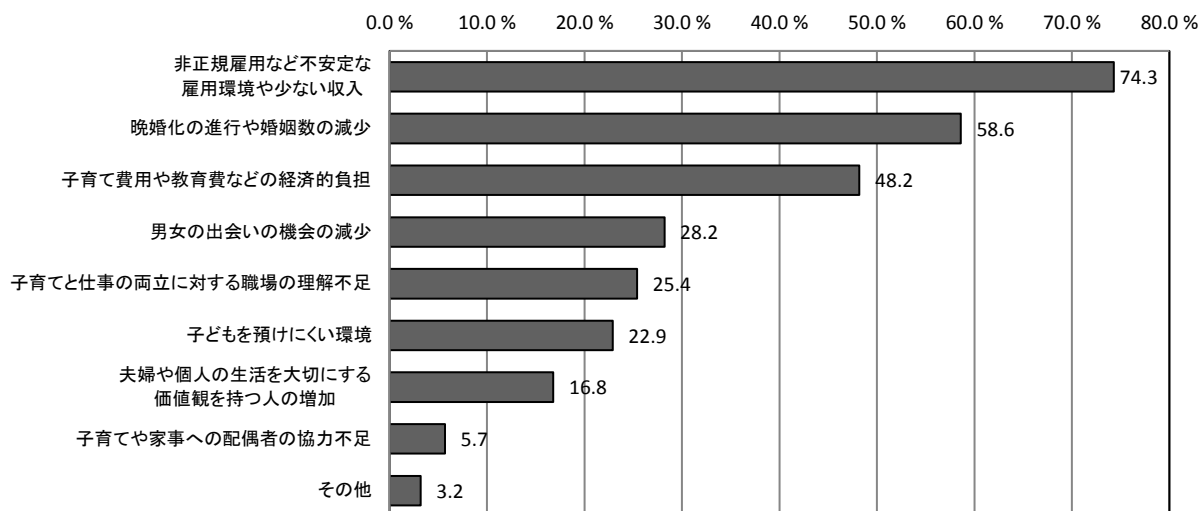
問5① 影響が大きい少子化要因 「30代」



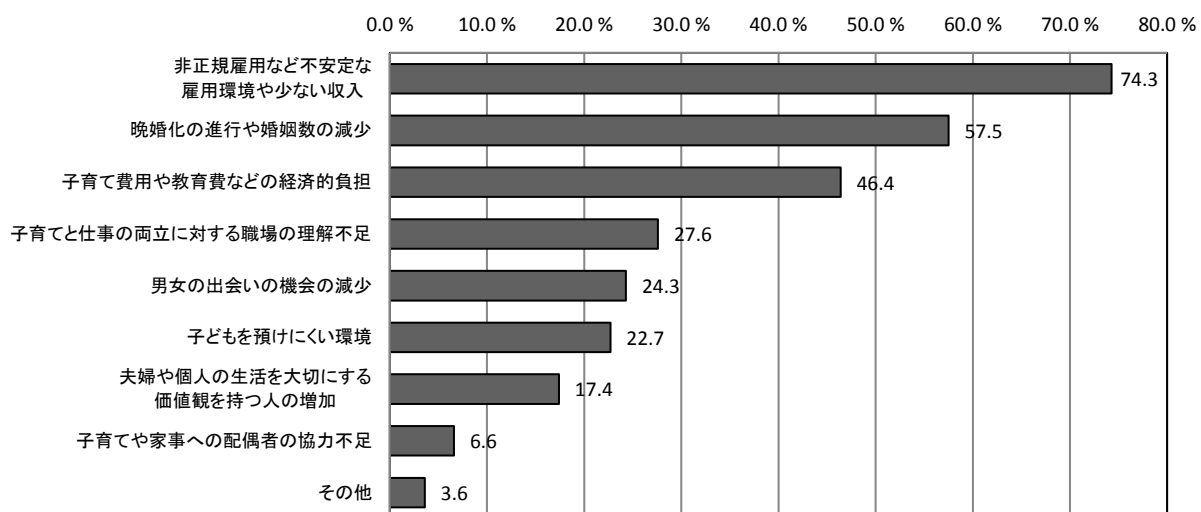
問5① 影響が大きい少子化要因 「40代」



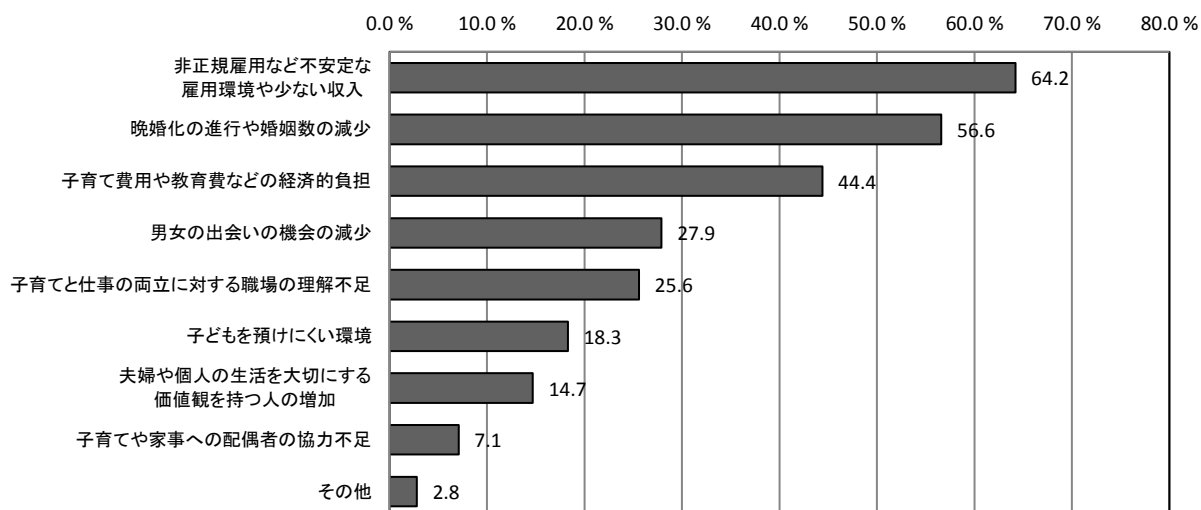
問5① 影響が大きい少子化要因 「50代」



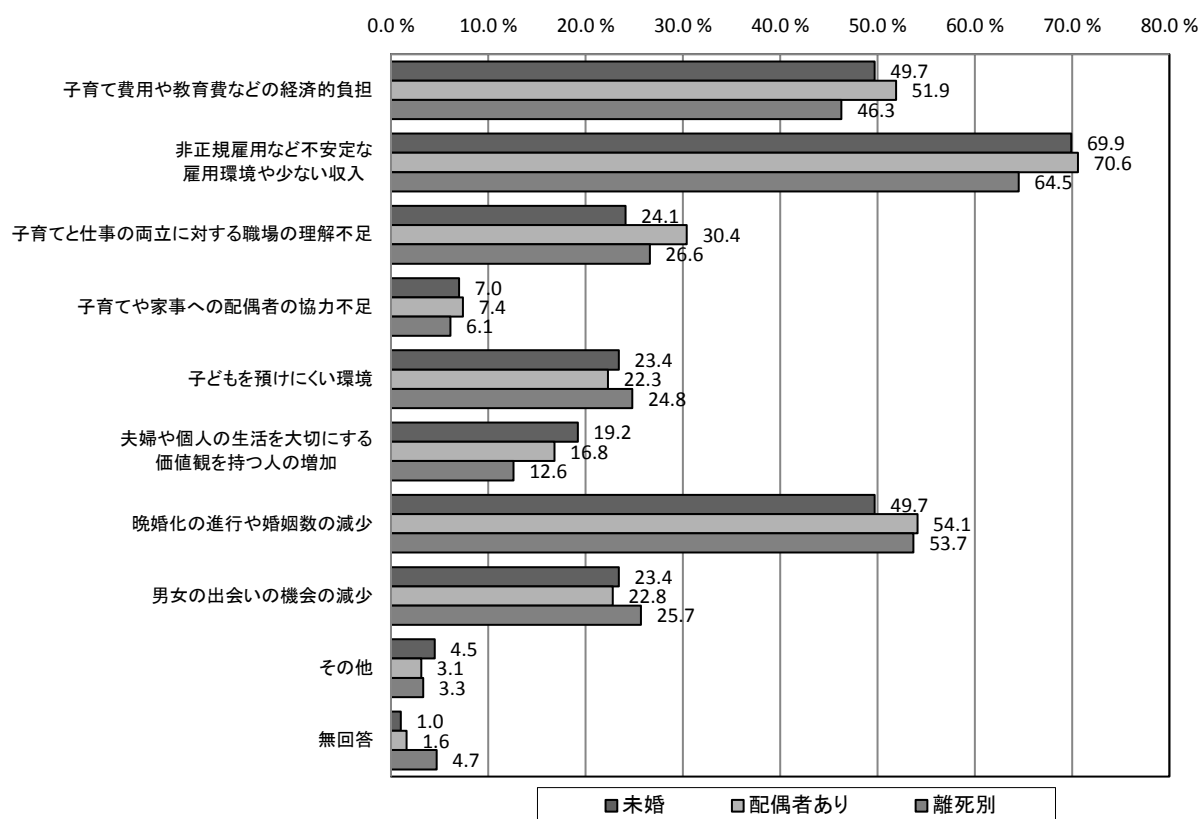
問5① 影響が大きい少子化要因 「60代」



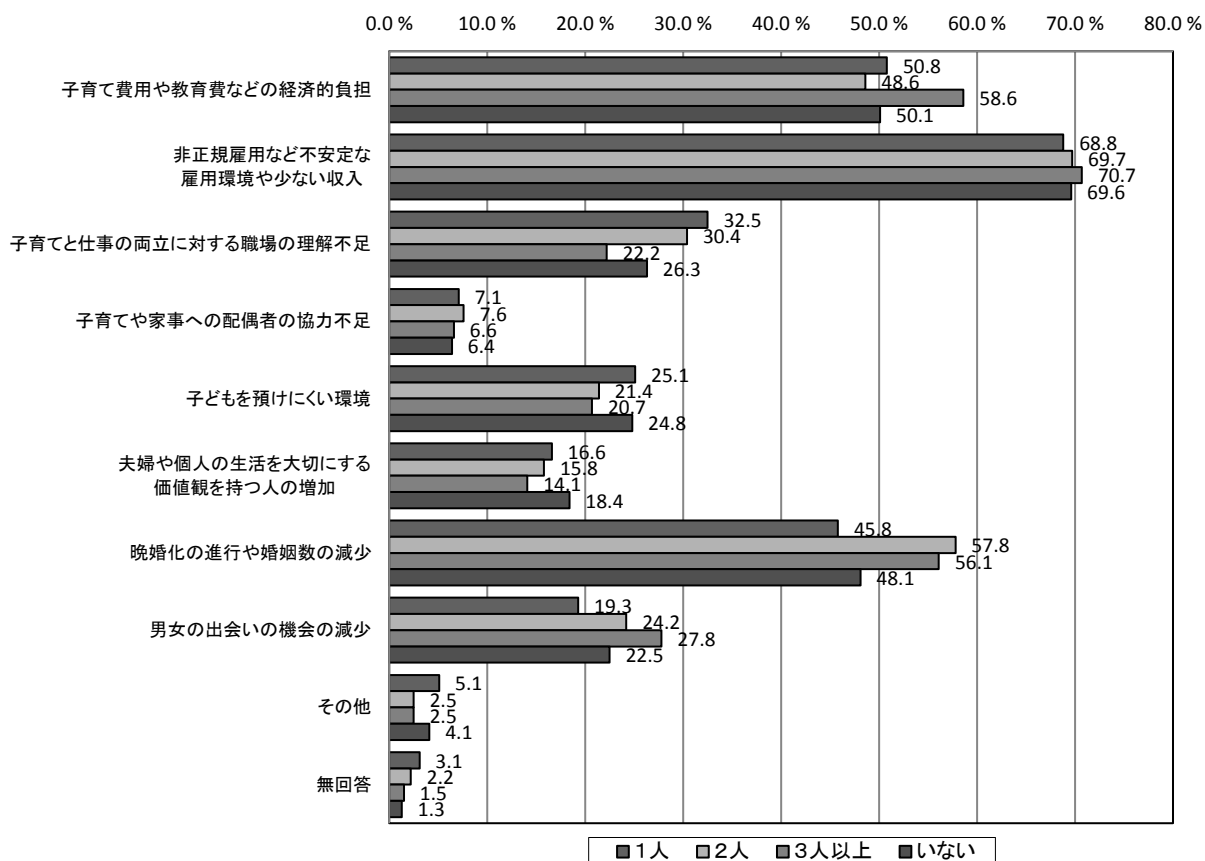
問5① 影響が大きい少子化要因 「70代以上」



問5① 影響が大きい少子化要因「婚姻状況別」



問5① 影響が大きい少子化要因「子ども数別」



第4節 人口減少社会について

2 今後も秋田市に住み続けたいか（問5②）

問5②（今後も秋田市に住み続けたいか）

あなたは、今後も秋田市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

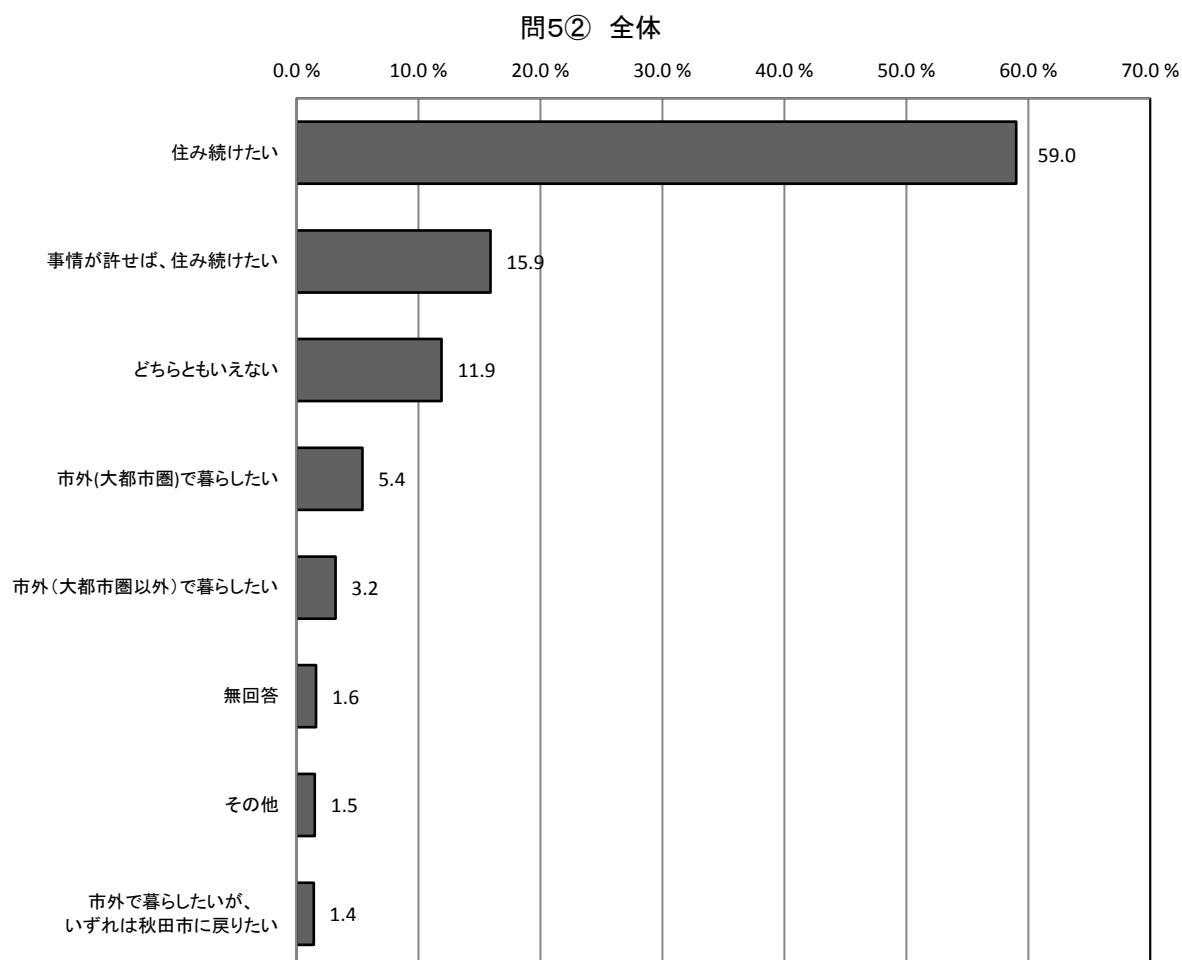
- 1 住み続けたい
- 2 事情が許せば、住み続けたい
- 3 市外(大都市圏)で暮らしたい
- 4 市外(大都市圏以外)で暮らしたい
- 5 市外で暮らしたいが、いずれは秋田市に戻りたい
- 6 どちらともいえない
- 7 その他

この設問では、今後も秋田市に住み続けたいかどうかについて聞いている。(集計表 P132 参照)

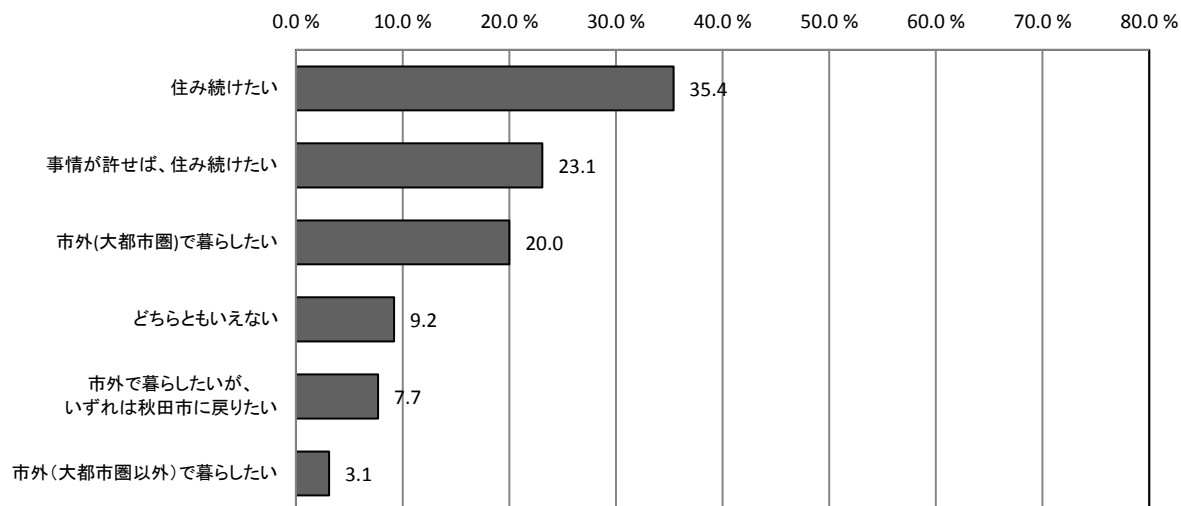
全体集計では、最も多かったのは、「住み続けたい」59.0%で約6割が住み続けていきたいという結果であった。以下、「事情が許せば、住み続けたい」15.9%、「どちらともいえない」11.9%、「市外(大都市圏)で暮らしたい」5.4%と続いている。

年代別集計では、「住み続けたい」の回答は年代が上がるにつれて多くなり、「70代以上」76.6%と非常に高くなっているものの、「10代」では「市外(大都市圏)で暮らしたい」20.0%となっている。

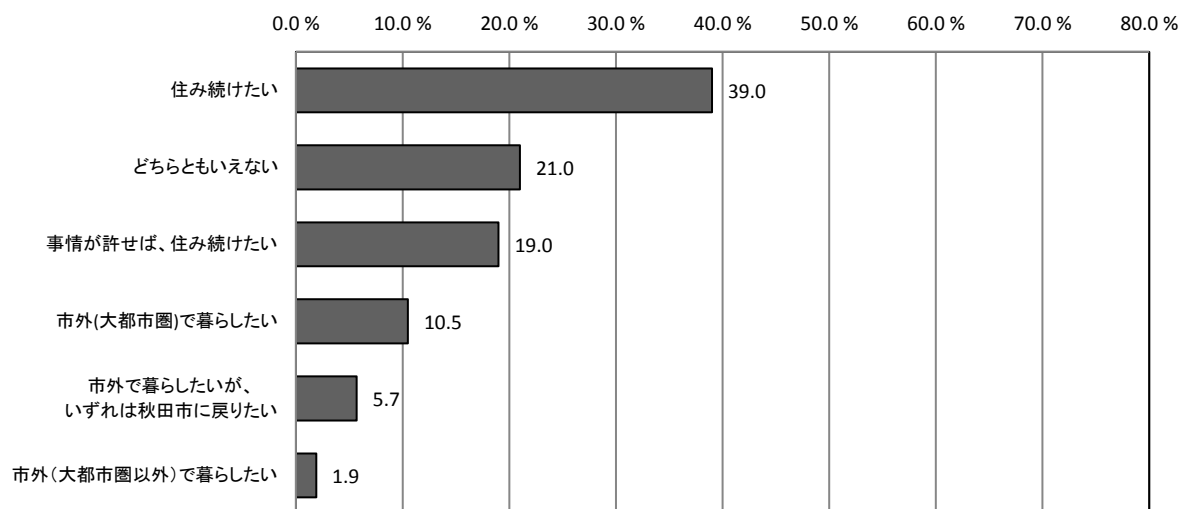
出身地別集計では、「住み続けたい」の割合が「秋田県外」37.0%と4割を下回っている。なお、年代別、出身地別の集計結果については、P75からP77にグラフで示している。



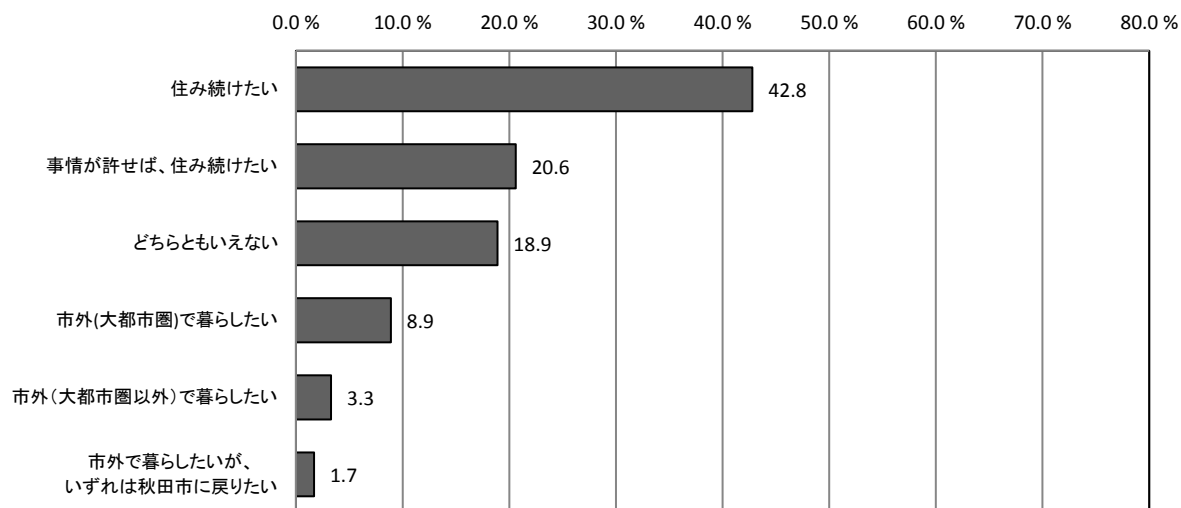
問5② 今後も秋田市に住み続けたいか「10代」



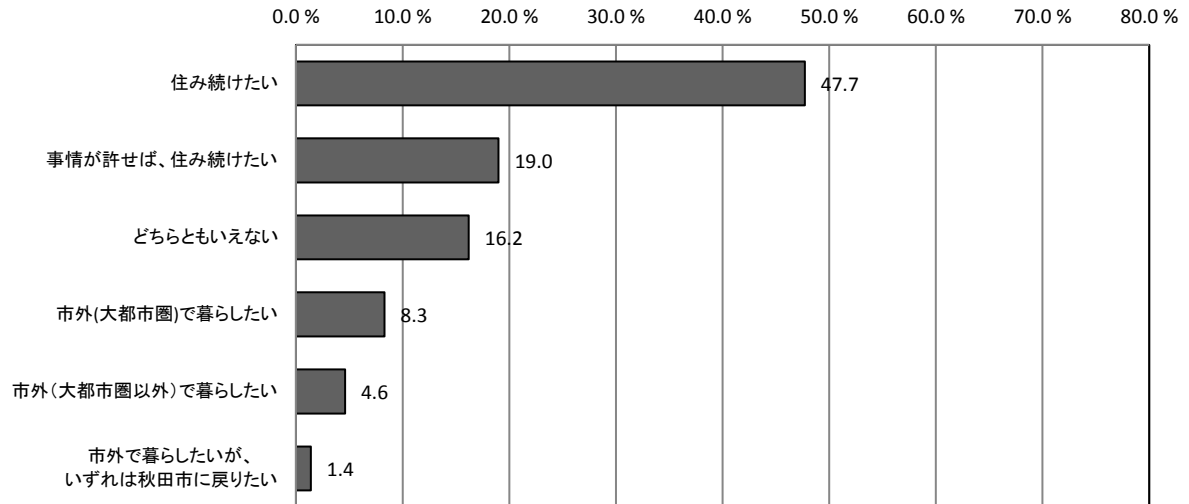
問5② 今後も秋田市に住み続けたいか「20代」



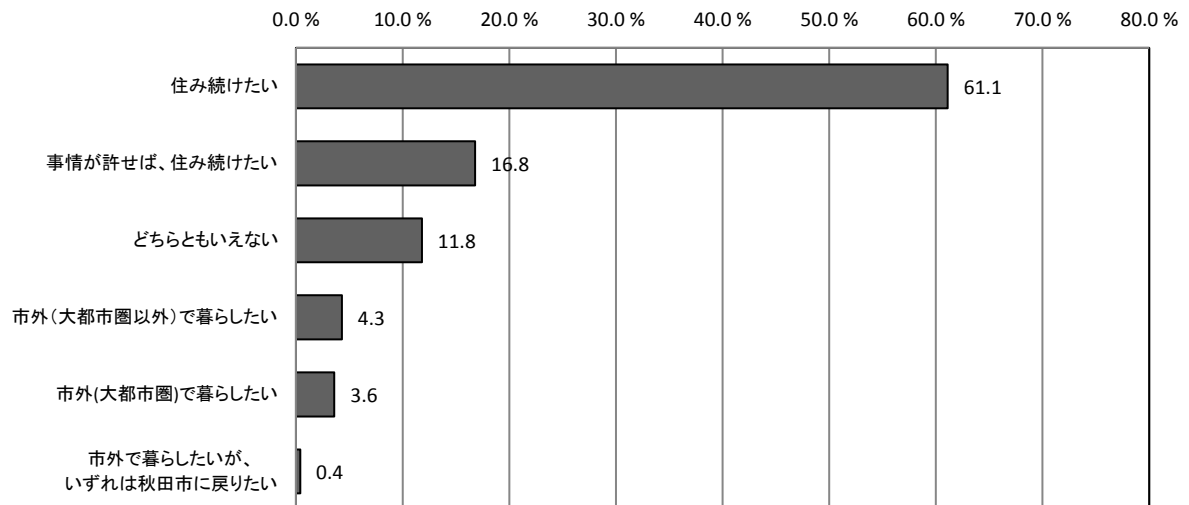
問5② 今後も秋田市に住み続けたいか「30代」



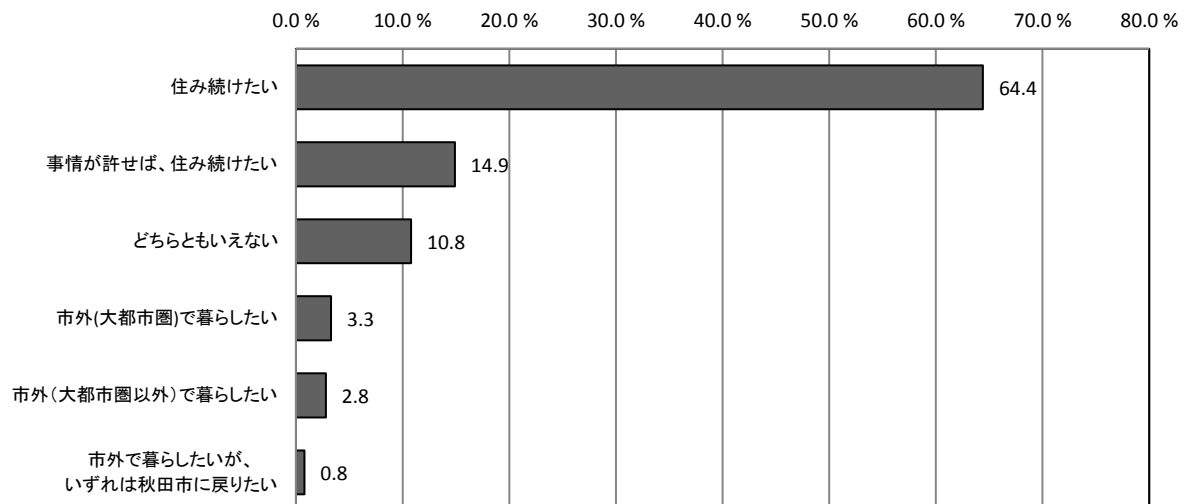
問5② 今後も秋田市に住み続けたいか「40代」



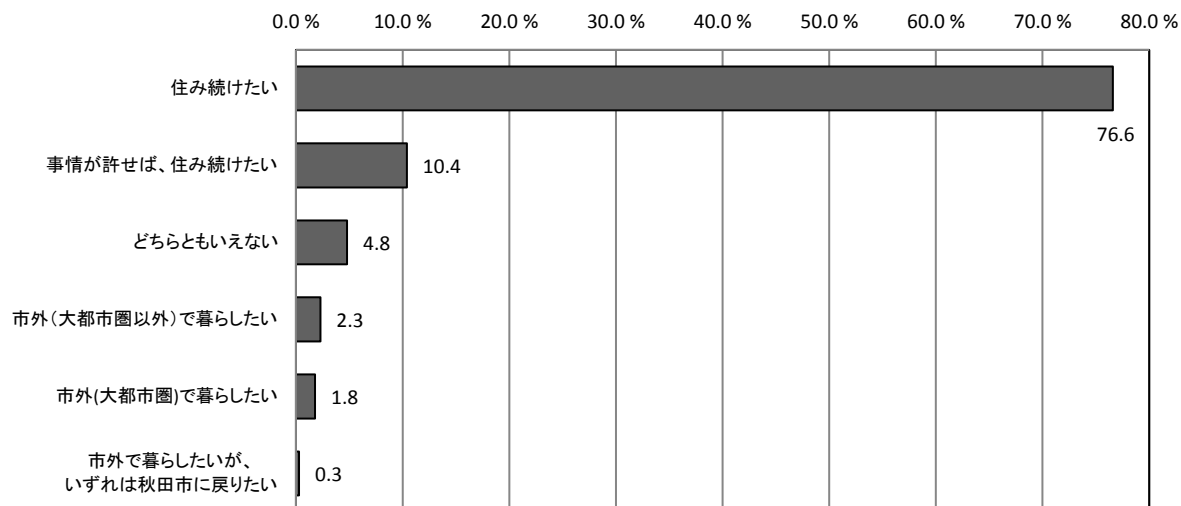
問5② 今後も秋田市に住み続けたいか「50代」



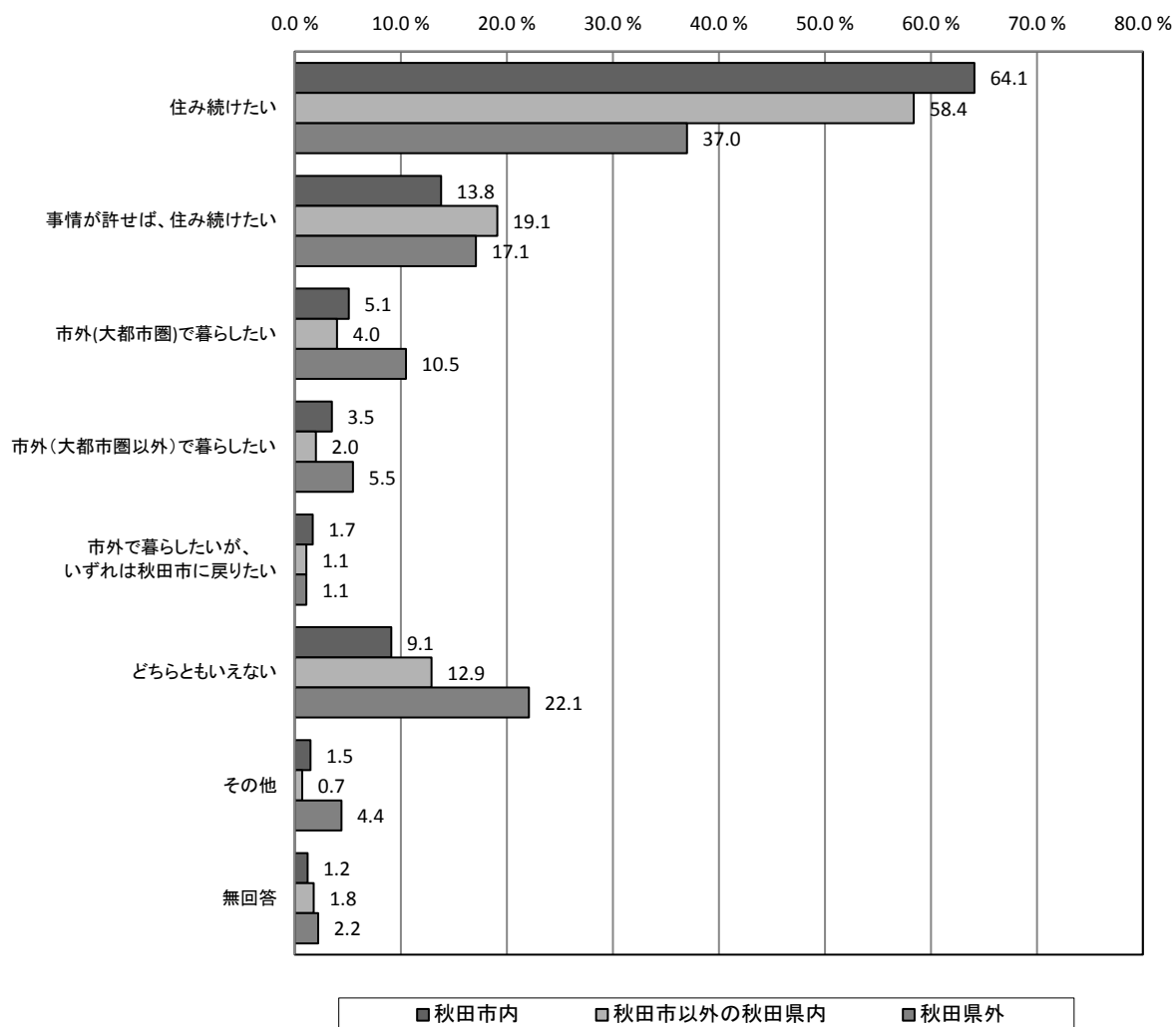
問5② 今後も秋田市に住み続けたいか「60代」



問5② 今後も秋田市に住み続けたいか「70代以上」



問5② 今後も秋田市に住み続けたいか「出身地別」



第4節 人口減少社会について

3 秋田市に住民続けるために必要なこと（問5③）

問5③（秋田市に住民続けるために必要なこと）

あなたやあなたの家族が秋田市に住民続けるために必要だと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 雇用の場の確保 | 2 非正規雇用など不安定な雇用の改善や収入の増加 |
| 3 市内における進学先の選択肢の充実 | 4 子育て支援の充実 |
| 5 まちのにぎわいの創出 | 6 若者にとって魅力のあるまちづくり |
| 7 高齢者向けの福祉・介護サービスなどの充実 | |
| 8 高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境づくり | 9 地域の絆づくりの推進 |
| 10 豊かな自然環境など現在の市の魅力の維持 | 11 特にない |
| | 12 その他 |

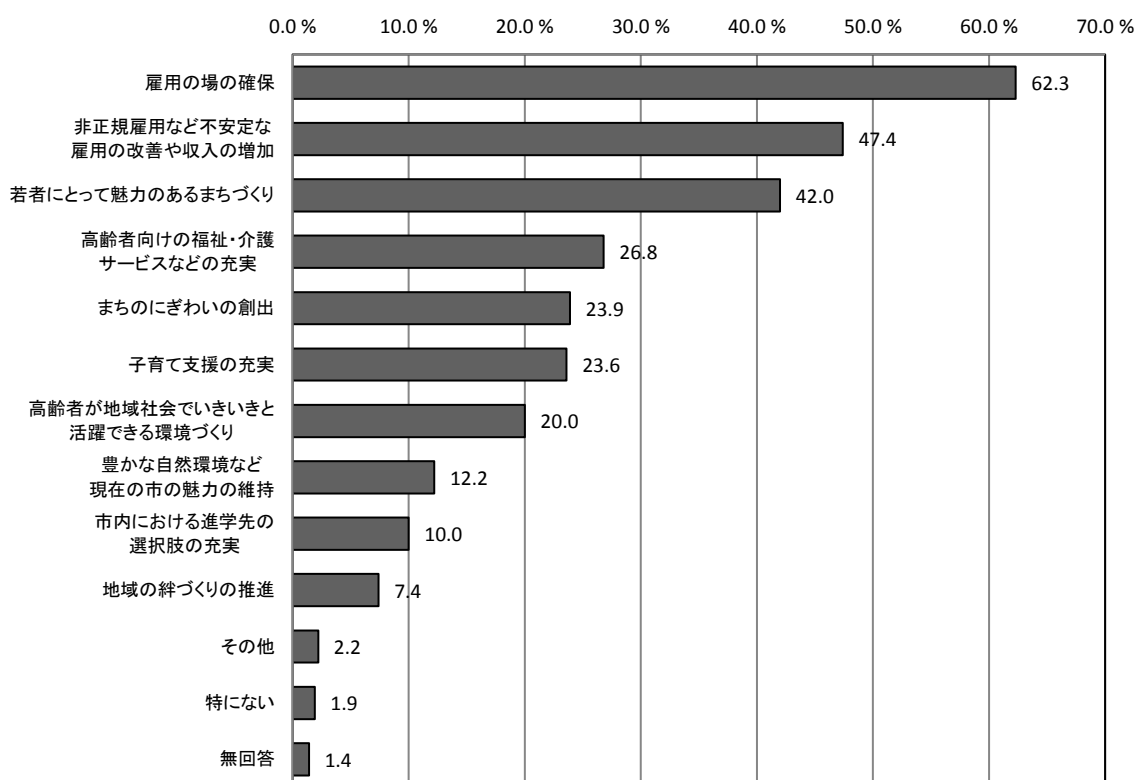
この設問では、自分や自分の家族が今後も秋田市に住民続けるために、必要だと思うことについて、3つ聞いている。（集計表 P133 参照）

全体集計では、最も多かったのは、「雇用の場の確保」62.3%であった。以下、「非正規雇用など不安定な雇用の改善や収入の増加」47.4%、「若者にとって魅力のあるまちづくり」42.0%、「高齢者向けの福祉・介護サービスなどの充実」26.8%と続いている。

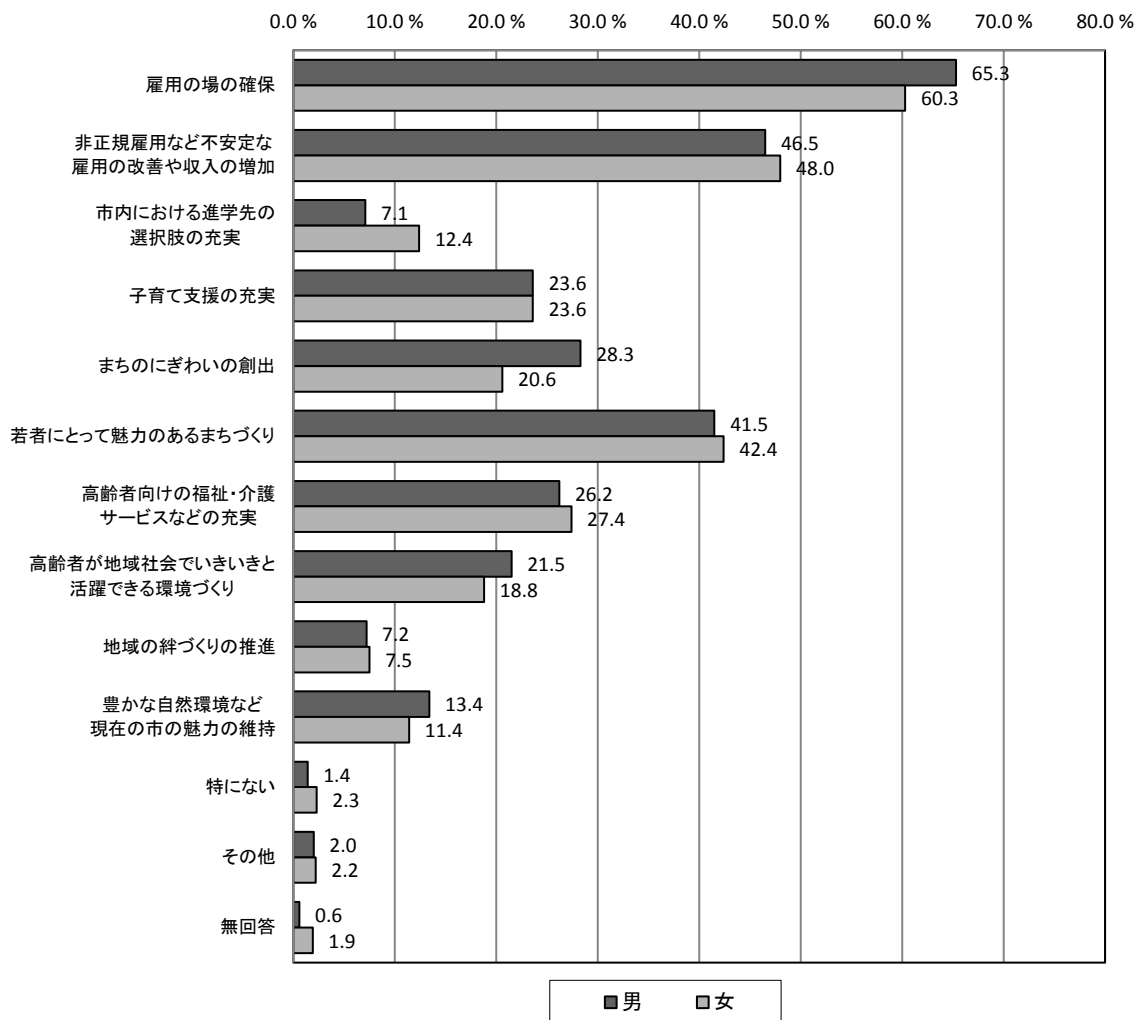
なお、男女別、年代別、婚姻状況別、子ども数別、出身地別の集計結果については、P79からP83にグラフで示している。

（※表記の条件として、年代別は20%以上の回答があったものを記している。）

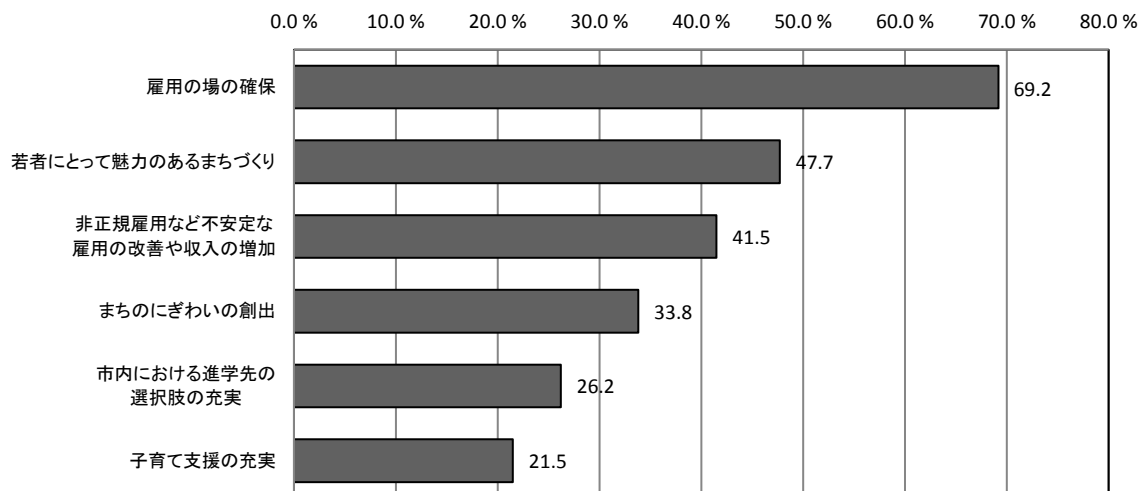
問5③ 全体



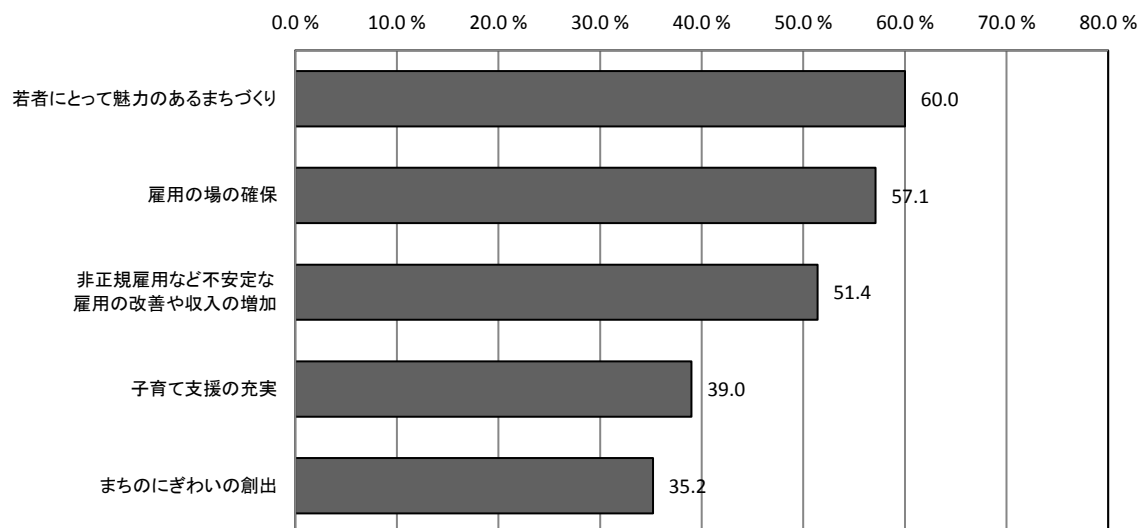
問5③ 秋田市に住み続けるために必要なこと「男女別」



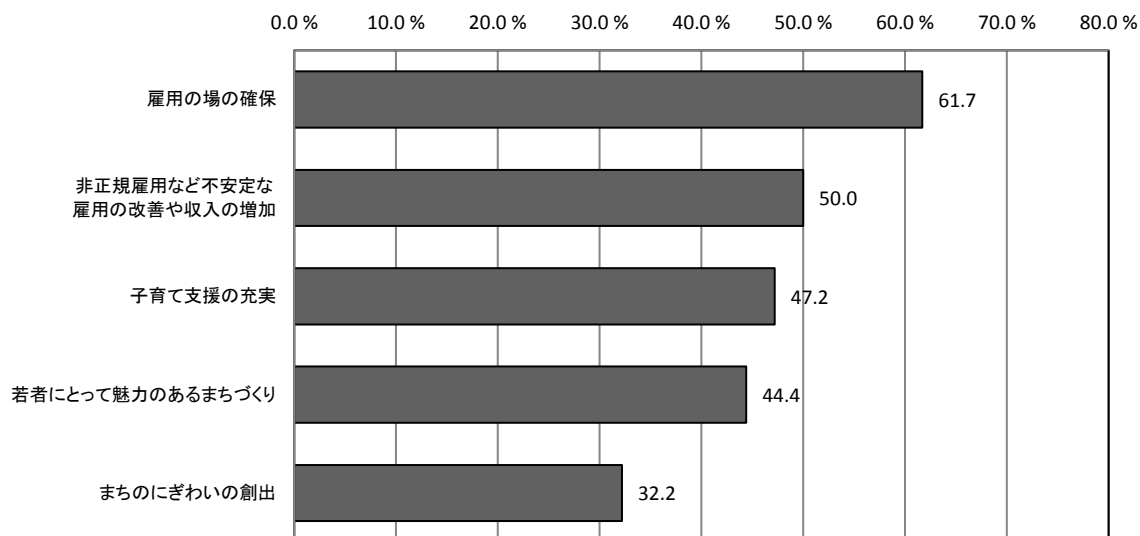
問5③ 秋田市に住み続けるために必要なこと「10代」



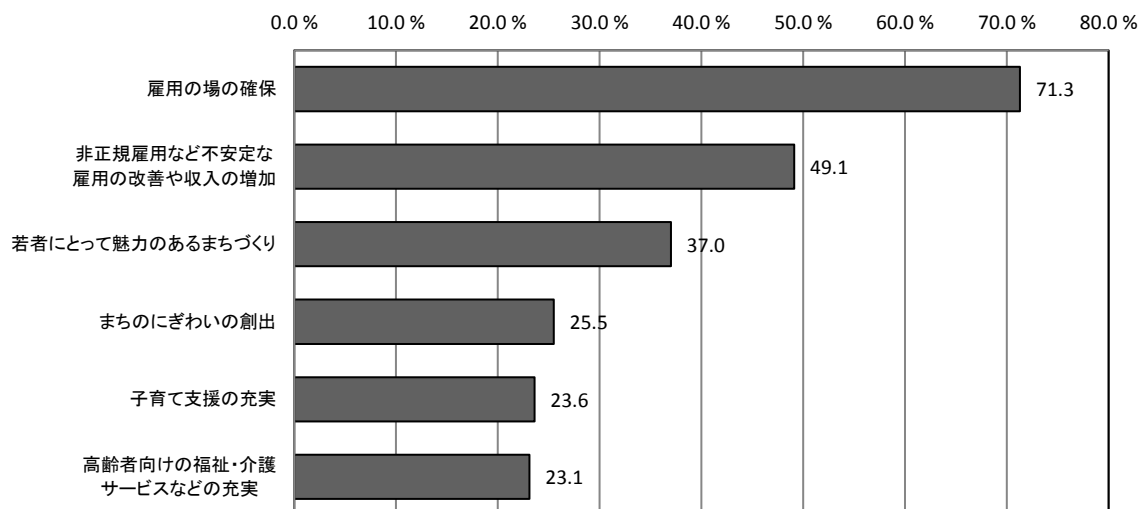
問5③ 秋田市に住み続けるために必要なこと「20代」



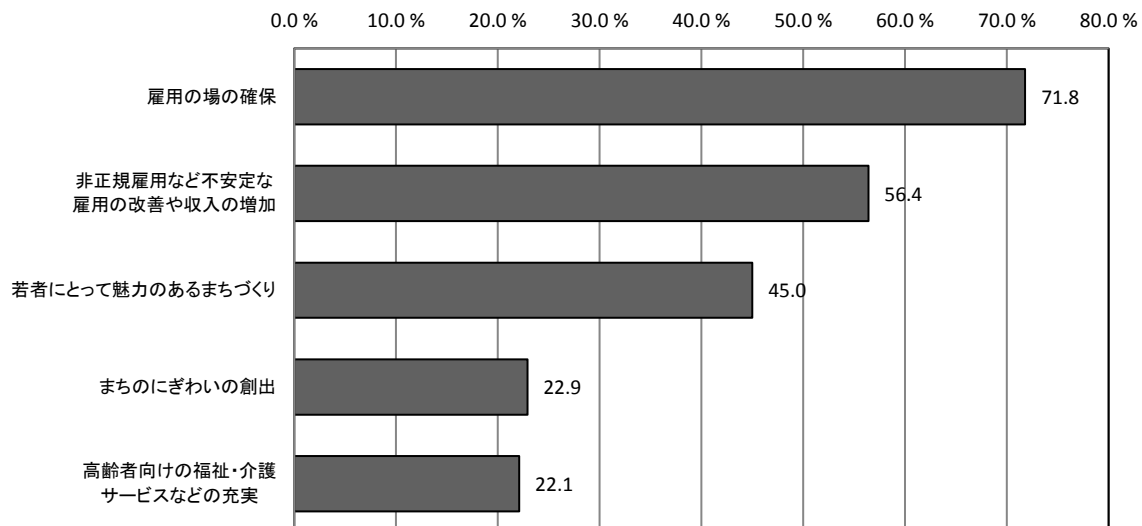
問5③ 秋田市に住み続けるために必要なこと「30代」



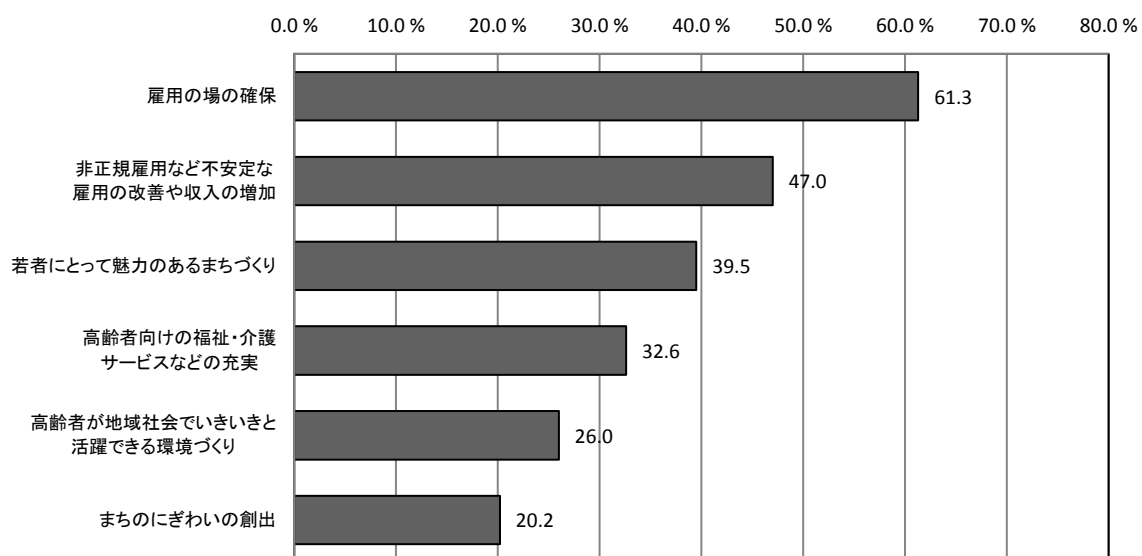
問5③ 秋田市に住み続けるために必要なこと「40代」



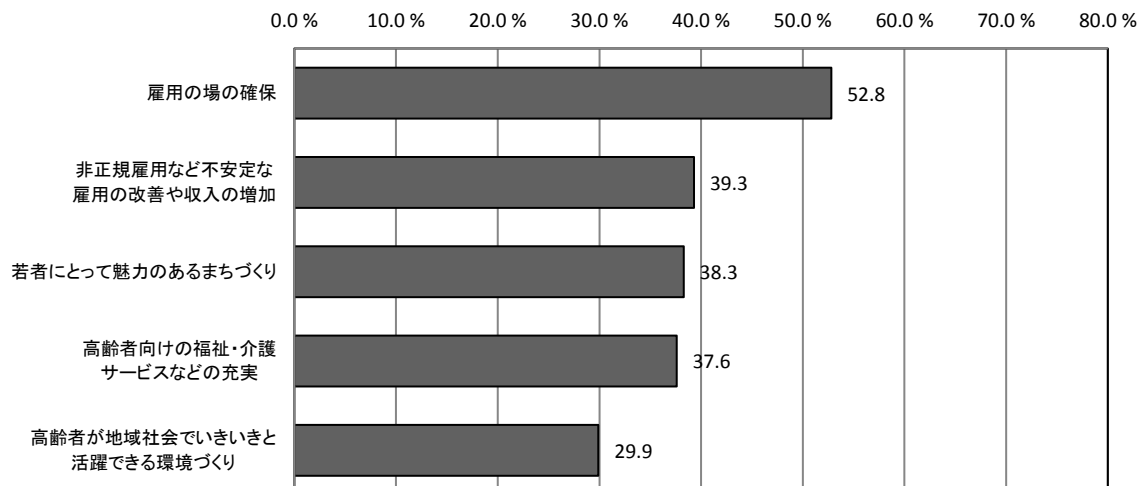
問5③ 秋田市に住み続けるために必要なこと「50代」



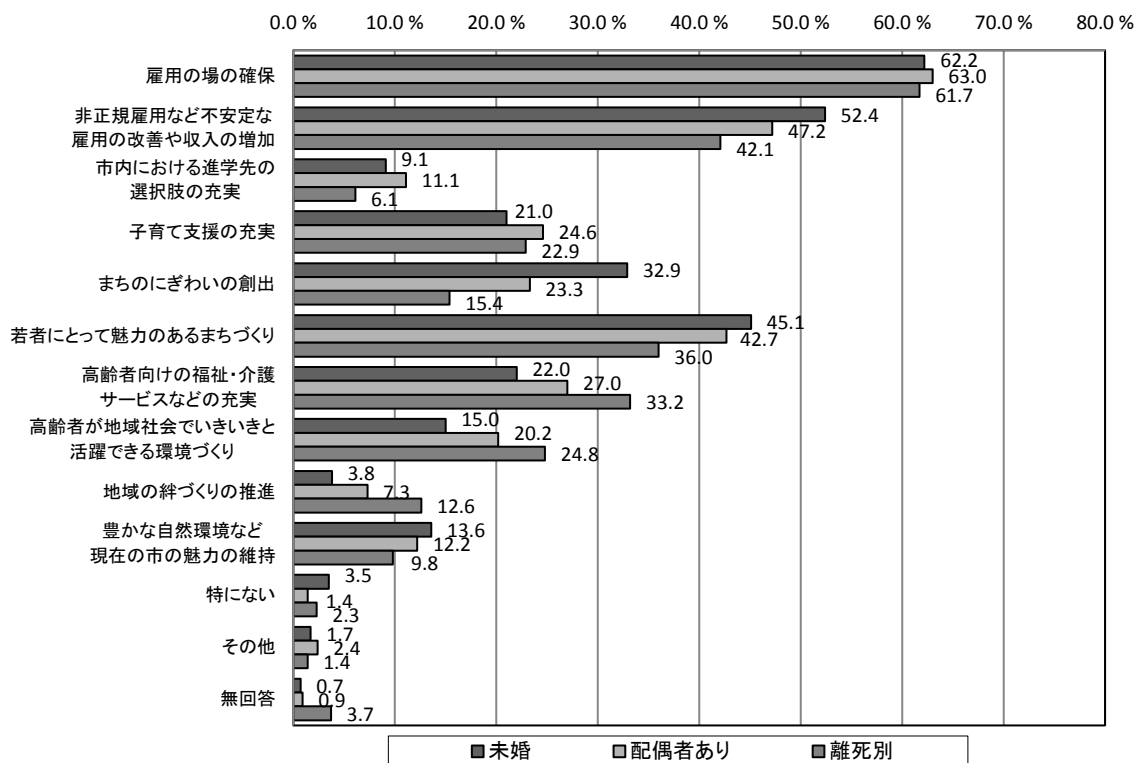
問5③ 秋田市に住み続けるために必要なこと「60代」



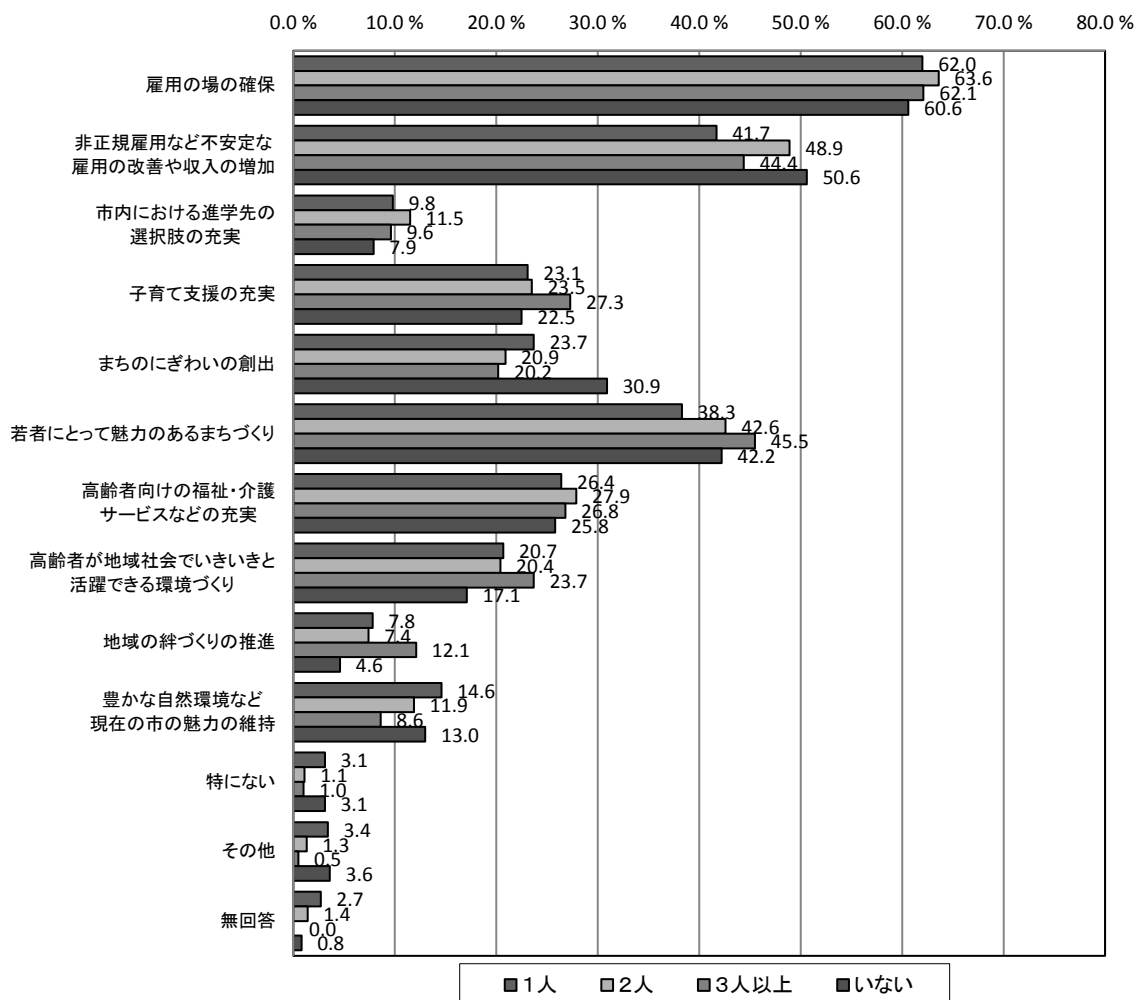
問5③ 秋田市に住み続けるために必要なこと「70代以上」



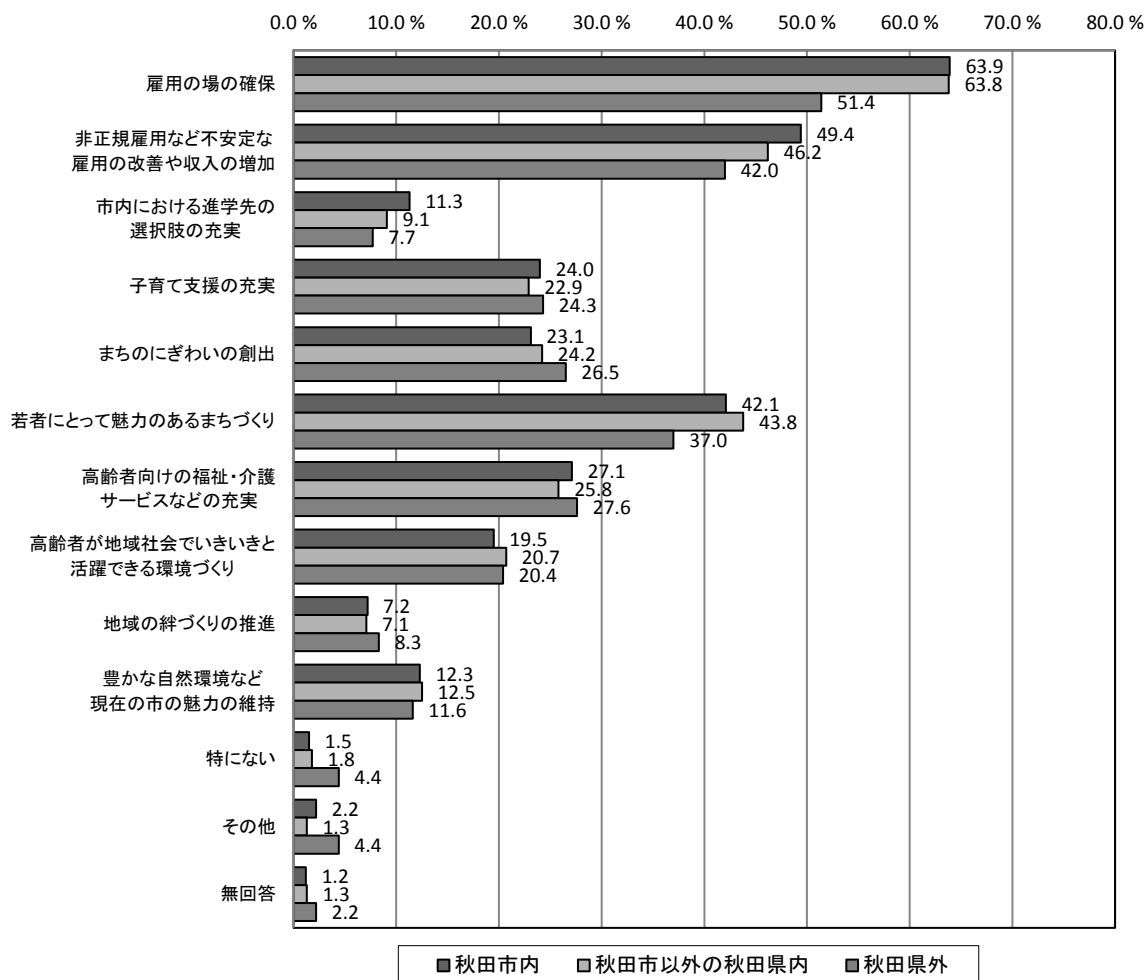
問5③ 秋田市に住み続けるために必要なこと「婚姻状況別」



問5③ 秋田市に住み続けるために必要なこと「子ども数別」



問5③ 秋田市に住み続けるために必要なこと「出身地別」



第4節 人口減少社会について

4 公共サービスの維持、向上のために重要な取組（問5④）

問5④（公共サービス維持、向上のために重要な取組）

人口減少社会においても、公共サービスの質を維持、向上させていくために重要だと思う取組は何ですか。次の中から3つまで選んで、番号に○をつけてください。

- 1 様々な行政サービスを一か所で受けられる総合窓口の整備
- 2 市民サービスセンターなど身近な場所で行政サービスを受けられる体制の整備
- 3 電子申請の拡充や市税のコンビニ納付の導入などによる利便性の向上
- 4 ホームページやSNS(※)などによる情報発信の充実
- 5 歳入・歳出の見直しなどによる健全な財政運営
- 6 市の組織体制の見直しや職員の能力向上
- 7 現在市が提供しているサービスを、市民、NPO、民間企業など様々な主体が担える環境の整備
- 8 分からない
- 9 その他

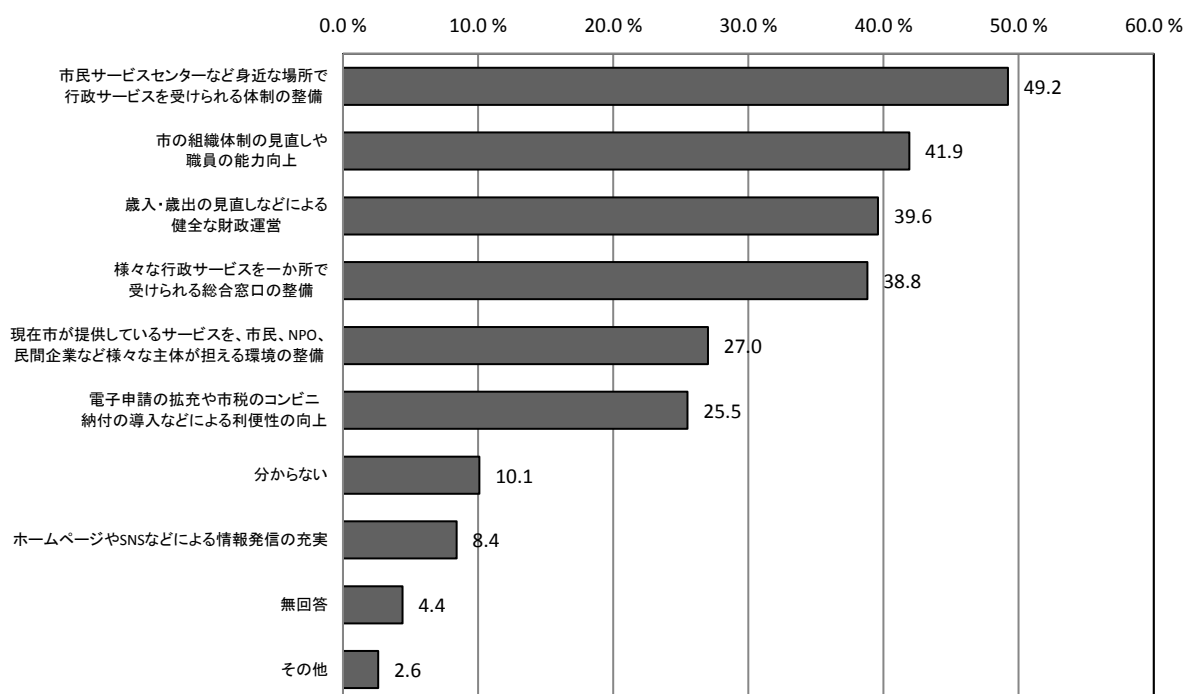
※SNS：Social Networking Service の略で、ツイッターやフェイスブックなど、日記やメッセージなどを通じて友人や共通の趣味を持つ人等と交流することを目的としたサービスの総称

この設問では、人口減少社会においても、公共サービスの質を維持、向上させていくために重要だと思う取組を3つ聞いている。（集計表 P134 参照）

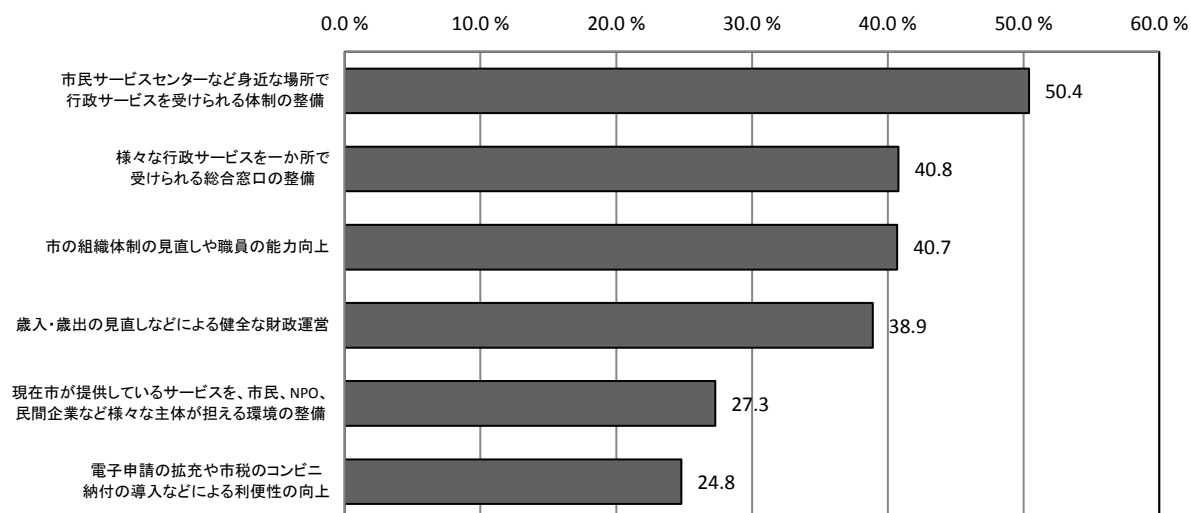
全体集計では、最も多かったのは「市民サービスセンターなど身近な場所で行政サービスを受けられる体制の整備」49.2%であった。次いで、「市の組織体制の見直しや職員の能力向上」41.9%、「歳入・歳出の見直しなどによる健全な財政運営」39.6%と続いている。

なお、年代別、出身地別の集計結果については、P85からP88にグラフで示している。
（※表記の条件として、20%以上の回答があったものを記している。）

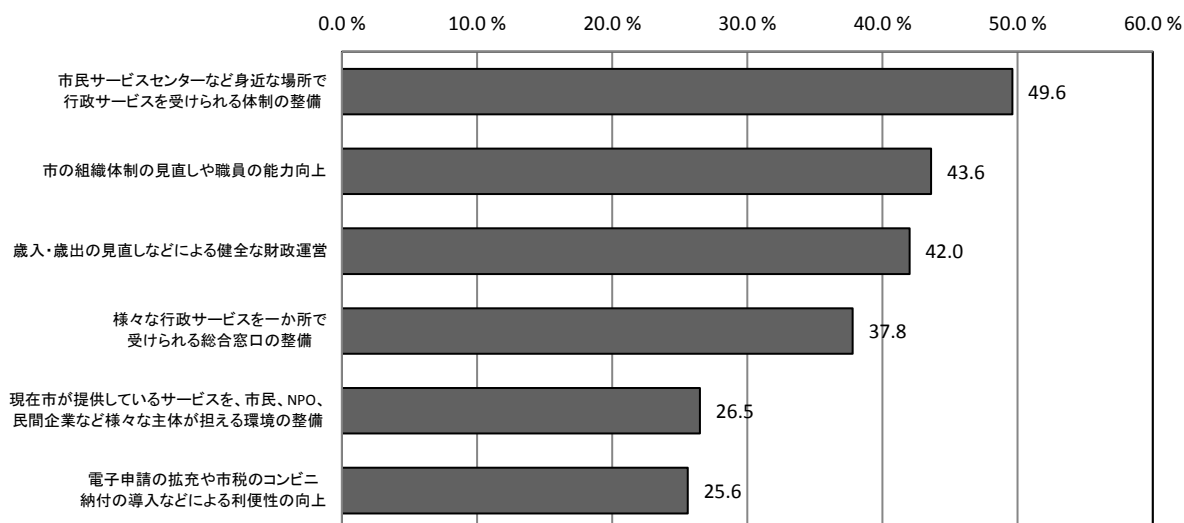
問5④ 全体



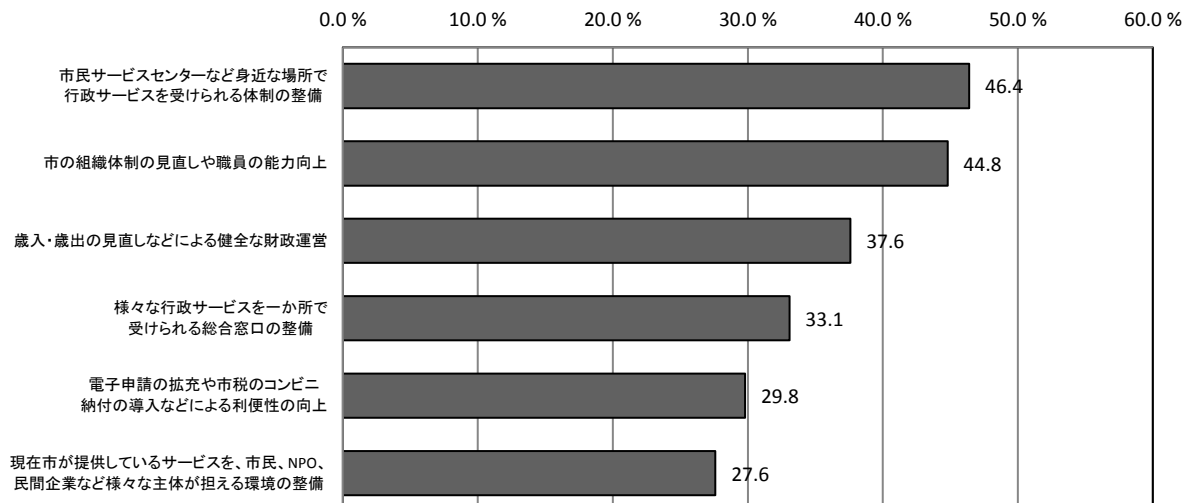
問5④ 公共サービスを維持、向上させていくために重要な取組「出身地別 秋田市内」



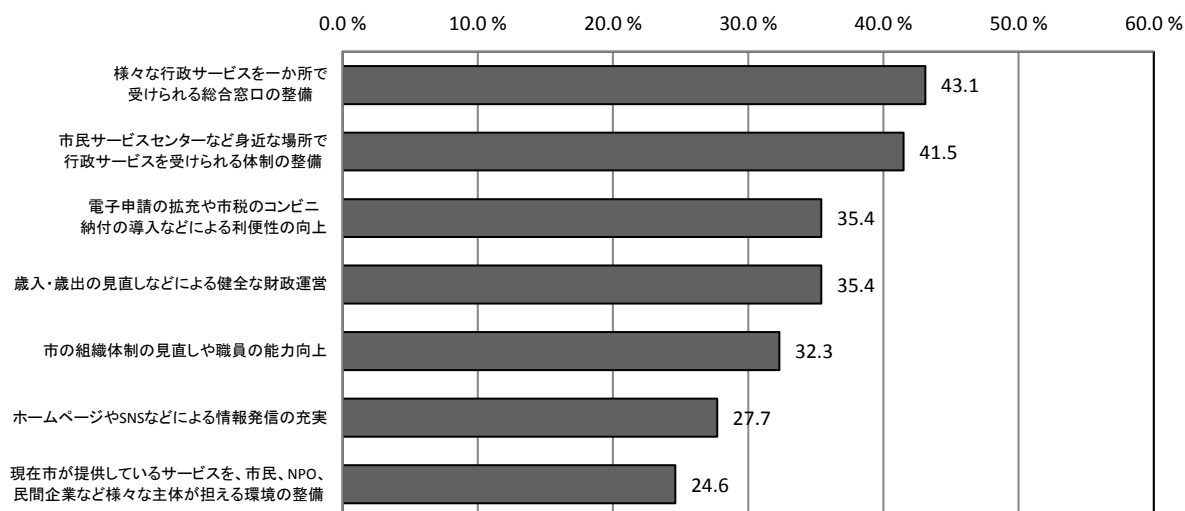
問5④ 公共サービスを維持、向上させていくために重要な取組「出身地別 秋田市以外の県内」



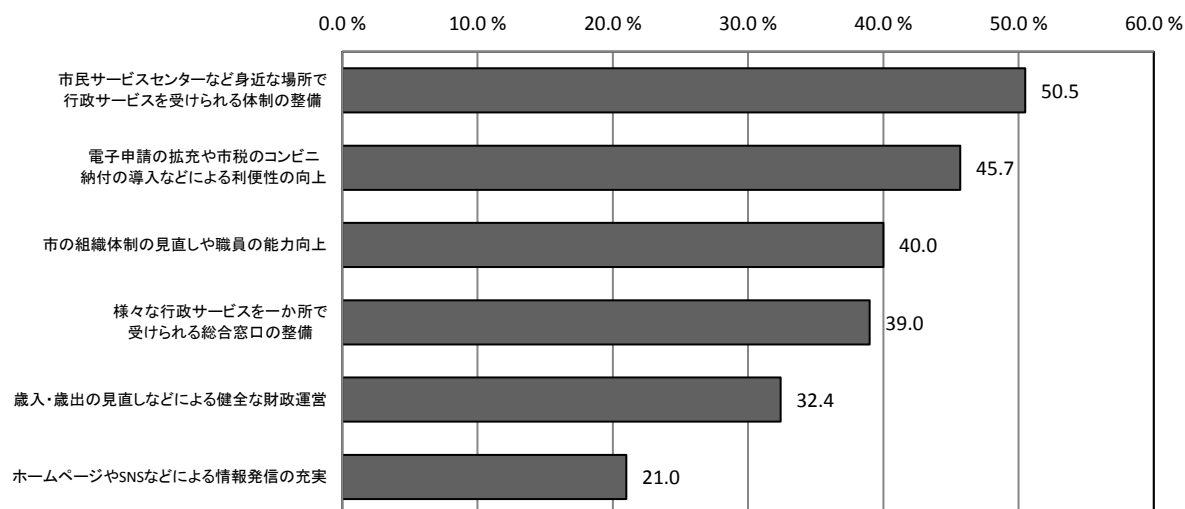
問5④ 公共サービスを維持、向上させていくために重要な取組「出身地別 秋田県外」



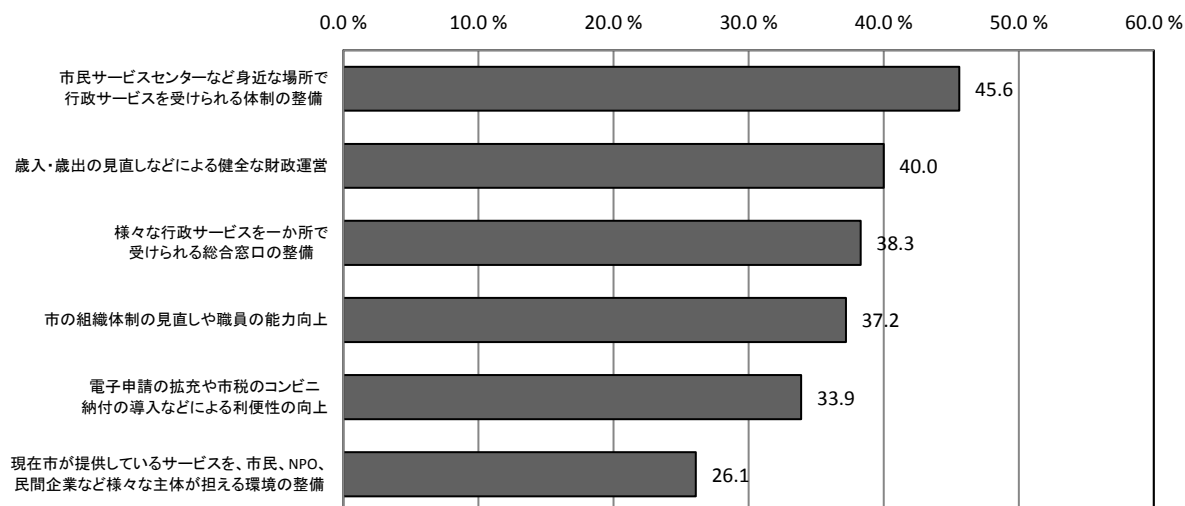
問5④ 公共サービスを維持、向上させていくために重要な取組「10代」



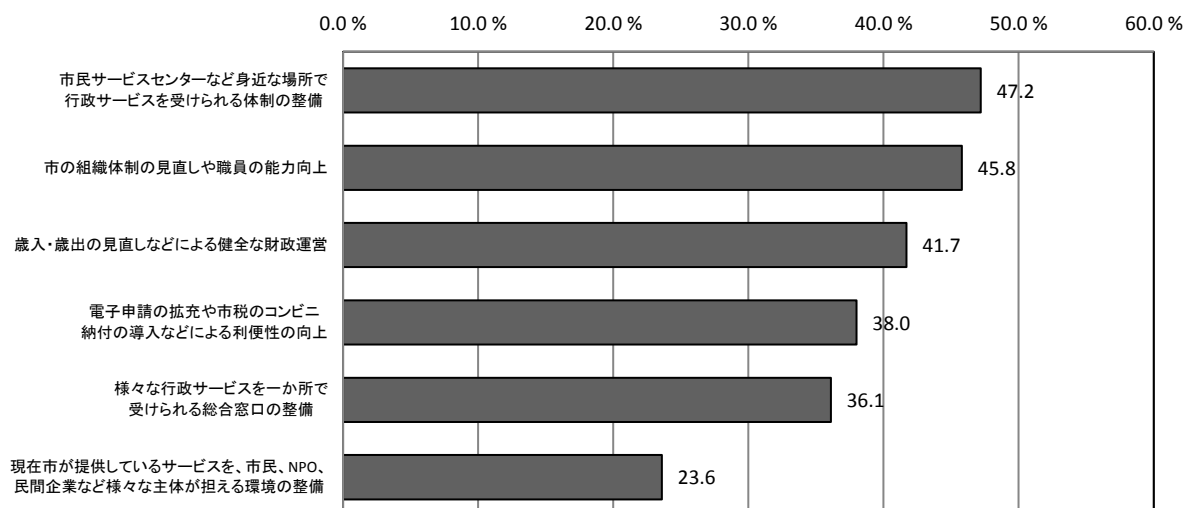
問5④ 公共サービスを維持、向上させていくために重要な取組「20代」



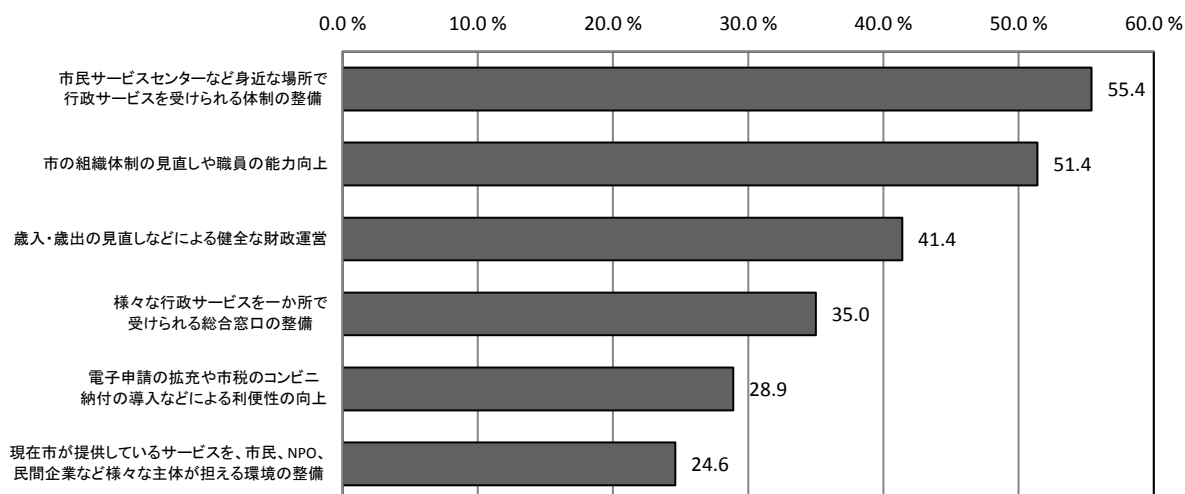
問5④ 公共サービスを維持、向上させていくために重要な取組「30代」



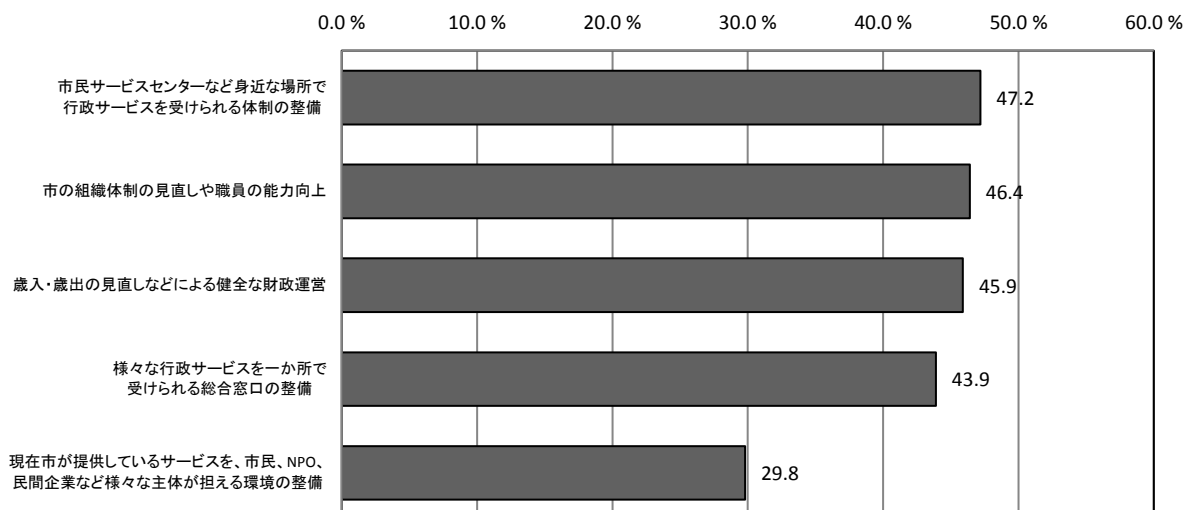
問5④ 公共サービスを維持、向上させていくために重要な取組「40代」



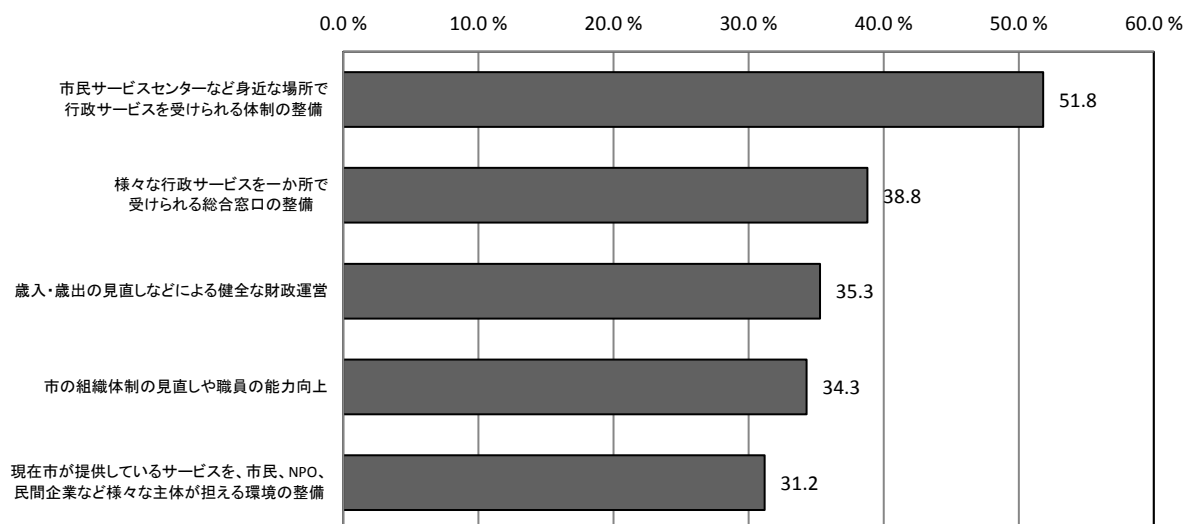
問5④ 公共サービスを維持、向上させていくために重要な取組「50代」



問5④ 公共サービスを維持、向上させていくために重要な取組「60代」



問5④ 公共サービスを維持、向上させていくために重要な取組「70代以上」



第5節 NPO・ボランティア活動について

1 市民活動への関心(問6①)

※()内は前回の数値

問6① (市民活動への関心)

あなたは、NPO・ボランティア活動などの市民活動に関心がありますか。次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

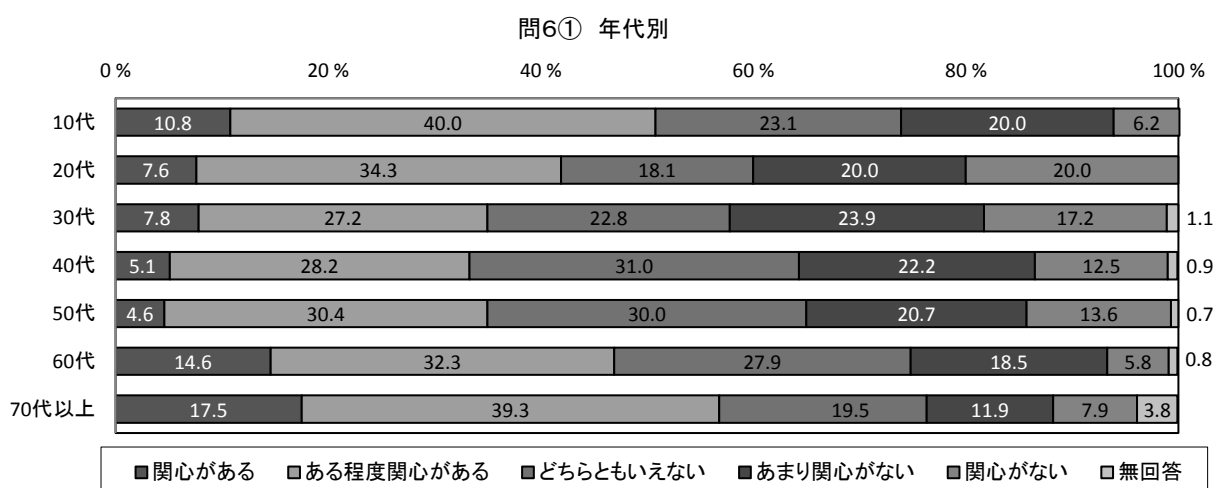
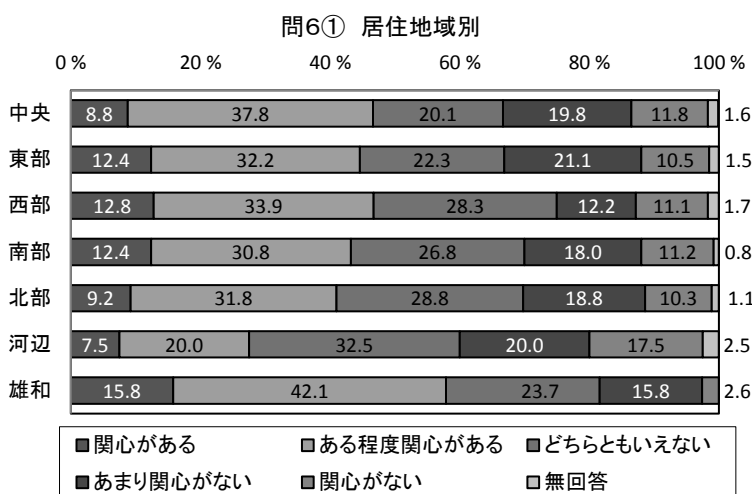
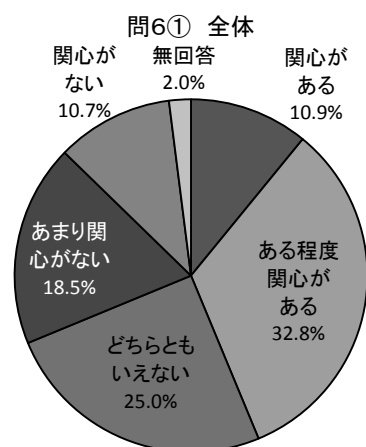
- 1 関心がある 2 ある程度関心がある 3 どちらともいえない
4 あまり関心がない 5 関心がない

この設問では、ボランティア活動などの市民活動への関心を聞いている。(集計表 P135参照)

全体集計では、「関心がある」10.9% (10.0%)、「ある程度関心がある」32.8% (32.5%)であり、「関心がある」「ある程度関心がある」という回答の合計が、43.7% (42.5%)と約4割を占めた。一方、「関心がない」10.7% (7.5%)、「あまり関心がない」18.5% (19.3%)であり、「関心がない」「あまり関心がない」という回答の合計が、29.2% (26.8%)であった。「どちらともいえない」は25.0% (27.2%)であった。

年代別集計では、「関心がない」「あまり関心がない」の割合が、「20代」から「30代」で40%以上と高くなっている。

居住地域別集計では、「関心がある」「ある程度関心がある」の割合が、「河辺」27.5%と他の地域に比べ低くなっている。



第5節 NPO・ボランティア活動について

2 市民活動への参加(問6②)

※()内は前回の数値

問6② (市民活動への参加)

あなたは、NPO・ボランティア活動などの市民活動に参加していますか。次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1 積極的に参加している 2 ときどき参加している 3 参加したことがある
4 参加したことがない

この設問では、ボランティア活動などの市民活動への参加経験を聞いている。(集計表 P135参照)

全体集計では、「積極的に参加している」2.5% (3.3%)、「ときどき参加している」5.9% (6.0%)、「参加したことがある」21.3% (17.1%)であり、一度でも参加経験があるという回答の合計が、29.7% (26.4%)となった。一方、「参加したことがない」68.5% (69.4%)であり、約7割が参加経験が無いという回答であった。

年代別集計では、参加経験があるという回答の割合が、「10代」44.6% (40.6%)で他の年代に比べ高くなっている。

居住地域別集計では、参加経験があるという回答の割合が、「河辺」20.0%と他の地域に比べ低くなっている。

